

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 芙蓉会

法人本部

事業概要報告

自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の下、当法人は 113 年の歴史と共に地域に愛され、民間社会福祉としての活動と役割を果たすべく、社会福祉支援を要する人々への相談・援助・支援、地域福祉活動、社会貢献等々に重点をおきながら事業を推進いたしました。



平成 28 年度は、「社会福祉法等の一部を改正する法律案」の全面施行（①理事等の権限、責任等に関する規定整備、②議決機関としての評議員会の義務付け、③定款、計算書類等の公表）に向け、理事・監事・評議員による検討会を設け整備して参りました。また、労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック制度」を実施いたしました。

最後に、昨年続き新任職員研修で外部講師（坂倉裕子氏）による「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。

基本目標

地域における福祉の発展・充実を担う中核的な組織として、公共的・公益的な事業を県及び関係機関・団体等と連携・協働して推進します。

健全な法人運営や施設経営管理の適正化ならびに職員の処遇向上と人材育成、利用者サービスの質の維持向上に努め地域住民の皆様に対する理解と信頼性を高めて参りました。



理事会



評議員会

1 理事会・評議員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	出席者数			議 案
	理事		監事	
	出席	書面出席		
第 158 回 H28. 5. 25	6	2	2	1. 平成 27 年度事業報告について 2. 平成 27 年度決算報告について 3. 平成 27 年度監事監査報告について 4. 就業規則一部改正（案）について 5. 経理規程一部改正（案）について
第 159 回 H28. 6. 29				1. 評議員の選任（案）について
第 160 回 H28. 10. 31	7	1	2	1. 平成 28 年度指導監査実施結果について 2. 平成 28 年度追加・変更事業計画（案）について 3. 平成 28 年度第一次資金収支補正予算（案）について 4. 乳児院 東側街路樹について 報告事項 1. 上半期「重要事項報告」について 2. 理事長専決事項について
第 161 回 H28. 12. 19	8	1	2	1. 定款変更（案）について 2. 役員等報酬規程改正（案）について 3. 評議員選任・解任委員会運営規則の制定（案）について 4. 評議員選任・解任委員会委員の選任について 5. 評議員選任・解任委員会の召集について 6. 評議員候補者の推薦について
第 162 回 H29. 3. 22	7	1	2	1. 定款変更申請（案）について 2. 定款細則（案）について 3. 経理規程及び同細則一部改正（案）について 4. 就業規則一部改正（案）について 5. 給与規程及び同細則一部改正（案）について 6. 評議員選任・解任委員会報告について 7. 児童養護施設の定員変更（案）について 8. 管理規程の一部改正（案）について 9. 平成 28 年度第二次資金収支補正予算（案）について 10. 平成 29 年度事業計画（案）について 11. 平成 29 年度資金収支予算（案）について 報告事項 1. 理事長の専決事項について

(2) 評議員会

開催年月日	出席者数		議 題
	評議員	監事	
第 46 回 H28. 5. 25	17	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度事業報告について 2. 平成 27 年度決算報告について 3. 平成 27 年度監事監査報告について 4. 就業規則一部改正（案）について 5. 経理規程一部改正（案）について
第 47 回 H28. 6. 29	16	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事の選任（案）について
第 48 回 H28. 10. 31	16	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度指導監査実施結果について 2. 平成 28 年度追加・変更事業計画（案）について 3. 平成 28 年度第一次資金収支補正予算（案）について 4. 乳児院 東側街路樹について 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 上半期「重要事項報告」について 2. 理事長専決事項について
第 49 回 H28. 12. 19	16	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款変更（案）について
第 50 回 H29. 3. 22	16	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定款変更申請（案）について 2. 定款細則（案）について 3. 経理規程及び同細則一部改正（案）について 4. 就業規則一部改正（案）について 5. 給与規程及び同細則一部改正（案）について 6. 評議員選任・解任委員会報告について 7. 欠員に伴う理事の選任（案）について 8. 児童養護施設の定員変更（案）について 9. 管理規程の一部改正（案）について 10. 平成 28 年度第二次資金収支補正予算（案）について 11. 平成 29 年度事業計画（案）について 12. 平成 29 年度資金収支予算（案）について 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長の専決事項について

2 監事監査の実施

開催年月日	担当監事	項目
H28.5.9	勝又長見	H27年度業務執行状況
	鈴木英之	H27年度財産状況



会計監査



処遇監査

3 役員研修会の参加

開催年月日	研修場所	内容	参加者
H28. 4. 15	グランシップ	監事監査研修	監事 1名
H28. 8. 22	グランシップ	社会福祉法人制度改革 対応セミナー【前期】	理事 3名 監事 2名 評議員 2名
H28. 11. 28	グランシップ	社会福祉法人制度改革 対応セミナー【後期】	理事 1名 評議員 1名

4 寄付金

1,563,456円（本部142,900円、ひまわり園1,229,874円、みどり園110,682円、みぎわ園80,000円）

5 植松茂子奨学基金

45,980,971円（平成29年3月31日現在）

6 法人行事

開催年月日	行 事 名	場 所
H28. 4. 1	辞令交付式	みぎわ園「地域交流室」
H28. 4. 7	新任職員研修会①	みぎわ園「地域交流室」
H28. 4. 9	奉仕活動（草刈）	芙蓉会所有地 大淵鳥追窪
H28. 5. 17	新任職員研修会②	みぎわ園「地域交流室」
H28. 6. 10	創立記念式典	みぎわ園「地域交流室」
H28. 6. 15	美化運動（春）	芙蓉会敷地内
H28. 8. 3	美化運動（夏）	芙蓉会敷地内
H28. 8. 20	夏祭り	芙蓉会グラウンド
H28. 10. 02	町内一斉清掃	芙蓉会周辺
H28. 10. 13	美化運動（秋）	芙蓉会周辺
H28. 10. 16	市民福祉祭り	富士市中央公園
H28. 10. 20	普通救命講習会（第1回）	みぎわ園「地域交流室」
H28. 11. 18	普通救命講習会（第2回）	みぎわ園「地域交流室」
H28. 12. 25	クリスマス会	ホワイトパレス
H29. 1. 4	新年挨拶会	みぎわ園「地域交流室」
H29. 1. 24	普通救命講習会（第3回）	みぎわ園「地域交流室」



辞令交付式



新任職員研修



奉仕作業



接遇マナー研修



創立 113 周年記念式典



夏祭り



市民福祉まつり



普通救命講習



クリスマス会



新年挨拶会

7 機関誌発行

芙蓉

vol.52
2016.4月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒17-0001 東京都足立区中野2-23-10
TEL: 03-55-5402 FAX: 03-55-5119
http://www.fuyukai.org

代表理事	ひまわり	03-545-01-0402
代表理事	ひまわり	03-545-01-1261
代表理事	ひまわり	03-545-01-0883
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1877
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1397
代表理事	ひまわり	03-545-01-0500
代表理事	ひまわり	03-545-01-8224
代表理事	ひまわり	03-545-01-1811
代表理事	ひまわり	03-545-01-7952

第 52 号 H28.4 発行

芙蓉

vol.53
2016.7月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒17-0001 東京都足立区中野2-23-10
TEL: 03-55-5402 FAX: 03-55-5119
http://www.fuyukai.org

代表理事	ひまわり	03-545-01-0402
代表理事	ひまわり	03-545-01-1261
代表理事	ひまわり	03-545-01-0883
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1877
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1397
代表理事	ひまわり	03-545-01-0500
代表理事	ひまわり	03-545-01-8224
代表理事	ひまわり	03-545-01-1811
代表理事	ひまわり	03-545-01-7952

第 53 号 H28.7 発行

芙蓉

vol.54
2016.10月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒17-0001 東京都足立区中野2-23-10
TEL: 03-55-5402 FAX: 03-55-5119
http://www.fuyukai.org

代表理事	ひまわり	03-545-01-0402
代表理事	ひまわり	03-545-01-1261
代表理事	ひまわり	03-545-01-0883
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1877
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1397
代表理事	ひまわり	03-545-01-0500
代表理事	ひまわり	03-545-01-8224
代表理事	ひまわり	03-545-01-1811
代表理事	ひまわり	03-545-01-7952

第 54 号 H28.10 発行

芙蓉

vol.55
2016.12月発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒17-0001 東京都足立区中野2-23-10
TEL: 03-55-5402 FAX: 03-55-5119
http://www.fuyukai.org

代表理事	ひまわり	03-545-01-0402
代表理事	ひまわり	03-545-01-1261
代表理事	ひまわり	03-545-01-0883
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1877
代表理事	ひまわり	03-545-01-1800
代表理事	ひまわり	03-545-01-1397
代表理事	ひまわり	03-545-01-0500
代表理事	ひまわり	03-545-01-8224
代表理事	ひまわり	03-545-01-1811
代表理事	ひまわり	03-545-01-7952

第 55 号 H28.12 発行

8 ホームページ更新

主な公開

- ・ H28 年度法人行事、寄附行為等
- ・ H28 年度事業計画、予算書
- ・ H27 年度事業報告、決算書
- ・ H27 年度広報誌掲載
- ・ H28 年度職員募集掲載
- ・ H29 年度職員採用情報
- ・ H28 年苦情受付情報
- ・ H29 年理事長新年挨拶



9 施設職員状況

(1) 採用・退職

施設名	採用者		退職者	
	正規	非常勤	正規	非常勤
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	4名	1名	1名	—
みどり園	5名	5名	7名	5名
みぎわ園	10名	2名	5名	4名
計	19名	8名	13名	9名

(2) 労災・傷病・介護休暇・産休・育休等

施設名	労災	傷病	介護休暇	産休・育休
法人本部	—	—	—	—
ひまわり園	—	—	—	1名
みどり園	—	1名	—	1名
みぎわ園	—	5名	2名	4名
計	—	6名	2名	6名

10 苦情対応

苦情：0件

お問い合わせ：19件

(法人本部1件、ひまわり園10件、ひろみ1件、みどり園5件、みぎわ園2件)

児童養護施設ひまわり園（定員 90 名 暫定定員 88 名）

事業概要報告

平成 28 年度、ひまわり園では「家庭的養護推進計画」に則って、グループ定員の上限を 8 名とする「小規模グループケア」（幼児～小学生男子）を 1 ヶ所開設しました。日課や食事などの独自性を持ちつつ、子どもの対応をより個別化し、安心して暮らせる環境の整備に努めました。



ゆったりとした時間や空間を持てたことはゆとりのある生活を子どもにもたせることにも繋がったと思います。食事場面では何十名もの児童と職員で食べる食堂とは違い、食卓を囲む「団欒」と言えるような時間を持つことができ、子ども同士や子どもと職員の距離を縮めることにも繋がりました。ただ、独自の日課で生活する時間が増えたことで、外部から積極的に関わっていかないと日常の暮らしが可視化しづらいという予想していたことではあります。また、一言で「家庭的」と言っても簡単なものではなく、小規模化しても他人同士の集団生活である事には変わりありません。家庭イメージに対する考え方や価値観も多様です。そうしたことに対する職員間での意見のすりあわせも継続的に進めていく必要があります。

一方で、高齢児処遇に大変苦勞した 1 年でもありました。中高生の中には施設生活に対する不満から、ルールを逸脱する行動や職員に対して反発を露わにする子どももおり、支援にあたる職員を悩ませました。集団生活における日課においても「ルールが厳しい」「普通の家と違いすぎる」などの不満を持つ者同士の結びつきが強くなり、施設のルールや職員の指導に反目し、反社会的行為を含む自らの問題行動に関しても「家に帰ればもっと自由なのに施設だから自由がない」と全ての責任を転嫁して、自己の課題に背を向けてしまうという問題も多く見られました。ただ、職員側にも特にアカウンタビリティとアドボカシーという点において十分な責任を果たせなかったのではないかという反省もあり、そうした課題が互いの信頼関係の脆弱化に繋がってしまったということも否めないと考えます。また、入所している子どもたちの背景も昔と違い、現在は身寄りのない子どもはほとんどおらず、大半の子どもが多少なりとも保護者との交流があります。しかし、中には保護者の協力が期待通りに得られないケースもあり、結果的にひまわり園での子どもの安定した暮らしを壊してしまうというような問題もありました。

家族のあり方や価値観が社会情勢と共に日に日に変化していく中、家庭生活と施設生活のギャップが拡大しているということもこうした問題の背景にあるということも考えられます。核家族化、少子高齢化、共働きの

増加、ひとり親家庭の増加など、子どもを取り巻く家庭の形態も生活習慣も大きく変容してきている中で、児童養護施設のあり方そのものが問われています。「家庭的な環境とは何か」を模索していく視点と、現存する集団養護の持つ強みを活かす視点を併せ持った支援のあり方を今後も模索しつづけなければなりません。

【入退所状況】（資料 1、資料 2、資料 3）

- ① 定員 90 名に対し、月平均 68 名
- ② 28 年度入所児童 8 名
内訳：虐待 4 名 養育困難 1 名 乳児院より措置変更 3 名
- ③ 28 年度退所児童 14 名
内訳：家庭引取 8 名 就職 4 名 進学 1 名 ファミリーホームへ措置変更 1 名
- ④ 一時保護 7 名
- ⑤ ショートステイ事業 6 名

重要事項報告

28 年度はひまわり園が独自に年 2 回実施している「子どもの生活アンケート」で、職員の不適切な対応について中学生から訴えがあり、当事者に確認したところ事実であると判明したため、児童と保護者に謝罪するという残念な事案が発生しました。この件に関しては、国が定める「被措置児童虐待防止ガイドライン」に沿って児童相談所及び静岡県こども家庭課へも施設から通告し、結果として改善指導を受けることになりました。28 年度に受審した第三者評価においても同様の点から改善を求める指摘を受けました。児童の挑発的行動、問題行動などに対して冷静に対応するメンタルのコントロール力、対応技術の向上、チームの連携、支援体制のあり方など、いくつかの課題が表面化しました。ひまわり園としては、この事実を真摯に受けとめると共に今後は改善計画に則って、より良い支援に努めてまいります。（資料 4、資料 5）

事故およびヒヤリハット報告（資料 6）

- ① 事故報告 6 件
- ② ヒヤリハット報告 37 件

苦情および要望に関する報告（資料 7）

- ① 苦情 5 件
- ② 要望 11 件

基本目標 1

小規模グループケアを 1 カ所実施し、家庭的養護の充実を目指します。

28 年度に幼児、小学生男子 8 名の小規模グループケアを 1 カ所開設しました。小規模化したことで職員と子ども、子ども同士の心の距離が近くなり、更なる充実を期待していましたが、他のユニットで発生した問題により、当該ユニットでの継続が不可能になってしまいました。

基本目標 2

子どもの最善の利益の保障、権利擁護のために職員の研修体制をより充実させるよう努めます。（資料 8）

地域小規模を含め 4 名の新任職員を迎え、新任職員研修を 5 回実施しました。その他、外部講師を招いての研修、外部研修への参加などを進めました。特に施設内においては心理職員を研修運営の柱に置き、以前より充実した内容の研修を実施することができました。



基本目標 3

家族と離れて生活する子どもたちとの愛着・信頼を深め、安心して安全に生活できる関係と環境を保障すると共に、権利擁護意識の向上に努めます。（資料 9、資料 10）

心理職員による個別セラピーによる支援、セカンドステップ、入所児童の事前見学など安心感を高める取り組みをしました。また、性教育を通して生命の大切さ、身体と心の変化、自己コントロールについて学ぶ機会を持ちました。「子どもの生活意識アンケート」も年 2 回実施する中で、職員の不適切な対応があったという事実が判明し、必要な対応を図りました。思春期の子どもたちの問題行動が相次ぎ、対応に苦慮しました。居場所としてひまわり園が存在し得たかという点と反省すべき要素がいくつもあります。子どもたちにとって、「家庭か施設か」ではなく、どちらも居場所たり得る存在であるということを目指して支援していきたいと考えます。

基本目標 4

生活を営む主役である子どもたちが、日常生活において主体的に考え取り組むことができるように支援します。（資料 1 1、資料 1 2）

児童会「ひまわりの種」は小学生の部と中高生の部があります。中高生に関しては継続的な実施ができなかったというのが反省です。限られた人員の中で、職員が個別対応におわれてしまい、十分に手を施せなかったことが背景としてあげられます。また、子どもの声をもっと聴き、共に生活を築いていくという意識を高めていくことが必要だと考えます。



子どもたちには様々な体験の機会を保障し、積極的な取り組みが見られました。特に静岡県児童福祉施設冬季球技大会（サッカー）では出場した3部門全て優勝しました。その他ユニットごとに子どもたちの希望に添った行事を計画して1年を通じて楽しむことができました。

基本目標5

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。（資料13）

子ども会活動、ボーイスカウト、サッカー少年団など子どもたちの活動機会を確保し、活躍する場面を職員も応援しました。特に子ども会行事のドッジボール大会では、優秀な成績を収めることができました。緑が丘町内の活動（防災訓練、天王祭）にも参加しましたが、学区が違うため交流の難しさも感じながら、できることを模索しながら行いました。

基本目標6

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。

28年度は高校を卒業して就職した児童が4名、専門学校に進学した児童が1名おりました。中学3年生は5名おり、学習ボランティアのご協力を頂きながら進路支援を行い、全員が高校進学しました。植松茂子奨学基金は貸与型であり、進学した後に諸事情で勉学の継続が困難になった場合に全額返済という高いリスクをはらんでいます。実際に退学してしまった退園児童からの返済が滞っているという現実から考えると、給付型に変更していかないと活用しづらい状況です。

子どもたちの支援を行っていく上で「児童自立支援計画」を毎年作成していますが効果的に活用できていない現状があります。活用方法を検討していく必要があります。

基本目標7

家族再統合のための保護者との関係強化および行政機関、里親、学校等との社会的養護の連携に努めます。（資料14、資料15）

年間通して面会は延べ88件ありました。夏季および冬季の一時帰省は36名で、逆に年間で保護者から一切の連絡がなかった児童は22名でした。担当職員が児童相談所と共に家庭訪問するなどして家庭引取の調整を行い、8名が家庭に戻ることができた半面、なかなか家庭調整が進まず、子どもにとって本来あるべき親子関係が構築できないまま年月を重ねてしまっているケースもあるため、行政機関のみならず司法との連携が強化されるべきではないかと考えます。

里親との連携においては、研修、啓蒙活動、養育相談など行いましたが、個別のケースで見たときに、支援方針の共有などに課題が残るものもありました。そうした課題の整理と具体的取り組みの充実を図るためには児童相談所、里親との忌憚のない意見交換ができる関係づくりに今まで以上に

努めていかねばなりません。

学校との連携においては、年2回の定期的な連絡会の他、担当職員が連絡を取り合い、子どもの支援に連携して取り組むよう努めました。ただ、個々の事案では課題も残ったので更なる連携強化に取り組んでいきたいと考えます。

基本目標8

子どもの健康に配慮すると共に、防災教育を推進し、健康で安全な生活を支援します。（資料16、資料17、資料18）

健康診断、予防接種等を計画的に進めると共に、日常においても衛生管理、健康管理に努めました。また、災害時に安全に避難できるように防災訓練を定期的に行いました。

食育に関しては、栄養バランスを考えた献立と、季節や行事に応じたメニュー、誕生会や誕生日のリクエスト献立など子どもたちの嗜好や希望を取り入れる工夫をしました。



基本目標9

実習生の受入れを継続的に実施して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。（資料19）

年間で28名の実習生を受け入れました。28年度はひまわり園3名、ひろみ1名の職員を新規に採用しましたが、4名ともひまわり園での実習を通して、この職業の使命に共感し、希望を抱いて就職してくれました。子どもとの関係づくり、子どもへの対応など苦勞しながらも年間を通じて頑張ることができました。

【施設整備】

① 高圧線引き込み工事	9,528,355円	
内訳 東京電力工事費	683,155円	
ヤマグチ電機工事費	8,845,200円	
② 防災倉庫の新規購入	320,000円	
③ 厨房の冷蔵プレハブ倉庫	1,593,000円	（静岡県共同募金補助事業）

(資料1) 入退所状況

①月別在園児童数

月 別	定員	実 人 員 (初日在籍)			充足率 %	延 人 数		
		男	女	合計		男	女	合計
平成28年 4月	90	33	33	66	73.3%	990	966	1,956
平成28年 5月	90	33	33	66	73.3%	1,023	1,023	2,046
平成28年 6月	90	33	33	66	73.3%	990	990	1,980
平成28年 7月	90	33	34	67	74.4%	1,023	1,054	2,077
平成28年 8月	90	33	34	67	74.4%	1,023	1,069	2,092
平成28年 9月	90	33	35	68	75.6%	990	1,060	2,050
平成28年 10月	90	33	36	69	76.7%	1,012	1,116	2,128
平成28年 11月	90	33	36	69	76.7%	990	1,080	2,070
平成28年 12月	90	33	36	69	76.7%	1,042	1,116	2,158
平成29年 1月	90	34	36	70	77.8%	1,037	1,123	2,160
平成29年 2月	90	34	36	70	77.8%	952	1,008	1,960
平成29年 3月	90	34	36	70	77.8%	1,048	1,092	2,140
合 計	1,080	399	418	817	75.6%	12,120	12,697	24,817

②一時保護児童数 (月別集計)

月 別	一時保護人数			
	男	女	合計人数	延べ日数
4月		1	1	20
6月		1	1	11
7月		1	1	7
8月	1	2	3	25
9月		1	1	2
延 べ 日 数 合 計				65

③ショートステイ事業受入児童数

期間	男	女	延べ日数
5/30~6/2	2		4
9/10~9/12	1	1	6
11/7~11/10	1		4
3/24~3/27	1		4
合 計	5	1	18

(資料2) 理由別入退所児童数

①理由別入退所児童一覧(措置入所)

入所児童				退所児童(退所日はカウントしない)			
氏名	入所日	性別	入所理由	氏名	退所日	性別	退所理由
幼児	5月1日	女	ネグレクト	小1	4月7日	女	家庭引き取り
小6	7月1日	女	養育困難	高2	10月20日	男	家庭引き取り
高3	8月17日	女	心理的虐待	高2	1月8日	男	ファミリーホームへ措置変更
小4	9月21日	女	身体的虐待	中1	1月30日	女	家庭引き取り
幼児	10月31日	男	静岡恵明学園より措置変更	中2	3月22日	女	家庭引き取り
幼児	12月13日	男	身体的虐待	幼児	3月28日	男	家庭引き取り
幼児	1月23日	女	みどり園より措置変更	高3	3月31日	女	進学
幼児	1月23日	女	みどり園より措置変更	高3	3月31日	女	就職自立
				高3	3月31日	男	就職自立
				高3	3月31日	男	就職自立
				高3	3月31日	女	就職自立
				19歳	3月31日	女	家庭引き取り
				高2	3月31日	女	家庭引き取り
				中3	3月31日	女	家庭引き取り
入所		男子	3名	退所		男子	5名
		女子	5名			女子	9名
		合計	8名			合計	14名

②理由別一時保護児童一覧

氏名	入所日	解除日	日数	保護理由	解除理由	備考
幼児女子	4月11日	4月30日	20	ネグレクト	入所措置	
中1女子	6月20日	7月7日	18	実母の逮捕	実母の帰宅	
幼児女子	8月1日	8月12日	12	母親の精神不安からの暴力	家庭状況の回復	
中2男子	8月1日	8月12日	12	母親の精神不安からの暴力	家庭状況の回復	
高1女子	8月8日	8月16日	9	実父による暴力	母が引き取り	
高3女子	8月16日	8月16日	1	里親からの不適切な関わり	入所措置	
小4女子	9月15日	9月16日	2	母親とのトラブル	家庭引き取り	

③理由別ショートステイ事業受入児童一覧

氏名	入所日	解除日	日数	理由	解除理由	備考
小6男子	5月30日	6月2日	4	実母とのトラブル	家庭引き取り	
小4男子	5月30日	6月2日	4	実母とのトラブル	家庭引き取り	
幼児女子	9月10日	9月12日	3	母が知人の結婚式参加のため	家庭引き取り	
幼児男子	9月10日	9月12日	3	母が知人の結婚式参加のため	家庭引き取り	
小2男子	11月7日	11月10日	4		家庭引き取り	
幼児男子	3月24日	3月27日	4	育児疲れ	家庭引き取り	

(資料3) 入所児童現況(平成29年3月1日)

①性別

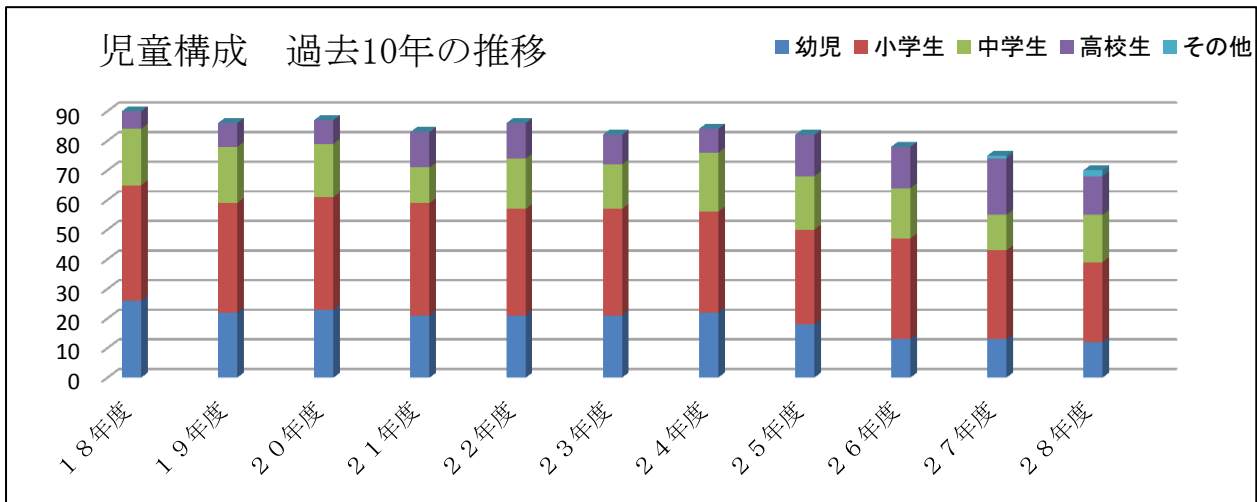
男	女	合計
34	36	70
48.6%	51.4%	100.0%

②年代別児童数

幼児	小学生	中学生	高校等	その他	計
12	27	16	13	2	70
17.1%	38.6%	22.9%	18.6%	2.9%	100.0%

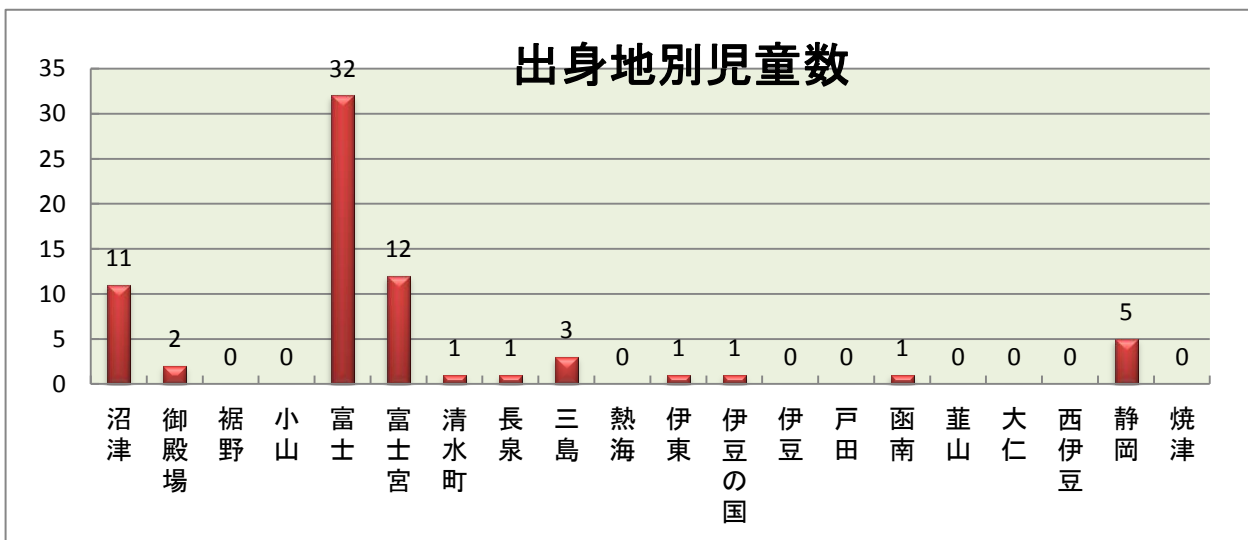
③児童構成 過去10年の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
幼児	26	22	23	21	21	21	22	18	13	13	12
小学生	39	37	38	38	36	36	34	32	34	30	27
中学生	19	19	18	12	17	15	20	18	17	12	16
高校生	6	8	8	12	12	10	8	14	14	19	13
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	90	86	87	83	86	82	84	82	78	75	70



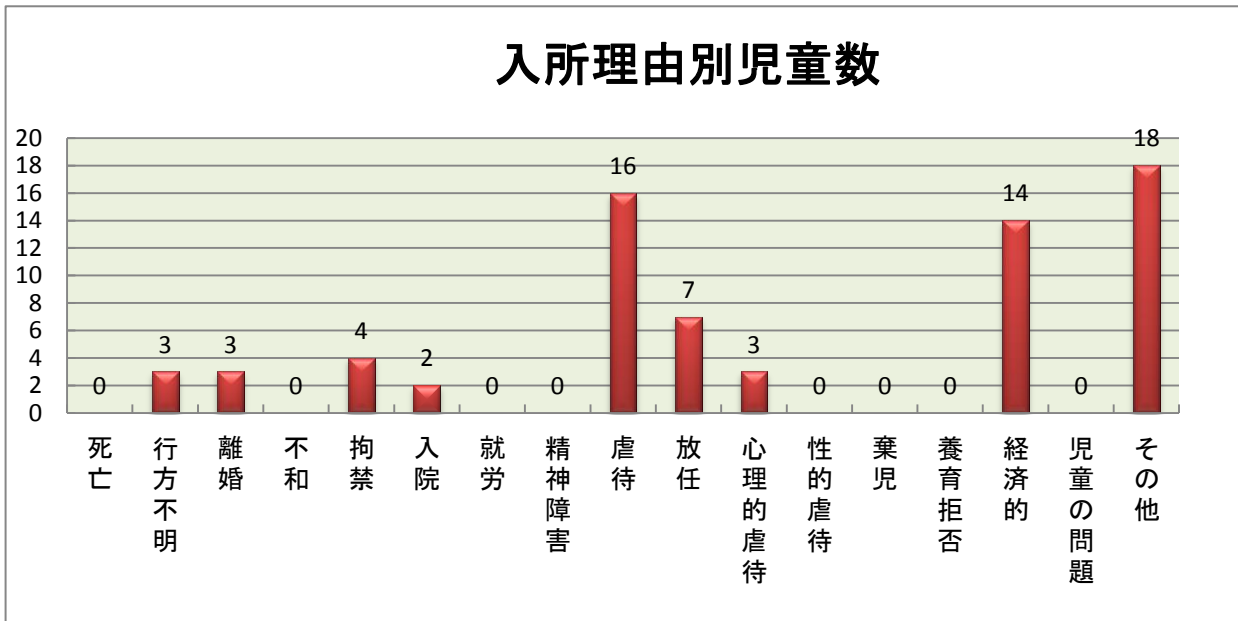
④出身地別入所数

沼津	御殿場	裾野	小山	富士	富士宮	清水町	長泉	三島	熱海	伊東	伊豆の国	伊豆	戸田	函南	韮山	大仁	西伊豆	静岡	焼津	合計
11	2	0	0	32	12	1	1	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	5	0	70
15.7%	2.9%	0.0%	0.0%	45.7%	17.1%	1.4%	1.4%	4.3%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	100.0%



⑤入所理由別児童数（主訴）

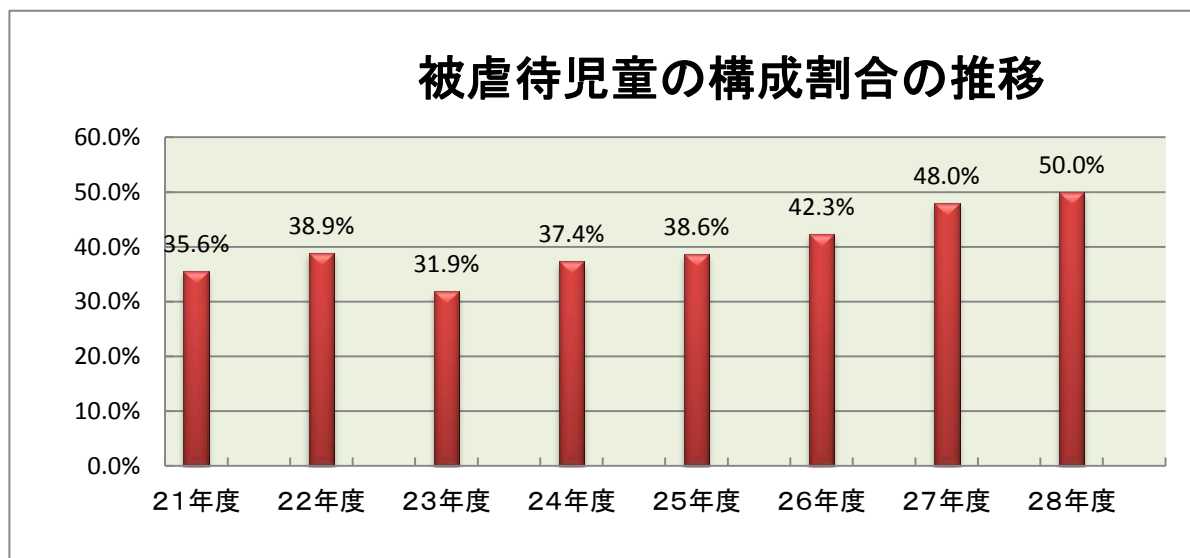
死亡	行方不明	離婚	不和	拘禁	入院	就労	精神障害	虐待	放任	心理的虐待	性的虐待	棄児	養育拒否	経済的	児童の問題	その他	合計
0	3	3	0	4	2	0	0	16	7	3	0	0	0	14	0	18	70
0.0%	4.3%	4.3%	0.0%	5.7%	2.9%	0.0%	0.0%	22.9%	10.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	25.7%	100.0%



⑥入所前に虐待またはその疑いがある児童数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
被虐待児	32	35	29	34	34	33	36	35
入所数	90	90	91	91	88	78	75	70
構成割合	35.6%	38.9%	31.9%	37.4%	38.6%	42.3%	48.0%	50.0%

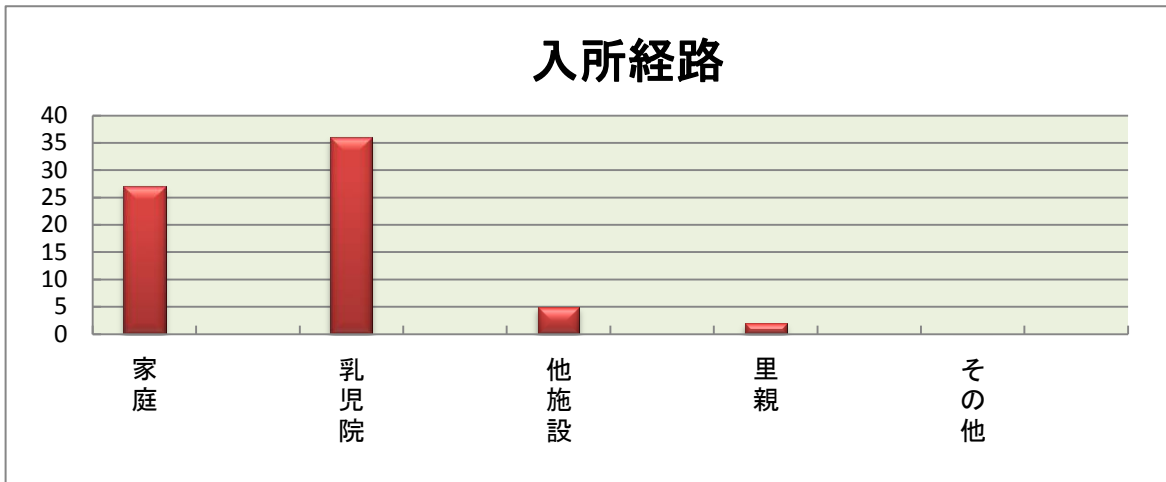
（含む ひろみ）



被虐待経験のある児童は全体の約半数である。

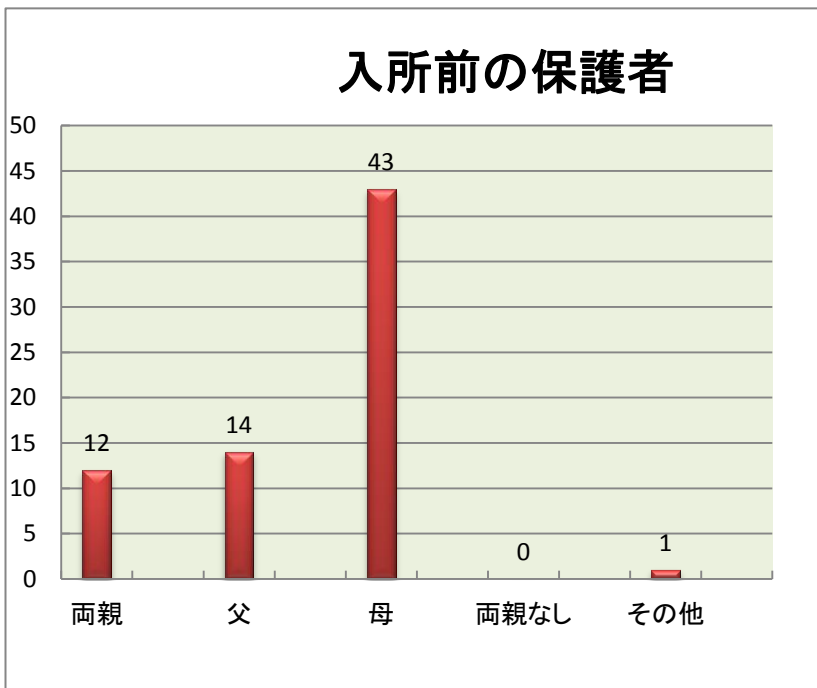
⑦入所経路

家庭	乳児院	他施設	里親	その他	合計
27	36	5	2	0	70
38.6%	51.4%	7.1%	2.9%	0.0%	100.0%



⑧入所前の保護者

両親	父	母	両親なし	その他	合計
12	14	43	0	1	70
17.1%	20.0%	61.4%	0.0%	1.4%	100.0%

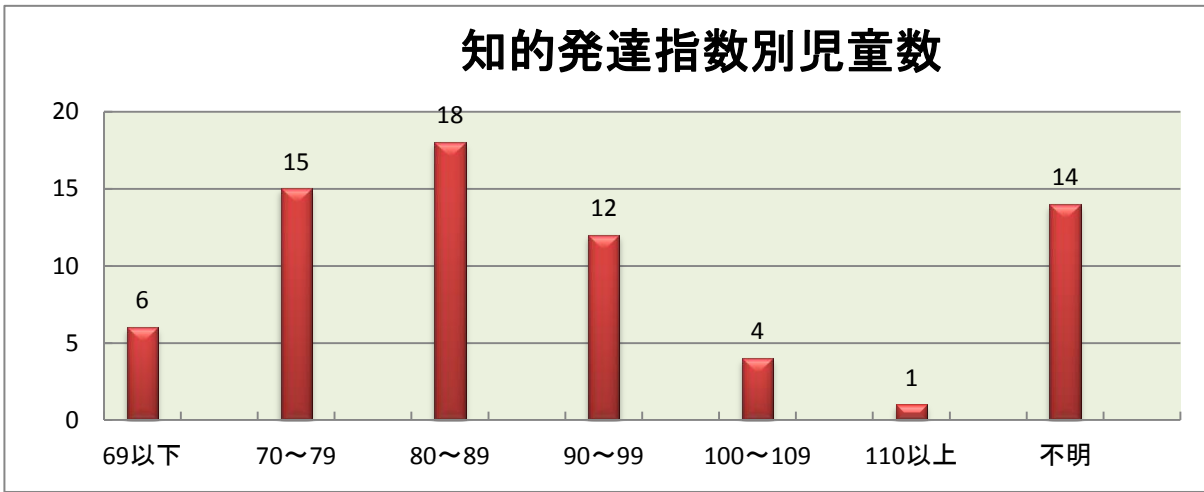


入所児童の保護者の7割弱が「実母」である。さらに保護者の学歴を見るとほとんどが「中卒」「高校中退」であり、保護者自身が適切な環境で養育されていなかったことも窺われる。

⑨知的発達指数別児童数

69以下	70～79	80～89	90～99	100～109	110以上	不明	総数
6	15	18	12	4	1	14	70
8.6%	21.4%	25.7%	17.1%	5.7%	1.4%	20.0%	100.0%

(含む ひろみ)



⑩平成29年4月進路状況

- ◇進学（高校等） 5名
 - 内訳 私立高校 5名（うち1名は家庭引取）
- ◇進学（大学、専門学校等） 1名
 - 内訳 専門学校 1名（措置解除）
- ◇就職自立 4名
 - 内訳 株式会社ノダ
 - イハラケミカル工業株式会社
 - ニッピコラーゲン工業株式会社
 - イデシギョー株式会社

(資料4)

芙 発 第 11 号

平成 29 年 4 月 25 日

静岡県健康福祉部こども未来局長 様

社会福祉法人芙蓉会ひまわり園
園 長 戸 巻 芙 美 夫 印

児童養護施設「ひまわり園」の施設運営の改善について

平成 29 年 3 月 30 日付け こ家第 932 号においてご指導いただきました施設の適正な運営及び入所児童に対する適切な処遇に向けて、指導事項に対する改善計画書を提出いたします。

記

1 改善計画

(1) 職員に対する児童権利擁護の徹底

年間を通じて権利擁護研修に参加させ、専門的技術の習得に努めます。また、施設内においても権利擁護研修を行うと共に、毎日の連絡会にて「全国児童養護施設協議会 倫理綱領」の読み合わせを行うことで意識の向上に努めます。

児童に対しては、従来実施している「生活意識アンケート」(年 2 回)、児童会の充実に加え、新たに「個別ヒヤリング」(月 1 回)を実施し、担当職員と児童との関係性を深めることができるよう努めます。また、職員各自が行う「接遇チェック」(月 1 回)の内容精査と実施の徹底を図ります。

(2) 若手職員に対する技術支援

新任職員研修(年 5 回)、外部講師(子どもの虹情報研修センター)による研修(年 2 回)などを実施し、問題行動等のある児童に対する支援方法を学びます。

(3) 職員支援体制の強化

日頃の児童支援や問題事例について、日々の連絡会で報告を怠ることなく情報共有を図ります。また、心理担当職員によるスーパーバイズの充実を図ると共に、今回問題のあったユニットに対しては毎月のユニット会議に副園長が同席し、助言指導を行います。

(資料5) 平成28年度 ひまわり園第三者評価総評のまとめ

第三者評価者：セリオコーポレーション

実施日：平成28年11月29日・30日

【特に評価の高い点】

◇先駆的な取り組み

平成13年から家庭的養護を目指し小規模な形での養育環境を提供するため、地域小規模児童養護施設を運営しており、全国に先駆けた取り組みとなっている。

◇養育の基本姿勢の統一

職員が共通した理解を持って支援するために「養育の基本」「緊急時の対応」「生活日課マニュアル」「ひまわり園で生活する皆さんへ」等のマニュアルを策定しており、マニュアルに基づいた支援の統一が図られている。マニュアルの内容自体も非常に充実したものになっており、特に新人教育には欠かせないものとなっている。

◇「最善の利益」となる進路の自己決定

子どもにとって最善の利益となる進路が選択でき、自己決定ができるように支援している。高校卒業後も進学を希望する子どものため、法人の奨学金制度や各種の団体が行う給付型奨学金制度を活用し進学を応援している。また、高校進学が困難な子どもや、就職したが一人で生活することが困難な子ども等に対しても、継続して自立に向けた支援を行っている。

【改善を求められる点】

◆虐待防止の取り組み

「養育の基本」や「被措置児童等虐待防止ガイドライン」を職員に配布し、周知を図っているが、今年度職員による不適切な関わりが判明しており、権利擁護に配慮した支援の重要性が問われている状況であり、改めて職員教育の徹底が望まれる。

◆子どもとの信頼関係の検証

基本的な生活習慣を確立するため、ユニット毎に生活のルールや約束事を取り決めて、秩序ある生活の維持に努めているが、生活のルールや約束事を守ることを優先し必要以上の指示や制止をすることがないよう、子どもの意見を尊重して、見直せる部分については見直しをすることが望まれる。また、利用者アンケートの結果を分析して、子どもとの信頼関係を検証する一助として活用することが望まれる。

(資料6) 事故・ヒヤリハット報告

①事故報告

番号	期日	氏名	年齢	発生時間	発生場所	状況	症状・対応など	改善点など
1	5月11日	M・Y	7	7:30	登校途中	登校中に見回りに出た職員が運転する50ccスクーターに手を伸ばし注意しても手を離さず。少し速度が上がったときに転倒。	右手中指の皮がむけ、肘と額に軽い打撲	停車して注意し、確実に手を離れたことを確認すること。
2	5月30日	S・S	9	10:00	学校	体育の授業中に転倒して後頭部を床に打ち付けた	聖隷富士病院にてCTをとるが異常なし。軽度の頭部打撲	
3	7月8日	H・M	3	17:35	園内階段	夕食のために居室から食堂に移動する時間帯で、職員が目を離した隙に1人で階段を下りてしまい、下から2段目の所で足を踏み外し転倒。	左眉上に裂傷。渡辺医院通院。医療用テープで傷口を固定。	日頃より幼児には1人で階段を下りないように注意していた。職員が所用でその場を離れざるを得なかったが、極力目を離さないように注意する。
4	10月13日	M・T	7	7:35	学校	登校した後に小学校の敷地内で石を拾っているところを他児に押され転倒、後頭部を地面にぶつけた。	救急車にて医療センターに搬送された。その後聖隷富士病院でCT検査、異常なし	ふざけ半分で押されたため、相手の児童に注意。
5	11月9日	Y・M	6	20:05	居室ホール	ソファの上を飛び移ろうとジャンプして足を滑らし転倒して床に額をぶつけた	通院なし	
6	12月21日	S・H	2	16:30	グラウンドの遊具	滑り台のはしごの2段目から、いきなり手を離して落ちて地面に側頭部をぶつけた	通院なし	危険に帯する認識が低い幼児なので注意して見守る。

②ヒヤリハット報告

番号	期日	氏名	年齢	発生時間	発生場所	状況	症状・対応など	改善点など
1	6月2日	H・S	8	15:30	下校途中	落ちていた飲みかけのペットボトルを拾って飲んでしまう。	日頃から落ちている物を拾ってくる習慣がある。特に問題はなかったが嚴重に注意した。	実際にあった毒物混入事件などを説明して危険性を伝える。
2	7月2日	K・H K・T	8 5	18:30	4階踊り場	2人で手を引っ張り合っているときに手が離れてしまい、5歳児が倒れ、おいてあったテーブルに頭がぶつかった。	怪我はなかった。	
3	7月3日	Y・H	8		マイクロバス駐車場	マイクロバスが園に戻って来てバックで駐車場に入って来たので、座り込んで遊んでいる本児に職員が声をかけるが聞こえず、何度か大きな声をかけて、ようやく気づいた。	遊びに夢中で声をかけても耳に入らなかった。	
4	7月10日	U・M	3	朝	ホール	ホールの鏡の隙間に指を入れてよじ登ろうとした。	発見時に注意して止めさせた。	鏡が外れてしまったら大怪我に繋がることを伝え注意。
5	7月11日	T・A	16	18:00	食堂	カップラーメンにお湯を注いだときに指にお湯がかかってしまう。	水ぶくれになってしまった。	高校生なのでもう少し注意して行うように指導
6	7月17日	K・H	8	7:25	4階踊り場	朝食に遅れ、1人で踊り場にいたときに転がっていたビー玉を蹴って1階まで落下させた。	誰もいなかったのだけが人などはいなかった。	自己になる危険がある事なので嚴重に注意した。
7	7月23日	H・S	8	13:00	グラウンド	グラウンドを散水機で水まきをしている最中に近づき、目の近くに放水が直撃した。	しばらくぼやけて見えづらかったが回復。	散水機の危険度を説明。
8	7月23日	H・M	3	16:00	ユニット玄関	入り口の取っ手にぶら下がって坂垂がちのような格好になり、手が滑って転落。	口元を床にぶつけてしまい、泣いたが外傷はなかった。	知的障害のある児童なので目を離さないよう注意する。
9	8月14日	S・S	9	9:30	園内階段	下へ降りていく途中、足を滑らせ5段ほど転がり落ちた。	下唇を少し切り、左足に擦り傷。	
10	10月5日	S・S	9	18:00	グラウンド	宿題をなかなかやらないため別室対応で学習室で個別指導をしていた。見ていた職員が用事で出かけたのを追いかけて門の外に出てしまった。	目撃した別の職員が男性職員を呼び対応。	夕方でもあり1人で外に出てしまう危険性を伝えた。
11	10月10日	K・K	5	14:30	園内階段	オベレッタの練習に行くために階段を下りていったときに足を踏み外し、3～4段転落。	怪我はなかった。	階段は慌てないで降りるよう注意した。
12	10月20日	K・T	4		居室	ロッカーから玩具を出そうとしたときに他児が戸牧を強く閉め、右手小指を挟んでしまった	少し出血したので止血対応をした。	扉を閉めた児童に指導

13	10月20日	K・M	10		グラウンド 南側スロープ	他児と喧嘩をして飛び出している、その後ひまわり園とみぎわ園の間のフェンスを越えて飛び降りた。また、喧嘩の途中でハサミを握りしめて相手に向かっていこうとした。	怪我はなかったが失敗したら怪我をしていた可能性があった。ハサミについても嚴重注意した。	本児は感情の抑制ができず直情的に行動することが多く、情短施設にも定期的に通所しているが、対応が難しい児童である。
14	11月1日	U・M	4		階段	階段を下りるときに踊りながら歩いており、踏み外して3段ほど転落。	手をうまくつけずに東部と顔を床にぶつけたが怪我はなかった。	階段は注意して降りるように注意した。
15	11月4日	M・R	8	下校時	和田川	他児を150cmほどの高さから川に突き落とってしまう。	水深50cmほどで怪我はなかった。他に5名と一緒に川に入って遊んでいた。	危険に対する注意力が非常に低く、集団意識も働き問題行動が目立つ。
16	11月6日	K・N	4	朝食時	食堂	幼児椅子に座っていたが落ちてテーブルに顎をぶつけた	怪我なし	椅子の上でふざけていたことが原因
17	11月7日	Y・H	8	登校時	通学路	壊れたハンマーを拾って遊んでいるのを職員が見つけて注意。	職員が注意して預かった。	怪我に繋がる危険があるので嚴重注意
18	11月9日	H・K	3	15:00	ホール	飴を丸呑みしてしまい、のどに詰まらせてしまった。	念のため通院したが、問題なかった。	医師から3歳に飴は早すぎるという注意助言があった。
19	11月9日	Y・M	6		ホール	ソファの上に飛び乗ろうとして足を滑らせて転倒。側頭部を床にぶつけた。	怪我はなかった。	ホールで走り回らないように注意した。
20	11月10日	S・T	11		浴室	浴室掃除を熱湯でやっていた。	職員が気づいて注意してやめさせた。	火傷に繋がる危険のある行為なので嚴重注意
21	11月13日	H・A	17		浴室	浴室と脱衣場の間で躓いて転倒。	怪我なし	
22	1月13日	H・K	3		ひまわり幼稚園	日中保育中に保育室を抜け出して外に出てしまう。	職員が気づいて部屋に戻した。	知的障害のある幼児で目が離せないため要注意。
23	1月15日	K・H	9		グラウンド	グラウンドに一日放置してあった水筒の水を飲んでしまう。	職員が気づいて注意した。	衛生観念が非常に低いため、安全性について話をした。
24	1月24日	H・A	17	夜間	浴室	湯船につかっただまま寝入ってしまう。	職員が気づいて声をかける。	部活動などで疲れてしまっていると思われるが注意したい。
25	2月8日	K・J K・N	3 4	8:30	グラウンド	幼稚園の登園時にJがNを大声で驚かせ、Nが驚いて転倒	怪我はなかった。	幼児なので場所の危険度などがわからないため付き添い職員が注意すること
26	2月7日	H・K	3	16:00	花壇	花壇の方へいきなり走り出し果断に入り込んだところでバランスを崩し仰向けに転倒。	後頭部を花壇の淵の石にぶつけそうになった。	知的障害児で突発的な行動が多いので注意。
27	2月10日	S・R	8	15:30	ホール	おやつの中に入っていた防腐剤の復路を口の中に含んでしまった。	職員が気づいて口から出させる。袋は破れておらず。	危険性を伝え、口に入れないう指導
28	2月11日	H・K	3	15:00	グラウンド	走っている車に向かって突然走り出す。	職員が気づき追いかけ止める。車も止まってくれた。	知的障害があり突発的行動がひどいため要注意。
29	2月13日	H・K	3	1:30	踊り場	夜中に急に目を覚まして居室の玄関の鍵を開け踊り場に出て立っていた。	他ユニットの職員が気づいて連絡。	知的障害があり突発的行動がひどいため要注意。
30	2月13日	M・Y	8	16:45	ホール	食器の近くでペイブレードを回す	当たった食器が割れてしまった。	その場で注意指導
31	2月15日	H・K	3	10:00	グラウンド	日中の外遊び中にいなくなってしまう。	学習室北側駐車場に入り込んでいた。	知的障害があり突発的行動がひどいため要注意。
32	2月19日	K・M	10	7:00	ホール	台所にある給湯器の温度を最高にしてペットボトルにお湯を入れる。	職員が気づいてやめさせた。	危険認知度が低いため要注意。
33	2月25日	O・A	13	20:00	浴室	入浴中に浴室で眠ってしまう。	職員が気づいて声をかけた	中学生なので個別に入浴する時間が見て注意した
34	3月12日	H・H	11	9:30	学習室東側	学習室東側に落ちていたガラス片で指を切ってしまう。気づいた職員が声をかけるとコンクリートのスロープに向かって投げ捨て、ガラス片が粉々になった。	注意して片付ける。	職員に注意された直後に投げ捨てるといった挑発的行動を行ったため、あらためて担当から指導する。
35	3月12日	N・K	12	9:45	駐車場	学習室北側駐車場に工事中のショベルカーがおいてあったが、キャタピラの上に乗って遊んでいた。	職員が発見して注意。	声をかけたらすぐに降りたが、モラル面で注意が必要。
36	3月12日	K・K	6	15:40	園舎南側のスロープ	スロープで競走して遊んでいた時に職員とぶつかって後ろ向きに転倒。高等部を地面にぶつ。	聖隷富士病院に通院、CT検査。異常なし。	
37	3月21日	S・S	3	8:00	ホール	ティッシュをちぎって鼻の穴に詰めてしまう。	保育士が気づいて、すぐに取る。	幼児の動きに配慮すると共に危険な物は手の届かないところに置く。
38	3月25日	K・J	3	12:00	食堂	食事中にテーブルにおいてあったナイフを握ってしまう	保育士が気づいて、すぐに取る。	果物ナイフで手が切れるものではないが、置く場所に注意する。

(資料7) 苦情・要望受付状況

番号	期日	申し出人	分類	申し出内容	処理経過
1	6月	小学校父兄	苦情	ランドセルに傷をつけられた	謝罪と弁償を申し入れたが、特に弁償は求められなかった。
2	6月	児童	要望	祇園まつりで夜間外出をしたい	学校の規則で禁止されているため許可できない
3	7月	近隣住民	苦情	隣接する樹木の伐採をして欲しい	業者に依頼して対応
4	7月	児童	要望	中古の自転車を購入したい	本人が新車購入を希望して取り下げ
5	7月	児童	要望	外出でマリンスプールに行くときに送迎して欲しい。中学生も昼食を破産での外出を認めて欲しい	ひまわりの種で話してみることを提案した。
6	8月	児童	苦情	銀河で「子どもの生活アンケート」を実施していない	担当職員を指導の上、実施した。担当の不適切な関わりが判明
7	11月	児童	要望	児童手当で修学旅行に行く洋服を買いたい	園長の許可を得て購入
8	11月	児童保護者	要望	家庭引き取りに向けた引っ越し費用に児童手当を使いたい	児童相談所の許可を得た
9	11月	退所児童保護者	要望	家庭引き取りしたが不登校。職員に協力依頼。	担当だった職員が訪問して面接
10	12月	近隣住民	苦情	ひまわり園の子どもが家に石を投げつけてくる	園の児童であるという証拠がなかったが、職員が謝罪
11	12月	児童	要望	アルバイトで貯めた預金から小遣いとして一部使用したい。門限を延ばして欲しい	高校生全体に関わることなので「ひまわりの種」で検討することを助言
12	1月	児童保護者	要望	子どもの誕生日のお祝いで外出させて欲しい	会議で検討の結果許可することとした。
13	2月	近隣住民	苦情	隣地との境界の防草シートが強風でめくれあがっているため直して欲しい。	即対応した
14	2月	児童	要望	受験に合格した友人と夕食の外出をしたい	中学生であるため日中の通常の外出時間で実施するよう伝えた。
15	2月	中学校父兄	要望	部活の1年生大会で県大会に出場したので食事会に子どもを参加させて欲しい	1年生であるため最初は許可できないと返答したが、父兄の熱意を理解し許可した。
16	2月	学習ボランティア	要望	受験指導をした児童と夕食させて欲しい。	会議で検討した上で許可した。

(資料8) 研修報告

①外部団体研修等

期 日	研 修 内 容	会 場	人数
5月17日	三方原学園創立記念式典	県立三方原学園	1
5月31日	静岡県児童養護施設協議会指導員保育士部会 性教育	清明寮	4
6月5日	静岡市里親家庭「発育期に沿った愛着形成」	グランシップ	3
6月7日	児童相談所相談員・児童福祉司研修	東部総合庁舎	1
6月13日	衛生・栄養管理講習会	ラ・ホール富士	1
6月13日	社会福祉法人簿記入門講座	シズウェル	1
6月14日	静岡県児童養護施設協議会新任職員研修	あざれあ	4
6月19日	障害児養育勉強会	ふじやま学園	1
7月19日	新会計基準に基づく社会福祉法人経理応用講座①	グランシップ	1
7月21日	新会計基準に基づく社会福祉法人経理応用講座②	静岡労政会館	1
9月5日	里親支援機関の現状と今後の課題について	グランシップ	1
9月14日	第35回心理臨床学会秋季大会（～9月19日）	パシフィコ横浜	1
10月2日	事務研修	シズウェル	2
10月4日	関東ブロック児童養護施設職員研修（～10月5日）	水戸市	1
10月13日	権利擁護推進研修	シズウェル	6
10月17日	社会福祉法人 予算管理講座	グランシップ	1
10月27日	児童相談所 性教育研修会	藤枝市総合庁舎	3
11月11日	調理技術研修会	フィランセ	4
11月12日	第8回児童虐待防止静岡の集い	シズウェル	5
11月16日	小児アレルギー教室	県立こども病院	1
11月19日	第70回全国児童養護施設協長研究協議会（～11月21日）	京王プラザホテル	1
11月26日	セカンドステップ研修（～11月27日）	東京都ガールズスカウト会館	2
11月28日	静岡県児童養護施設協議会福祉研究会宿泊視察研修（～11月29日）	神奈川県	1
11月29日	暴力防止研修 子どもの健全な性発達を支えるために	もくせい会館	1
12月1日	児童福祉支援研修	東部総合庁舎	2
12月2日	平成28年度市町村等研修会	東部総合庁舎	2
12月4日	第1回心の健康・文化フォーラム	国立京都国際会館	1
12月7日	富士圏域社会福祉施設長連絡会 「声のもつ力」	グラウンド富士	2
1月11日	安全運転管理者講習	磐田グランドホテル	1
2月14日	静岡県児童養護施設協議会指導員保育士部会 中堅職員研修	静岡恵明学園児童部	2
2月21日	児童福祉施設新bりたんと宇職員合同研修（～1月23日）	子どもの虹情報研修センター	1
3月26日	IFCAセミナー2017	富士市消防庁者	3

②園内職員研修会

期 日	研 修 内 容	発表者・講師
5月30日	子どもの権利擁護研修	塩谷弁護士
6月20日	臨床心理士について	山本
7月12日	愛着関係が不十分な子どもへの生活支援	こどもの虹研修センター 中垣真道氏
9月9日	中堅職員研修「ガイド関係を高める関わり」	こどもの虹研修センター 中垣真道氏
10月11日	ひまわり園の現状を考える	山本
10月24日	小規模化に向けて	栗田 鈴木 和井内
11月28日	脳科学の視点から	赤石
1月30日	ケースカンファレンス	持田 平岩 佐野 飯塚
2月28日	新任職員の振り返り	飯塚 和井内 桑原 岡

③園内新任職員研修

期 日	研 修 内 容	発題・講義
4月19日	施設保育士としての心構え	種田
5月11日	「子どもの最善の利益とは」 「個別目標」	種田
7月19日	セカンドステップ他	山本
9月6日	上半期の振り返り	種田

④感染症予防対策委員会

実施日	月1回	

⑤里親支援

4月19日	東部里親会理事会	東部総合庁舎	1
4月22日	なまいきフォーラムに関する話し合い	パラソル	1
4月26日	富士市内児童養護施設里親支援専門相談員検討会	富士児童相談所	1
5月7日	富士にじの会総会・なまいきフォーラム	フィランセ	1
5月15日	東部里親総会・第1回スキルアップ研修	東部総合庁舎	1
5月20日	里親サロン打合せ	パラソル	1
5月30日	里親サロン打合せ	パラソル	1
5月31日	里親認定交付式・里親研修	富士健康福祉センター	1
6月7日	東部里親会理事・推進委員会	東部総合庁舎	1
7月5日	里親支援会議・ショートルフラン調整会議	富士児童相談所	2
8月11日	ふじ虹の会 ふれあい交流会	かぐや姫工房	1
10月4日	ショートルフラン調整会議	富士児童相談所	1
10月10日	里親支援担当連絡会	富士児童相談所	1
10月29日	フォスターセッション	富士宮福祉会館	3
1月5日	ショートルフラン調整会議	富士児童相談所	1
1月10日	里親支援担当連絡会	富士児童相談所	1
2月19日	里親サロン	パラソル	1
3月7日	里親支援会議・ショートルフラン調整会議	富士児童相談所	1
3月30日	IFCAセミナー運営	富士市消防庁舎	1

⑥静岡県児童養護施設協議会 その他

参加者	開催日					
静岡県児童養護施設協議会 施設長会 視察研修	4月14日	5月19日	6月16日	7月21日	9月15日	10月13日
	12月15日	1月12日	2月16日	3月9日		
	10月22日 ～ 10月23日 (京都 舞鶴学園)					

静岡県児童養護施設協議会 専門部会

福祉研究会	田中	4月18日	5月27日	6月14日	6月30日	7月19日	9月20日
		10月21日	11月8日	12月15日	12月20日	1月31日	2月21日
		3月21日					
	視察研修 11月28日 ～ 11月29日 (神奈川県)						
指導員保育士部会 代表者会	手川	4月27日	9月14日	1月18日			
	山本	4月21日	7月28日	12月1日	2月9日		
心理職員部会	持田	5月16日	7月11日	9月12日	11月15日	1月16日	
家庭支援専門相談員部会	田中・赤石	5月11日	6月27日	9月12日	12月5日	2月17日	
里親支援専門相談員部会	鳥越	6月20日	9月29日	1月25日			
事務部会	秋山	5月16日	11月15日	2月27日			
栄養士・調理員部会							

東部児童福祉施設連絡協議会	種田	5月10日	6月8日	9月20日	11月8日・9日	1月17日	3月7日
---------------	----	-------	------	-------	----------	-------	------

富士圏域社会福祉施設長連絡会	種田	役員会	4月18日	5月12日	6月2日	7月26日	9月28日
			11月21日	2月27日			
	定例会	5月20日	7月12日	10月6日	3月8日		

関東ブロック児童養護施設長研究会 種田 6月30日 ～ 7月1日

関東ブロック児童養護施設運営委員会と県養協施設長との合同研修会

種田 5月23日 ～ 5月24日

全国児童養護施設長研究協議会

種田 11月15日 ～ 5月17日

(資料9) 心理対応

①個別心理治療

情緒的課題を抱えた児童への心理治療を目的とし、ひまわり園在園児童 3名に個別の心理療法を実施。学習室内のプレイルームにて、週1回45分のセッションを実施する。

また、それぞれの児童のセラピー報告書を約2ヶ月ごとに提出している。

対象児童

Y・M (小2男児)	51セッション実施 (仕切り直しを含む)
H・Y (小3男児)	48セッション実施 (仕切り直しを含む)
<u>D・S (小4男児)</u>	<u>49セッション実施 (仕切り直しを含む)</u>
合計	148セッション実施 (仕切り直しを含む)

仕切り直しの手順

- ・個別心理療法の目的や狙いを児童と再確認し、職員からみた児童の評価および課題を共有したうえで、児童本人へのアンケートや、風景構成法等の描画を実施して心理的課題をアセスメントしている。

②静岡県児童養護施設協議会の心理職員部会への参加

- 第1回 日時 2016年4月21日 10:00～16:00
会場 社会福祉法人芙蓉会ひまわり園
内容 ・事例検討 山内園絵氏 (清明寮)
・講義「児童養護施設における遊戯療法とグループ・アプローチ」
講師 静岡大学 井出智博氏
- 第2回 日時 2016年7月28日 10:00～16:00
会場 シズウェル
内容 ・事例検討 発表者：山本祐輝 (ひまわり園)
・講義「アタッチメントについて」
講師 静岡大学 井出智博氏
- 第3回 日時 2016年12月1日 10:00～16:00
会場 シズウェル
内容 ・次年度の事業及び予算案についての話し合い
・事例検討 発表者：重田玄磨氏 (岩倉学園)
- 第4回 日時 2017年2月9日 10:00～16:00
会場 社会福祉法人誠信会 誠信少年少女の家

- 内容 ・次年度の事業及び予算案についての話し合い
・事例検討 発表者：杉浦広平氏（川奈臨海学園）

③セカンドステップの実施

「セカンドステップ」とは、米国ワシントン州にある NPO 法人 Committee for Children によって開発された教育プログラムで、こどもの衝動性や攻撃的行動をやわらげ、社会への適応力を高める目的で作成されている。教材は、「相互の理解」、「問題の解決」、「怒りのコントロール」の三章から構成され、それぞれのスキルを適切に使うことによって、社会への適応力を高めることが可能になるとされている。

ひまわり園では、小学生を対象に、3～5 人の小グループを 3 組構成し、それぞれに担当職員がつき、毎月 1 回程度のペースでプログラムの実施をはかっている。

④処遇検討会への参加

毎月行われている各ユニット（6 ユニット）の処遇検討会に適宜参加し、担当保育士らと共にアセスメントの作業を行い、援助方針の策定に携わっている。

⑤園内研修の企画、実施、司会

- ・「臨床心理士およびセラピーについて」
2016 年 6 月 20 日 10:00～12:00
発表者：山本

- ・「愛着形成が不十分な子どもへの生活支援」
2016 年 7 月 12 日 10:00～12:00
講師：中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）

- ・「ガイド関係を高める関わり」
2016 年 9 月 9 日 10:00～12:00
講師：中垣真通氏（子どもの虹情報研修センター）

- ・「ひまわり園の現状を考える」
2016 年 10 月 11 日 10:00～12:00
グループディスカッション

- ・「小規模化に向けて」
2016年10月24日 10:00～12:00
発表者：さくら職員（栗田姉、鈴木姉、和井内姉）
- ・「脳科学の視点から」
2016年11月28日 10:00～12:00
発表者：赤石姉
- ・「ケースカンファレンス」
2017年1月30日 10:00～12:00
発表者：かえで職員（持田兄、平岩姉、佐野姉、飯塚姉）
- ・「新任職員の振り返り」
2017年2月28日 10:00～12:00
発表者：飯塚姉、岡姉、桑原兄、和井内姉

⑥ひまわり幼稚園における児童対応

ひまわり幼稚園での保育サポートおよびアセスメントを適宜行っている。

⑦「こころこばなし」の配布

職員の養育スキル向上に繋がるような学びを提供するため、2016年9月より、月1回のペースで、「こころこばなし」と題したお便りを発行している。2016年度は7回発行。それぞれのテーマは『僕ら』、『隠された気持ち』、『当たり前を評価すること』、『身につくということ』、『IQについて』、『3KとEBP』、『サインとしての問題行動』。

⑧研修参加および研修発表

- ・静岡県児童福祉施設 指導員保育士部会 第2回定例会
日程 2016年9月23日 10:00～16:00
場所 児童養護施設 まきばの家
内容 事例検討『愛着に問題を抱える子どもの支援』
助言者：土岐篤史氏（こひつじ診療所 児童精神科医）
- ・第35回心理臨床学会秋季大会
日程 2016年9月4日～9月7日
場所 パシフィコ横浜
内容 ①自主シンポジウム1

- 『総合環境療法における動機づけについて』
- ② プレコングレスシンポジウム 2
『子育て支援と臨床心理士 — 保育現場との出会い —』
- ③ 広報委員会企画シンポジウム
『心理臨床家の成長とは』
- ④ 口頭発表（事例研究）
『心理療法に展開されるエナクトメントが導いた面接関係の変化について』
- ⑤ 口頭発表（事例研究）
『施設臨床における被虐待児への心理的援助とアフターケアについての一考察 — 情緒障害児短期治療施設で育った女兒が母親となるまで』
- ⑥ 実行委員会企画シンポジウム 3
『精神分析とシステム論の対話 — 個人、家族、地域の協働に向けて』
- ⑦ 口頭発表（事例研究）
『情緒障害児短期治療施設における親子支援についての一考察』
- ⑧ 口頭発表（事例研究）
『児童養護施設における虐待を受けた女子の心理療法 — 施設心理士は内（うち）で起きていることをどう理解し外（そと）でどのように動くのか —』
- ⑨ 自主シンポジウム 3
『新しい児童福祉臨床を考える（その8） “措置変更” を再考する』

・ 第1回 心の健康・文化フォーラム

日程 2016年12月4日 10:00～16:00

場所 国立京都国際会館

- 内容
- ・ 特別報告：「臨床心理士による心の復興支援活動の現場から」
熊本県臨床心理士会理事 高原朗子氏
福島県臨床心理士会会長 安部郁子氏
 - ・ 基調講演：「想像するちから～チンパンジーが教えてくれた人間の心」
松沢哲郎氏（文化功労者／京都大学高等研究院副院長）
 - ・ 松沢氏と山中康裕氏（京都大学名誉教授/京都ヘルメス研究所長）の対談

・ 児童福祉施設心理担当職員合同研修

日程 2017年2月21日～2月23日

場所 子どもの虹情報研修センター

- 内容
- ① 講義：「解離症状の理解」
講師：古田洋子氏（埼玉県中央児童相談所）
 - ② グループ討議：「自己紹介と施設紹介」

- ③ 講義：「社会的養護児童の自立に関する法制度」
講師：小坏淳子（松ヶ丘法律事務所）
- ④ 事例検討1 提供者：山本祐輝（ひまわり園）
助言者：大塚斉（武蔵野児童学園）
- ⑤ 事例検討2 提供者：山本達彦（日照養徳園）
助言者：川畑友二（クリニック川畑）
- ⑥ 講義：「パーソナリティ障害の理解」
講師：林直樹（帝京大学医学部精神神経科学講座）
- ⑦ グループ討議・全体会
「社会的養護の現場で貢献できる心理職とは」

以上

(資料10) 児童処遇について

①性教育学習会実施状況

学 年	期 日	テーマ	目 的 ・ 内 容
小学校低学年	2月	大切な命	誕生の話をする事で、子ども自身が自分も一個の命であることを自覚する。そして、誰しもが一個の命を持ち、それがかけがえのないものであることを知る。
中学生女子	3月	二次性徴	二次性徴期の身体と心の変化を学ぶ。自らの身体が生命を生み出すものへと変化していくただ中に置かれている子どもたちに、その意味を考えさせる。
高校生女子	2月	月経・妊娠	月経の仕組みを復習する。そこから妊娠や中絶について話を展開する。そういった事実を踏まえて男女交際について考えさせ、どのような自己決定をしていくかについて、職員と一緒に考えていく。
中高男子	2月	自己コントロール	性的な欲望について考えた。性的な欲望を肯定しつつも、それによって被害者を生むことは決して許されないことを確認した。 自らの欲望を受容し、それをコントロールしていくことによって、人と共生していけることを学ぶ。

(資料11) ひまわりの種

①【小学生の部】

期 日	テーマ (議題)	内 容
5月8日 (日)	第1回 「メンバーと役割分担」	●新メンバー ・6年生6名、5年生2名の構成。 ・会長(種長)1名、副会長2名を決定。昨年度から継続して種の会に入ってくれた小6女子を会長に据える。他のメンバー7名は種の会に始めて入る子達ばかり。
	「話し合いの進め方」	●話し合いの進め方 ・暫くは担当職員が司会進行を行う。じきに子ども達に行ってもらう予定。 ●記録の取り方 ・種長と小5女子の子が、ノート書記を希望し、決定する。但し、書記のみならず、会合で発言する事も心掛ける様にする事。
	「これまでの取り組み」	●改善してきた事の紹介 ・DS等の充電玩具の使用許可、食後にお茶でお皿を綺麗にして飲む事の廃止、外出届けに関する改善など、取り組みを紹介。 ●三本柱の紹介 ・「交通安全」「朝の礼拝」「畑」の三項目を中心とした活動歴をメンバーに紹介。
	「今年度、取り組みたい事や改善したい事」	●メンバーに聞いてみる ・TVゲームが出来るようにしたい、3DSでWi-Fi使用したい、という意見が挙がる。 ・次回、種の会までに考えておく様に促す。 ●野菜栽培について ・担当職員より、時期的に夏野菜の苗の植え時。畑の耕作を進めたい意向を伝える。 ・5月9日石灰捲き、5月12日耕作、5月15日苗植え(職員が苗購入)。 ・キュウリ、ナス、シシトウ、トマトを栽培予定。
5月12日 (木)	第2回 「畑耕作・野菜植え」	●畑作り ・9日に消石灰を捲いておく。この日、畑土と堆肥と鶏糞を混ぜ、畝を作る。 ●苗植え ・畑①にナス、シシトウ、トマト、トウモロコシの苗を3株ずつ植える。奥の畑②にキュウリの苗を8株植える。
5月15日 (土)	第3回 「野菜栽培」	●水やり当番決め ・日替わりで、メンバーによる水やりを行う。曜日毎に人を決める。
	「三本柱でのメンバーの役割」	●交通安全、朝礼拝、野菜栽培について ・昨年度は、グループ分けを行い、交通安全班、朝礼拝班、畑班に分かれた。 ・今年度は、特にグループ分けしない。全体で気が付いた事を話し合う。
	「交通安全」	●登下校の様子で気になる事 ・30m道路の渡り方。わざと遅く歩き、途中の待避所で待つ。・傘を振り回し、戦いごっこ。・追いかけてごっこをしている。・道路標識に昇る。・道路の中央を歩く。 ●対策を考える ・その場での注意(必須)。 ・種会メンバーの顔見せも兼ねて、一度小学生全体を集めて、注意をする場を作る。 → 5月22日(日)19時~食堂で。告知はメンバーに任せる。 ・チラシ、ポスターを作り、各部屋に掲示してもらう。 → A4サイズで3種類(①白線を歩く ②傘を振り回さない ③30m道路の渡り方)のチラシを作る。出来れば、5月22日頃までに。
5月22日 (土)	「小学生への注意喚起」 (登下校について)	●予定通り、小学生全員を食堂に集め、登下校の状況を伝えつつ、交通ルール遵守を訴える。 ●上記ポスターは各居室に配布。
6月19日 (日)	第4回 「子ども会フリーマーケットへの協力について」	●7月2日に実施予定の子ども会主催のフリーマーケットについて。 商品集め…各居室に段ボール箱を設置し、そこに商品を入れてもらう。段ボールの準備、配布、及び商品集めの宣伝は種会メンバーに任せる。 ●役割分担 男子が値付け7月1日(金)、女子が販売7月2日(土)とに別れる。(各々、ヨガ教室とサッカー試合がある為)
	「自転車乗車のルール」	●園内で自転車で遊ぶ時に、大凡の約束事はあるが、徹底されていない。この為、職員側から「種の会で改めてルールについて話し合っ欲しい」との要望が出る。 ●ルールの確認 ・ヘルメットを被る ・スピードは出し過ぎない ・両足のつかない自転車には乗らない ・車が来たら止まる ・逆送はしない(グラウンドの周囲を回る向き) ・サンダルでは乗らない ・6月26日(日)19時30分 小学生に集まってもらい、そこで種の会よりルールを伝え、周知の徹底を図る。
6月26日 (日)	「小学生への注意喚起」 (自転車乗車について)	●食堂で小学生全員に種の会よりルールを伝える。
7月1日 (土)	第5回 「フリーマーケット準備」	●種の会メンバー男子により、フリーマーケット商品の値付け作業。
7月2日 (日)	「フリーマーケット販売」	●種の会メンバー女子により、フリーマーケットでの販売を行う。 ・収益6,670円は、今後の種会運営において利用する。

7月24日(日)	第6回 「交通安全について」	●登下校の様子で気になる事 ・集団で登校している。 ・大声をあげながら登校している。 ・道中のケンカ。 ・ジャンケンで負けたら荷物を持たせている。 ・道草している。 ・じゃれ合って道路に押す。
	「朝礼拝」	●気になる点 ・主のお祈りを言わない子がいる。 ・讃美歌を歌わない人が多い。 ・椅子(テーブル)に寄りかかって立つ子がいる。 ・礼拝後の配膳で一番に並びたいが為に、礼拝が終わっていないのに動き出す子がいる。
	「野菜栽培」	●畑の状況 ・トウモロコシが虫に喰われる被害。 ・キュウリは枝が折られていたが、それでも収穫量は多い。 ・なかなかシシトウが育たない。 ・トマトが虫に喰われている。
8月27日(土)	第7回 「野菜栽培」	●片付けについて ・既にキュウリやナスの収穫は終わった。 畑には枯れたキュウリとナスが残っている。 → 9月3日、4日で畑の片付けを行う。 但し、シシトウは残す。
	「交通安全」	●夏休みも終わり学校が始まるが… ・夏休み前の状況を振り返ると、30日からの学校再開において、登下校の状況は心配になる。 → 翌28日(日)に小学生を集めて、登下校の交通安全に注意していく様、声を掛ける事にする。
8月28日(日)	「小学生への注意喚起」 (夏休み明け、登下校)	●夜、小学生に集まってもらい、翌日からの登下校では気を引き締め、交通ルールを守って登下校しましょう、と声を掛ける。
9月3日(土)	第8回 「野菜栽培」	●午前中にメンバーが集まり、畑の片付けを行う。
10月23日(日)	第9回 「交通安全」	●夏休みが明け、約2ヶ月。ここまでの登下校状況を確認する。問題となる子は概ね決まっている感がある。 ・通学路とは逆の富士見荘の坂を下っていた。 ・山大園近くのドブで遊ぶ子がいる。 ・下校時に石を投げる、石を並べて迷路を作り遊ぶ。 ・道路の真ん中を歩く。 ・源太坂の交差点で、信号待ちの際に、横断歩道の途中まで出たり戻ったり、という遊びをする。 ●対応 ・問題の多い子を2グループに分け、更に1人ずつ会議室に呼び入れ、直接種会メンバーから注意をする。そこに種の会の担当職員が同席する。 → 翌24日(月)の夜に行う。
	「その他」	●ADEKA労働組合の餅つき慰問(11月19日)の時に、園を代表して種の会メンバーの中から“お礼の言葉”を述べてもらう事になった。 → 6年生男子2名にやってもらう。
10月24日(月)	「登下校に問題のある子供達への注意指導」	●個別に注意をする。また、反省文を課す。
11月13日(日)	第10回 「交通安全」	●登下校の様子 ・傘を他児に投げつけた。 ・枝を拾って民家に投げ入れる。目撃者が「種会に言う」と言うと、ツバを吐きかける。 ・“反省文”には「〇〇君と一緒に登下校はしない」と書いていたが、一緒になっていた。 ・青信号で横断中、赤に変わる。渡るのが遅い。
	「朝礼拝」	●様子 ・讃美歌を歌わない子、讃美歌を開かない子。 ・遅刻が多い子が特定されてきている。 ・中高生は礼拝後の配膳が遅い。この為、全体での感謝が遅くなってしまう。 → さくらは礼拝時の席が自由だが、固定化させる。さくら居室の種会メンバーが決める。
	「夕拝」	●各居室の夕拝の進め方について、担当職員から聞いて見る。 ・さくら 18:40～ 讃美歌1番のみ 指導員が居る時は聖書、頌栄もやる学童のみ ・りんどう 時間不定 指導員の有無に関係なく讃美歌、聖書、頌栄と全てやる 幼児も参加 ・かえで 19:30～ 讃美歌と頌栄のみ 学童のみ ・けやき 19:20～ 讃美歌と聖書物語と頌栄 けやきの子の良かった点の一つずつ言う。 ・大地 19:45～ 讃美歌のみ(指導員がいる時は頌栄もやる) 当番は小3以上で廻す。
1月13日(金)	第11回 「交通安全」	●最近の登下校の様子 ・自動販売機付近をウロウロしている子がいた。 ・赤信号になりかけているのに横断する。 ・園まで帰って来ても、種会の畑付近から帰ってきた。 → 登下校で問題のある3人は以前にも注意を受け、反省文を課している。今回、再びメンバーが呼び出し、その反省文を読み返して貰う事にする。 → 15日(日)に3人を呼び出す事とする。
	「他、気になる事」	●他に小学生の生活上で気になる点 ・自転車で遊ぶ際、学習室裏の駐車場を走っている子がいた。 ・種会の畑奥に秘密基地を作っている。 ・学習室下の倉庫の上ののって遊んでいる子がいる。 ・私物を職員に無断で交換していた。
	「交通ルールが守れていない子への対応」	●3人を呼び、反省文を読み上げてもらい、再度の反省を促す。

2月11日 (土)	第12回 「交通安全」	●小学生2人(メンバーには名前を公表)に、下校時間帯に問題があった。小学校から「車でのお迎えをお願いしたい」と言われている、という現状を、種の会担当からメンバーに伝える。 →メンバーからは改めて反省文を書かせたい、という意見が出る。翌月曜日からの様子を見て判断していく。
	「食堂の使い方」	●食堂で卓球をして遊んでも良いか? ・職員によって、許可、無許可の対応が別れる。 →食堂で遊ぶ際に、何に気を付ければ良いのか?それを次回種の会で話し合う。また、職員側も同様。
	「朝礼拝」	●礼拝での態度は小学生もなかなか改善しないが、中高生に対してまっすぐ立っていない、讃美歌を歌っていない、讃美歌を開かない、司会者の声が小さい、といった意見が出る。
	「野菜栽培」	●畑に残っていたシシトウの片付けを翌日12日に行う。 ●作業用のハサミやスコップが紛失中。 ●シシトウを抜き、畑を更地に戻す。
2月12日 (日)		
2月19日 (日)	第13回 「交通安全」	●問題が継続して起きている。 ・15日 小学生4人が登校途中で通学路を逸れて、お菓子(前日のおやつ)を食べていた。 ・17日 上記の内、2人が下校時に町作りセンターに寄っていた。 ・竹田さん宅や塩谷銅鉄の看板に落書き。園内の子の可能性が高い。
	「食堂での遊び方」	●食堂で遊ぶ際に、何が問題となるのか? ・一番の問題点は、ドアを閉め切り中で何をしているのか分からない事。 →これを踏まえた上での約束事をメンバーが明記し、食堂入り口に掲示。
	「その他」	●不要なゲームソフトは、中高買い取り店で売却しても良いのか? →次年度の種会に持ち越す。
3月24日 (金)	第14回 「1年の振り返り」	●メンバー一人ひとりに種会メンバーとしての1年を振り返り、発表する。 ・6年女子(種長)…昨年度末に話し合っていた、『外出届け当日提出での外出(但し条件付き)』が許可された事が一番の思い出。今年度ももっと色々な話し合い(ひまわり園のデメリット)をしたかったが、登下校の交通ルールを守らせる事に時間を費やし過ぎた。自分の大事な時間を割いてまで交通ルールの話し合いをしてきた事は、頑張ったと言えると思う。 ・6年女子…フリーマーケットでは売り子としては種長と2人だけだったが、一緒に頑張れた。来年度も登下校に注意が必要になると思うが、次のメンバーにも頑張ってもらいたい。 ・6年男子…野菜(キュウリ・シシトウ)が沢山集まる出来て良かった。 ・6年男子…登下校中に問題になった子に、その場で注意が出来る様になった。今までの自分にはそんな一面は無かった。 ・6年男子…自分達で育てた野菜を、自分達で調理して食べたのは良い経験だった。美味しかった。まだまだ登下校に心配な子は多い。来年度のメンバーには活発に意見を出して欲しい。 ・5年女子…寄り道していた子がいたが、種会で話し合い、注意をしていく内に改善されていった。それは嬉しかった。 ・5年男子…育てた野菜が実際に目の前の食卓に出てきた時は嬉しかった。来年度も種の会に入り、登下校の事を中心にやっていきたい。 ●種長の言う、デメリットとは…? 来年度に繋げて欲しい新たな提案は…? ・居室などで、壁に穴が空いたままになっている所がある。先生方が見えられた時に恥ずかしい。そういった修繕箇所は早めに直せないか? ・外掃除をみな、ちゃんとやっているか? 部屋によって差がないか? ・雨天時にグラウンドの排水状況が良くない。何とかならないか? ●種の会担当職員より ・種の会だけではなく、この先、自分で考え、自分で意見を持ち、相手に伝える事。逆に相手の意見を聞き、自分の中に取り入れたい、考えたりする事。そういった事はどこでも求められていくもの。自分の意見を言う事が苦手な人もいれば、人の話を聞く事がなかなか出来ない人もいると思うが、少しずつ少しずつ成長し、話し合いが出来る人になって欲しい。 ・6年生は中学校になっても、中高生種の会に、また5年生は継続して来年度も小学生種の会に入ってもらいたい所。ひまわり園での生活がより良く、より楽しいものとなるように活動していきたい。

②【中高生の部】

期日	テーマ（議題）	内容
4月9日	種会メンバー募集	○メンバーを募る
5月15日	役割分担	○役割分担 ○夕食後の掃除について
7月16日	夏祭りについて	○夏祭りについて ・夏祭りの役割確認 ○カラオケ大会について ・実施について賛成・反対意見が出る。
8月17日	夏祭りについて	○夏祭りについて ・子ども用福引き景品準備 ・模擬店役割決め
8月20日	夏祭り	・子ども用福引き景品準備 ・模擬店手伝い
9月24日	福祉まつりについて	○福祉まつりについて ・販売手伝いの割り振り ・当日のドーナツ作り確認
10月16日	福祉まつり	・高校生全員でドーナツ作り、袋詰めの手伝いをした。 ・割り振られた時間に販売の手伝いを行った。 ・オペレッタの補助、手伝いをした。
12月23日	クリスマスの準備	・くじ引きの景品の袋詰め ・くじ引きの進め方の確認。
12月25日	クリスマス会	・クリスマス会の会場準備 ・くじ引きの司会進行 ・クリスマス会の会場片付け
1月7日	要望について	○アルバイト代の使用、門限の延長について ・種会メンバーとしても話し合う方向で検討 ・他の高校生にも投げかけるという流れになる。

①静岡県児童養護施設協議会行事

期日	実施行事	結 果
5月14日	第34回静岡県児童文化奨励絵画展	特別奨励賞1名 佳作10名
8月23日	第46回静岡県児童福祉施設夏季球技大会	小学生男子 第3位 ベストチーム 第3位
11月26日	静岡県児童養護施設協議会オセロ大会	児童4名参加
1月22日	第39回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	小学生男子 優勝 小学生女子 優勝 フェアプレイ賞 中高生男子 優勝

②園内行事

期日	実施行事	部屋名	参加児童数	引率職員数
4月29日	野外活動・バーベキュー	りんどう	11	4
5月3日	伊豆三津シーパラダイス	さくら	8	4
5月4日	バーベキュー	大地	10	5
7月24日	富士まつり	りんどう	3	1
7月27日	富士登山	希望者		
7月28日	マリンプール	けやき	3	2
8月2日	川遊び	大地	11	4
8月4日	富士宮市民プール	けやき	4	2
8月6日	マリンプール	さくら	8	3
8月9日	海水浴	希望者	35	15
8月14日	カラオケ	りんどう	6	1
8月18日	マリンプール	大地	12	3
8月18日	海水浴	けやき	11	4
8月25日	キャンプ	さくら	8	4
8月26日	マリンプール	りんどう	5	2
8月27日	映画鑑賞	大地	4	1
8月28日	映画鑑賞	大地	8	1
9月19日	花めぐりの里	けやき・りんどう	8	2
11月3日	日本平動物園	りんどう	4	1
11月5日	ぐりんぱ	大地	5	3
1月4日	映画鑑賞	銀河	2	1
2月4日	雪遊び	希望者	19	8
2月26日	八景島シーパラダイス	りんどう	5	2
2月26日	カラオケ	りんどう	3	1
2月26日	ボーリング	銀河	10	3

期日	実施行事	部屋名	参加児童	引率職員
3月11日	静岡県立美術館	けやき	6	2
3月12日	映画鑑賞と浜焼き	大地	5	1
3月21日	外食（ゆず庵）	りんどう	11	4
3月29日	映画鑑賞	大地	4	1
3月24日	ぐりんぱ	けやき	4	2
3月24日	沼津港深海水族館・ボーリング	さくら	9	4
3月27日	お風呂カフェ	けやき	3	1
3月28日	ぐりんぱ	りんどう	3	1



【絵画展表彰式】



【須津川ハイキング】



【マリンプール】



【芙蓉会夏まつり】



【バーベキュー】



【芙蓉会クリスマス会】



【冬季球技大会】



【雪遊び】

(資料13) 地域社会活動

①ボーイスカウト活動（富士一団）登録人数13名

期日	活 動 内 容	活 動 場 所
4月2日	新年度顔合わせの会	団本部
4月23日	富士地区総会	章泉閣
5月21日	緑の羽の募金	アピタ吉原店
7月24日	富士まつりパレード	富士中央公園
7月29日 ） 7月31日	夏季野外訓練	須津川休養林キャンプ場
9月10日	ハイキング	岩本
10月16日	富士地区カブスカウト集会	丸火自然公園
12月11日	富士地区ビーバースカウト集会	丸日自然公園
12月23日	クリスマス飾り制作	田子の浦
2月5日	凧あげ	緑地公園

②吉原小学校子ども会活動

期 日	活 動 内 容	結 果 ・ 備 考
5月29日	第9回吉原小校区ドッジボール大会 (吉原小体育館)	高学年男子 優勝 高学年女子 (他地区との合同チーム) 準優勝 低学年男女混合 第4位
6月18日	盆踊り練習① (緑ヶ丘公会堂)	天王祭にむけ、今泉小緑ヶ丘町内の子ども達と合同練習を行う。(小5・6年生の参加)
7月2日	盆踊り練習② (緑ヶ丘公会堂)	同上。
7月3日	うきうきフリーマーケット (吉原小体育館)	売上金6,370円 野菜苗、種会会合でのお菓子代に充てる。
7月9日	天王祭 (緑ヶ丘公会堂)	天候不順のため公会堂にて神事、盆踊りが行われ、参加する。
9月23日	第8回中部ブロックドッジボール大会 (富士体育館)	高学年男子 優勝 高学年女子 第3位
10月10日	第10回富士市子連ドッジボール 中央大会 (富士川体育館)	高学年男子 出場辞退 高学年女子 予選敗退
12月11日	お楽しみ会 (吉原小体育館)	カップスタッキング 富士山かるた 他 (Jrリーダーや生涯学習の方々との交流)

③芙蓉会フットボールクラブ（通称：FFC）登録選手10名

期 日	内 容	結 果 ・ 備 考
6月	全日本少年サッカー大会 富士予選	6敗
7月2日	岳南地区少年サッカー大会 予選	1勝1敗
7月3日	同 順位決定	2敗1分
10月	NTTカップ 富士予選	6敗
10月30日	富士サッカーフェスティバル	鷹岡天間・レオヴィスタと合同チーム

(資料14) 家庭支援等の実施状況

①児童と保護者の連絡状況 (3月1日現在の在籍児童)

状況	一時帰省	一時外出	面会	電話のみ	手紙のみ	連絡なし
人数	36	3	8	1	0	22
割合	51.4%	4.3%	11.4%	1.4%	0.0%	31.4%

合計
70名

②面会実施状況

月	面会件数	月	面会件数
4月	5	10月	5
5月	7	11月	7
6月	11	12月	9
7月	6	1月	5
8月	7	2月	8
9月	5	3月	13

合計
88件

③一時帰省状況

	帰省期間	人数	備考
夏季	8/6～8/16	29名	※個別ケースにより期間の長短あり
冬季	1/27～1/3	35名	※個別ケースにより期間の長短あり

④ショートルフラン (短期里親委託事業) 状況

	期間	人数	備考
夏季	8/6～8/16	6名	※個別ケースにより期間の長短あり
冬季	1/27～1/3	6名	※個別ケースにより期間の長短あり

⑤週末里親委託状況 (通年で4名の児童を委託)

月	委託人数	月	委託人数
4月	2名	10月	3名
5月	3名	11月	2名
6月	4名	12月	3名
7月	3名	1月	2名
8月	3名	2月	2名
9月	3名	3月	4名

※1回につき、概ね2泊3日で実施

⑥里親認定前研修

	研修	実習	人数
1	8月18日	8月21日	3組
2	1月26日	1月29日	5組

⑦ ふじ虹の会との意見交換

7月5日(火) 3月7日(火)

⑧ ショートルフラン調整会議

7月5日(火) 10月4日(火) 1月5日(木) 3月7日(火)

⑨ 里親月間行事

10月30日(日) フォスターセッション

⑩ 里親サロン

6月26日(日) 2月19日(日)

(資料15) 幼稚園・学校・地域との連携

①学校等との連携

期 日	関 係 機 関	内 容
5月19日	吉原小学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
2月20日	吉原小学校との連絡会②	個別面談
6月23日	吉原第一中学校との連絡会①	施設概要説明と個別面談
11月17日	吉原第一中学校との連絡会②	情報交換と個別面談
その他	個別支援会議	

②園への招待行事

期 日	内 容
8月20日	芙蓉会夏祭り 理事、評議員、ボランティア等を招待
12月25日	芙蓉会クリスマス会 理事、評議員、ボランティア等を招待

③ボランティア招待、訪問

期 日	内 容	団 体
4月17日	Jリーグ観戦招待	花みずき法律事務所谷川様
4月24日	網引き招待	鈴木グループ
7月2日	カップ座人形劇	劇団カップ座様
8月3日	人形劇慰問	椿屋人形劇場
8月14日	Jリーグ観戦招待	花みずき法律事務所谷川様
12月18日	防犯教室	富士防犯協会様 富士商工会様
11月19日	ADEKA労働組合餅つき慰問	(株) ADEKA労働組合様
11月23日	東京ディズニーランド招待	納得住宅工房(株)様他
12月10日	ゲーム慰問	フロンティアジャパン様
12月4日	クリスマスランチ	まかいの牧場様
12月18日	吉原中央ライオンズ慰問	吉原中央ライオンズクラブ様



【まかいの牧場クリスマスランチ招



【網引き招待】



【吉原中央ライオンズクラブ慰



【東京ディズニーランド 納得住宅工房様招待】

④地域防災訓練への参加

9月1日	地域防災訓練
------	--------

⑤地域交流

4月17日	生涯学習ソフトボール大会（職員1名 児童1名）
7月9日	天王祭（グラウンド開放、御神輿で町内練り歩き）

⑥ボランティア協力

- ・学習指導（週1回）…小西様 中村様 山本様 椿様 佐野様 宮野様 長田様 大竹様
- ・就業セミナー（各学年年6回）…メディアベース様
- ・七五三 …丸喜衣裳店様 アイボリー美容室様 ひまわり美容室様 タカオカスタジオ様
- ・伝統文化（月1回）…増田様 永嶋様 渡辺様
- ・クリスマス…M&4D’ S様 アミーコ・フリーチェ様
- ・散髪（年6回）…One’s Mind様
- ・防犯教室 …富士防犯協会様



【富士防犯協会様 防犯教室と職業講話】



【ADEKA労組様 餅つき慰問】



【七五三】



【学習ボランティア】



【フロンティアジャパン様慰問】

メディアベース 就業セミナー

日程	内容	対象
6月25日	「職業研究と自分の能力査定」	高2 AB①
7月16日	「社会人としての心構え」	高3 ①
7月30日	「私はこんな人～自己認識を深める～」	高1 ①
8月27日	「お金の使い方」	高2 AB②
9月10日	「お金の使い方」	高3 ②
9月24日	「一人暮らしシミュレーション」	高1 ②
10月8日	「作業体験・職業体験」	高2 A③
10月22日	「作業体験・職業体験」	高2 B③
11月5日	「自立した生活のイメージを持つ」	高3 ③
11月19日	「対人コミュニケーション～アサーションを学ぶ」	高1 ③
12月3日	「優先順位の付け方・実践」	高2 A④
12月17日	「優先順位の付け方・実践」	高2 B④
1月7日	「決意表明～今後の展望を持つ～」	高3 ④
1月28日	「決意表明～次年度にむけた目標設定～」	高1 ④
2月11日	「決意表明～次年度に向けて～」	高2 A⑤
2月25日	「決意表明～次年度に向けて～」	高2 B⑤
3月11日	「”じりつ”とは何か」	高3 ⑤
3月25日	「将来の青写真を描く～PATHの実践～」	高1 ⑤

⑦施設開放

期 日	団 体	内 容	施 設
4月14日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
5月11日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
5月16日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
6月9日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
7月20日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
8月4日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
8月18日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
9月6日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
10月6日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
10月27日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
11月20日	東部企画会議	東部少年委員会	学習室
12月6日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
1月31日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
2月28日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室
3月25日	富士市サッカー少年委員会	指導者会議	学習室

(資料16) 児童の健康管理

①受診状況(治療・検査・予防接種)

科別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月別													
入院													
土屋医院	12	18	12	12	5	19	10	15	22	17	44	13	199
土屋医院(薬のみ)	16	18	13	16	15	16	18	10	13	20	17	20	192
源太坂クリニック	1	1		1	1								4
小川小児科	1					2			1		1		5
中山医院							4						4
いいずみクリニック							1						1
あしざわ医院												1	1
戸塚内科クリニック												2	2
片岡歯科医院	13	6	5	11	9	3	2	3	3	5	2	11	73
メロディ歯科	4	6	4	3	1								18
渡辺医院			1	4							3	1	9
三日市整形外科				1						1	2		4
鈴木整形外科	3	3	2	5	3	1	3	2		3	2		27
富士整形外科病院	4	2	1	2			1				1	1	12
藤井整形外科								2					2
前田整形外科												1	1
宮下医院					1	1							2
ふたば接骨院									1	1			2
善得クリニック			1			3						1	5
長谷川耳鼻科		1	2	1		2				1	6	3	16
長谷川耳鼻科(薬のみ)					2	1							3
里和耳鼻科	3	1	4		7	2	1	2	7	4	3	4	38
たかいクリニック		1	4		2	7	9	1	4	14	3		45
米本皮膚科	4	1	5	4	2	2	1	6	3	4	3	3	38
とみ皮膚科		3			1					1	2	2	9
月岡医院			1										1
加藤眼科医院吉原分院		1	11										12
朝岡眼科医院	2	4	6		4	2		2			3	2	25
羅眼科												1	1
中西眼科											2		2
柳沢クリニック		1		1	1				1	1	3	1	9
宮崎クリニック(婦人科)												1	1
富士メンタルクリニック(心療内科)											1		1
富士メンタルクリニック(薬のみ)(心療内科)												1	1
鷹岡病院(精神科)											1		1
熱海所記念病院(脳外科)									1				1
聖隷富士病院(小児科)		1	1	3	1	2		2	1	1	1		13
聖隷富士病院(薬のみ)(小児科)											1		1
聖隷富士病院(脳神経外科)		1										1	2
聖隷富士病院(内科)						1							1
富士市立中央病院(小児科)			1			1						2	4
富士市立中央病院(耳鼻科)					2				1				3
富士市立中央病院(形成外科)					1								1
富士市立救急医療センター(小児科)	1	1	1	1		1			1		1	1	8
富士市立救急医療センター(外科)	3					1	1			1			6
合計	67	70	75	65	58	67	51	45	59	74	102	73	806

インフルエンザ感染者数：A型21名、B型0名

②年間通院件数の推移

年 度	2 2 年 度	2 3 年 度	2 4 年 度	2 5 年 度	2 6 年 度	2 7 年 度	2 8 年 度
件 数	850	817	908	888	651	830	806

③健康診断

4月21日 6名

10月5日60名、6日3名、19日6名、27日1名、31日1名、11月1日1名、10日1名、15日1名、24日1名、

④歯科検診

4月20日	ひまわり幼稚園	片岡歯科
-------	---------	------

⑤予防接種

インフルエンザ予防接種	全員接種
-------------	------

⑥その他の予防接種…個人の計画表に沿って実施。

(資料17)平成28年度 行事食の献立

①季節ごとの行事食

月日	行事名	献立
4月2日(土)	ひまわり園お花見	太巻き・いなり寿司・チキンナゲット・つくね・サラダ菜・ミニトマト・えだまめ かまぼこ・いちご・ジュース
4月7日(木)	小・中学校入学式	お赤飯・エビフライ・キャベツ・ポテトサラダ・うさぎりんご・かき玉汁
5月5日(木)	こどもの日	チキンライス・ハンバーグ・サニーレタス・人参・フライドポテト・メロン・コーンポタージュ
6月10日(金)	創立記念日	お赤飯・エビフライ・キャベツ・ミニトマト・ポテトサラダ・うさぎりんご・お吸い物
7月7日(木)	七夕	七夕そうめん・里芋と鶏手羽中の炒め煮・えだまめ・七夕ゼリー
8月20日(土)	芙蓉会夏まつり	焼きそば・焼きおにぎり・やきとり・とうもろこし・かき氷・フランクフルト フライドポテト・揚げたこやき・いか焼き・アイス・ジュース
9月15日(木)	十五夜	月見うどん・竹輪の磯辺揚げ・さつま芋の天ぷら・ゆで落花生・巨峰
9月17日(土)	中学校運動会	おにぎり・鶏肉のから揚げ・エビフライ・えだまめ 厚焼きたまご・サラダ菜・ミニトマト・梨・ジュース
10月8日(土)	原田幼稚園運動会	サンドイッチ・ミニアメリカンドック・チキンナゲット・フライドポテト つくね・サラダ菜・ミニトマト・えだまめ・梨・ジュース
10月15日(土)	小学校運動会	おにぎり・鶏肉のから揚げ・フライドポテト・つくね・サラダ菜 ミニトマト・えだまめ・厚焼きたまご・みかん・ジュース
12月12日(月)	七五三	お赤飯・クリームコロッケ・サニーレタス・ミモザサラダ・プリン・お吸い物
月日	行事名	献立
12月21日(水)	冬至	ご飯・さわらの幽庵焼き・ブロッコリー・南瓜のいとこ煮・グレープフルーツ・かき玉汁
12月24日(土)	クリスマス	バターロール・えびグラタン・ナッツサラダ・いちごミルク・コーンポタージュ
12月30日(金)	もちつき	磯辺もち・きなこもち・おろしもち・大福
1月1日(日)	おせち料理	ご飯・鶏肉のてり焼き・日の出えび・吹き寄せ煮・昆布巻・栗きんとん かずのこ・伊達巻・紅白かまぼこ・紅白なます・黒豆・田作り・いちご
1月3日(火)	雑煮	雑煮・伊達巻・つけもの・ゼリー
1月7日(土)	七草粥	七草粥・カニカマロール・梅干し・みかん
1月11日(水)	鏡開き	お汁粉・するめ
2月3日(金)	節分	恵方巻き・魚のアーモンドフライ・サニーレタス・鬼のマドレーヌ・パイナップル・お吸い物
3月3日(金)	ひなまつり	カップ散らし寿司・クリームコロッケ・サラダ菜・コーンサラダ・いちごミルク・うしお汁
3月18日(土)	小・中卒業式	お赤飯・ヒレカツ・キャベツ・ブロッコリーのサラダ・クレープ・お吸い物
3月19日(日)	卒業・旅立ちを祝い会	寿司・サンドイッチ・ピザ・やきとり・エビフライ・骨付きウインナー・枝豆 フライドポテト・ごま団子・カップケーキ・カルピスムース・フルーツ盛り合わせ・ジュース



【 七夕そうめん 】



【 こどもの日 】



【 節分 】



【 ひなまつり 】



【 十五夜 】



【 創立記念日 】



【 ハロウィン 】



【 七五三 】



【 卒業・旅立ちを祝う会 】



【 幼稚園おべんとう 】



②誕生会献立

月日	献立	おやつ
4月23日(土)	手巻き寿司・鶏肉のチュールリップ揚げ・彩サラダ・白玉クリームあんみつ・お吸い物	ケーキ・ジュース
5月28日(土)	ピザ・ミニアメリカンドック・チキンナゲット・グリーンサラダ・メロン	ケーキ・ジュース
6月25日(土)	焼きカレードリア・ミニアメリカンドック・グリーンサラダ・プラム・アメリカンチェリー・ジュリアンスープ	ケーキ・ジュース
7月23日(土)	手巻き寿司・鶏肉のから揚げ・グリーンサラダ・リッチヨーグルト・お吸い物	ケーキ・ジュース
8月27日(土)	オムライス・鶏肉のチュールリップ揚げ・小エビのカクテルサラダ・梨・ジュリアンスープ	ケーキ・ジュース
9月24日(土)	ライスコロッケ・シーザーサラダ・桃のゼリー・南瓜のポタージュ	ケーキ・ジュース
10月22日(土)	バターロールサンド・えびグラタン・グリーンサラダ・フルーツ白玉・白菜とベーコンのスープ	ケーキ・ジュース
11月26日(土)	手巻き寿司・鶏肉のチュールリップ揚げ・グリーンサラダ・フルーチェ・お吸い物	ケーキ・ジュース
12月3日(土)	ミートドリア・ミニアメリカンドック・小エビのカクテルサラダ・カラフルフルーツゼリー・ほうれん草のスープ	ケーキ・ジュース
1月28日(土)	焼きカレードリア・ミニアメリカンドック・彩サラダ・フルーチェ・マッシュルームとレタスのスープ	ケーキ・ジュース
2月25日(土)	ピザ・やきとり・小えびのカクテルサラダ・丸ごとオレンジゼリー	ケーキ・ジュース
3月25日(土)	ハンバーグドリア・ミニアメリカンドック・彩サラダ・いちごミルク・白菜とコーンのスープ	ケーキ・ジュース



【 10月 誕生会 】



【 9月 誕生会 】

③個別誕生日リクエスト献立

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
4月4日	4	女	チョコレート	おやつ→いちごつみ
4月6日	9	女	チョコレート	おやつ→マーブルチョコレート
4月15日	12	女	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
4月17日	17	女	なすと挽肉の味噌チーズ焼き	ご飯・なすと挽肉の味噌チーズ焼き・ミモザサラダ・いちご・ハムと野菜のスープ
4月18日	18	男	レトルトカレー	レトルトカレー・わかめとレタスのサラダ・グレープフルーツ
4月28日	12	男	シャカシャカポテト	ご飯・鶏肉のさっぱり煮・シャカシャカポテト・りんご・ビーフンスープ
5月1日	15	女	明太ポテトグラタン	ご飯・明太ポテトグラタン・オニオンチップサラダ・りんご・マッシュルームとレタスのスープ
5月6日	13	女	チョコミントアイス	おやつ→チョコミントアイス
5月14日	14	女	たらこスパゲティ	たらこスパゲティ・ツナと大根のサラダ・りんご・野菜のスープ
5月16日	19	女	タコライス	タコライス・ブロッコリーのサラダ・グレープフルーツ
5月21日	17	男	バジルとベーコンの Pasta	バジルとベーコンのトマトソースパスタ・水菜とちくわのサラダ・パイナップル
5月22日	8	男	チャーシュー麺	チャーシュー麺・ヘルシー餃子・サラダ菜・メロン
5月23日	4	男	チョココルネ	チョココルネ・バターロール・ほうれん草の3色炒め・フルーツ缶・牛乳
5月29日	10	男	揚げパン	おやつ→揚げパン
5月31日	17	男	キムチチャーハン	キムチチャーハン・華風冷奴・グレープフルーツ・春雨スープ
6月5日	7	男	ぶどうゼリー	ご飯・魚の西京漬け・いんげん・焼きビーフン・ぶどうの2層ゼリー・とろろ昆布汁
6月11日	12	男	鉄火丼	鉄火丼・厚揚げとレタスの煮びたし・キャベツと塩昆布の和え物・パイナップル・お吸い物
	13	男	かた焼きそば	かた焼きそば・枝豆シュウマイ・サラダ菜・パイナップル・ちんげんさいとえのきの中華風スープ
6月15日	12	女	パルム	おやつ→パルム
	18	女	シュークリーム	おやつ→抹茶のシュークリーム
	12	男	2層ゼリー	ご飯・鶏肉のハーブ焼き・サニーレタス・南瓜のサラダ・ぶどうの2層ゼリー・ほうれん草のスープ
6月24日	7	男	サラダ巻	サラダ巻・魚のアーモンドフライ・サニーレタス・いかと胡瓜の酢の物・オレンジ・お吸い物
6月30日	13	女	カレーそば	カレーそば・カリカリじゃこのサラダ・ゆかり和え・パイナップル
7月27日	15	男	さばの塩焼き	ご飯・さばの塩焼き・なすの鉄火味噌・牛乳かん・ブロッコリーとん汁
7月29日	3	女	アンパンマンチョコ	おやつ→アンパンマンチョコ
8月15日	9	男	カップラーメン	カップラーメン・ナッツサラダ・パイナップル
8月17日	17	女	冷しゃぶ麺	冷しゃぶ麺・大学芋・すいか
	13	男	板チョコもなかアイス	おやつ→板チョコもなかアイス
8月21日	10	女	冷やし中華	冷やし中華・凍り豆腐チャンプルー・すいか
	17	男	カップラーメン	カップラーメン・和風サラダ・ヨーグルト
8月9日	10	男	冷やしそうめん	冷やし中華・鶏肉のから揚げ・サラダ菜・パイナップル・



【 タコライス 】



【 揚げパン 】

月日	年齢	性別	リクエスト	献立
8月27日	13	男	二色パン	二色パン・ピーマンとじゃがいも線炒め・バナナ・牛乳
8月28日	17	男	冷やしそうめん	冷やしそうめん・とうがんのかにあんかけ・すいか
8月29日	14	女	鉄火丼	鉄火丼・ふきとがんもの煮物・グレープフルーツ・とろろ昆布汁
9月3日	9	女	チョコアイス	おやつ→チョコアイス
9月4日	7	女	抹茶アイス	おやつ→抹茶アイス
9月5日	12	男	シュークリーム	おやつ→シュークリーム
9月9日	12	男	シャカシャカポテト	ご飯・魚の和風ソテー・サラダ菜・シャカシャカポテト・ぶどうの2層ゼリー・味噌汁
9月14日	6	男	フライドポテト	ご飯・魚のチーズ焼き・フライドポテト・梨・ほうれん草のスープ
	4	女	メロン玉シャーベット	おやつ→メロン玉シャーベット
9月24日	15	女	ハイチュウ	おやつ→ハイチュウ
10月10日	4	男	ドーナツ	おやつ→手作りドーナツ
11月17日	19	女	ポテトグラタン	バターロール・ポテトグラタン・白菜とりんごのサラダ・メロン・キャベツのスープ
11月23日	8	男	エクレア	おやつ→エクレア
	6	女	しょうゆラーメン	しょうゆラーメン・大学芋・パイナップル
12月6日	13	女	納豆巻	手巻き納豆・豚肉のみそ焼き・サラダ菜・ミニトマト・ピーナツなます・カルピスマース・お吸い物
12月18日	14	男	ホイコーロー	ご飯・ホイコーロー・ナムル・杏仁豆腐・ワンタンスープ
12月19日	14	女	オムバーグ	ご飯・オムバーグ・コーンサラダ・ゼリー・野菜のコンソメスープ
12月25日	9	女	えびグラタン	バターロール・えびグラタン・ナッツサラダ・いちごミルク・コーンポタージュ
1月18日	16	男	とろろかけ鉄火丼	とろろかけ鉄火丼・里芋のそぼろ煮・千切り野菜の塩こんぶ和え・パイナップル・お吸い物
1月19日	11	男	しょうゆラーメン	しょうゆラーメン・にら饅頭・サラダ菜・いちご
	10	女	チキンナゲット	サンドイッチ・チキンナゲット・サラダ菜・ミニトマト・ゼリー・ミルクココア
	18	女	豚キムチチャーハン	豚キムチチャーハン・海草サラダ・グレープフルーツ・春雨スープ
1月28日	13	女	ガトーショコラ	おやつ→手作りガトーショコラ
2月8日	15	女	ライスコロッケ	ライスコロッケ・グリーンサラダ・グレープフルーツ・貝割れと卵のスープ
2月18日	9	男	つぶグミ	おやつ→つぶグミ
2月23日	17	女	オムライス	オムライス・カリカリトーストサラダ・グレープフルーツ・春野菜のスープ
3月22日	10	男	シャカシャカポテト	ご飯・鮭のムニエル・サニーレタス・シャカシャカポテト・いちご・かぶとベーコンのスープ
3月23日	9	男	お弁当	お弁当・いちご・お吸い物
3月31日	18	男	チャーハン	チャーハン・枝豆シュウマイ・サラダ菜・杏仁豆腐・わかめスープ



【 かた焼きそば 】



【 たらこスパゲティ 】



【 サラダ巻き 】



【 お弁当 】



【 オムバーグ 】



【 鉄火丼 】

(資料18) 防災訓練実施報告

月 日	訓 練 内 容	参加児童数	参加職員数
4月24日	地震	36	9
5月29日	地震	40	11
6月12日	火災	42	9
7月10日	地震	43	12
8月7日	火災	69	12
9月1日	富士市総合防災訓練（小学校～高校は登校日で不参加）	6	35
10月8日	火災	64	7
11月6日	社会福祉施設防災訓練	57	9
12月1日	地域防災訓練（公会堂への通報訓練）	0	1
1月8日	火災	48	10
2月12日	地震	68	9
3月5日	地震	50	7

(資料 19) 実習生受入状況

①保育士実習

	期 間	実 習 校
1	5月2日 ～ 5月12日	常葉大学浜松キャンパス
2	5月2日 ～ 5月12日	常葉大学浜松キャンパス
3	5月16日 ～ 5月28日	常葉大学富士キャンパス
4	5月16日 ～ 5月28日	常葉大学富士キャンパス
5	6月6日 ～ 6月18日	静岡県立短期大学
6	6月6日 ～ 6月18日	静岡県立短期大学
7	6月25日 ～ 6月26日	常葉大学短期大学部
8	7月4日 ～ 7月16日	浜松学院大学短期大学
9	7月4日 ～ 7月16日	浜松学院大学短期大学
10	7月22日 ～ 7月24日	常葉大学浜松キャンパス
11	8月18日 ～ 8月28日	常葉大学富士キャンパス
12	8月18日 ～ 8月28日	常葉大学富士キャンパス
13	8月18日 ～ 8月28日	常葉大学富士キャンパス
14	8月18日 ～ 8月29日	鶴川女子短期大学
15	8月18日 ～ 8月29日	鶴川女子短大
16	8月29日 ～ 9月2日	静岡こども専門学校
17	8月30日 ～ 9月10日	常葉大学短期大学部
18	8月30日 ～ 9月10日	常葉大学短期大学部
19	9月5日 ～ 9月17日	小田原女子短期大学
20	9月13日 ～ 9月25日	浜松学院大学
21	9月13日 ～ 9月25日	浜松学院大学
22	9月22日 ～ 9月26日	福岡県立大学
23	10月3日 ～ 10月14日	常葉大学短期大学部
24	10月3日 ～ 10月14日	常葉大学短期大学部
25	10月3日 ～ 10月14日	常葉大学短期大学部
26	11月17日 ～ 11月28日	常葉大学短期大学部
27	11月17日 ～ 11月28日	常葉大学短期大学部
28	11月17日 ～ 11月28日	常葉大学短期大学部

(資料20) 設備保守・安全点検

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電気設備	関東電気保安協会	4月5日	キュービクル取替点検 2月24日
		6月2日	
		8月25日	
		11月26日	
		12月6日	
		2月3日	
消防設備	サンコー防災(消防設備)	5月20日	年2回
		11月25日	
	富士消防用品商会(消火器)	5月17日	年2回
		11月16日	
消防立ち入り検査	富士市消防本部	-	年1回
厨房リフト	大村リフトサービス(株)	4月19日	年1回
建築設備	王子不動産(株)	11月21日	年1回
特殊建物等定期検査	王子不動産(株)	-	2年に1回
害虫駆除(厨房)	(株)大富士ダスキンターミック	11月15日	年1回
害虫駆除(居室)	(株)大富士ダスキンターミック	6月30日	年1回
害虫駆除(集会室)	(株)大富士ダスキンターミック	8月10日	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	12月13日	年1回
貯水槽清掃	(株)富士クリーンサービス	3月18日	年1回

地域小規模児童養護施設ひろみ（ひまわり園加算事業）

事業概要報告

平成 28 年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け（承認年月日：平成 27 年 4 月 1 日）、本体施設の支援のもと、24 時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。



平成 28 年度は、小学生 1 名、高校生 3 名、短大 1 名でのスタートとなりました。10 月に小学 4 年生女子が新しく入所しました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持てるように努めました。

高齢児が多い為、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

新しく入所した児童につきましては、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し支援してきました。

地域との関係を大切にすることを心がけました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切することを意識しました。例年同様に、地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事では主体的に参加しました。

地域で生活しているので、地域の子どものトラブルや、子どもの行動で地域の方々にご迷惑をかけることがありました。その際に関わりのなかった地域の方々と接することがありましたが、「近くにそういった施設があるなんて知らなかった」と話される方が多く、まだまだ認知されていないことを痛感しました。

また今年度は地域の福祉に関するイベントに積極的に参加致しました。里親会が主催するフォーラムでは、ひろみ職員が意見発表をさせて頂きました。そこでは現場職員が実際に感じている地域小規模施設の現状や課題、ひろみが培ってきた実践的な知識を発信することが出来ました。そういったイベントを通して、福祉に関心をもつ地域の方々と関わる事が出来て、実際にひろみにボランティアに来て下さる方もおりました。

重要事項報告

昨年度、ひろみ開設から勤務していたベテラン保育士が退職し、今年度は1年目と2年目の保育士が養育の主体となっていくということで若干の不安を抱えてスタートしましたが、大きな問題もなく職員子ども共に落ち着いて1年間を過ごすことが出来ました。

ひろみでは直接処遇職員が買い物から調理まで行っていますが、今年度は「食」について意識した1年でした。保育士は調理技術や知識を養う為に、外部研修への参加や自主学習に努めました。また本園の栄養士からも献立や調理について意見をもらい、知識や技術の向上に努めました。

退園した児童へのアフターケアでは課題が残りました。ひろみを卒園した児童が、職場での人間関係がうまくいかず、退職するといったことがありました。そうなる前に状況を把握しておらず、何も出来ませんでした。その後、結婚をして生活は安定しましたが、定期的に連絡をとっていなかったこともあり、今後の大きな課題となりました。

施設設備

取 得

- ・ 乾燥機 54,904円



基本目標 1

家族と離れて生活する子どもたちが、安心・安全に生活できる環境を保障し、権利擁護意識の向上に努めます。（資料 2）

日常生活において、個々が意見を言いやすい環境や雰囲気を作ること意識して支援しました。生活面や子ども間でのトラブルがありましたが、子ども職員全員で話し合いの場を作り、解決してきました。

また今年度は、高校生に対して本園の個別対応職員による個別面接を実施しました。そのうち一人の児童は定期的に面接することを希望し、現在も継続しております。

基本目標 2

生活を営む主役は子どもであり、日常生活において主体的に考え、取り組むことができるように支援します。（資料 3, 4）

「キンモクセイの会」（児童会）の充実を図り、個々の意思を尊重すると共に、自らの意見や行動でひろみの生活を改善、向上することを促しました。行事については子どもの希望を取り入れ、実施致しました。また子ども達には一般的な生活における経済観念を養う為に、毎月の電気、水道、ガスなどの料金の掲示や、行事についても予算を意識して実施出来るように支援をしてきました。

基本目標 3

子どもたちの地域社会活動を支援し、集団の中での個の自立と技能向上を目指します。また、地域との関わりを持ち、地域住民としての自覚が育つように支援します。（資料 5）

日常生活の中で近隣住民との関わりを大切にし、良好な関係作りに努めました。地域活動（防災訓練、運動会、バーベキュー）等への主体的参加に努めました。地域住民との日常の中での交流を大切にし、児童養護施設への理解が得られるよう努めました。組合の会議では、お時間を頂き、ひろみ職員が地域小規模施設の地域のイベントに参加した時の様子意義や展望について話をする機会がありました。



基本目標 4

社会的自立を目標とする子どもたちの自立支援を実施します。(資料 6)

今年度も高校生はスキルアップスクールを運営しているメディアベースの講習に参加し、自立する為に必要な知識や社会人としてのマナーなどを学びました。

高校生 2 年生の一人がアルバイトを始め、もう一人は老人福祉施設でボランティアを始めました。二人とも良い社会経験となっています。

アフターケアにつきましては、定期的な連絡が滞っていたことなど、継続的な課題であります。

基本目標 5

家族再統合のための保護者との関係強化および児童相談所、学校、施設など社会的養護の連携に努めます。(資料 7)

今年度は新しく入所したケースがあったこともあり、児童相談所の職員がひろみに来ることが例年より多くありました。学校とは日々の連絡を重視し、入所児童についてケース会議を開くなど、連携して支援出来ました。

一方でケースワークが進んでいないケースもあり、保護者や行政への働きかけがもう少し必要であったという反省点が残りました。

基本目標 6

子どもの健康に配慮すると共に、環境の整備、防災教育を推進し、安全な生活を支援します。(資料 8, 9)

子どもの健康に配慮し年 1 回の健康診断、インフルエンザの予防接種を実施しました。

防災訓練を月 1 回実施し、児童ならびに職員の防災意識の向上に努めました。また非常時に必要な物品を確認し、不足している物を揃えました。

今年度はインフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症に罹る子どもはおりませんでした。

基本目標 7

職員の処遇技術の向上を目指した研修の充実と主体的取り組みの強化を図ります。また実習生の受入を検討して児童養護施設の理解を広げ、後進の指導に努力します。(資料 10, 11)

外部研修につきましては、例年と比べると多く参加しましたが、積極的に参加するという点については課題が残ります。「食」に関する学習意欲を高く持てたことは、今後も継続していきたいです。

実習生は 1 名受け入れましたが、他施設のグループホームと比べると、明らかに少ないので、今後の検討事項となります。

資料1 入退所状況

①平成26年度 月別児童在所状況 (初日在籍)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
実人員	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	66	5.5

②理由別入退所児童一覧

入 所 児 童				
氏 名	性別	学年	入所日	入 所 理 由
小4女子			10月1日	心理的虐待

資料2 個別対応職員による対応の状況

日 付	対象児童	内 容
8月29日	高2女子 F	個別面接
8月31日	高2女子 S	個別面接
9月10日	高1女子	個別面接
11月19日	高2女子 S	個別面接
12月28日	高2女子 S	個別面接
1月21日	高2女子 S	個別面接
3月6日	高2女子 S	個別面接
3月31日	高2女子 S	カラオケ行事の引率

資料3 児童会「キンモクセイの会」の実施状況

日 付	主 な 内 容	
4月9日	生活の振り返り	各役割分担について
6月26日	生活の振り返り	休日の時間 外食の希望について
7月23日	生活の振り返り	夏休みの日課 調理実習について
10月1日	生活の振り返り	夕食後の片づけ、掃除について
10月22日	生活の振り返り	生活の改善点について
11月26日	生活の振り返り	大掃除、外食希望について
1月21日	生活の振り返り	行事希望、パソコンのルールについて
2月25日	生活の振り返り	DVD希望 入浴時間について

資料4 行事報告

① 静岡県児童養護施設協議会行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
5月14日	第35回静岡県児童文化奨励絵画展	1	1
1月22日	第38回静岡県児童福祉施設冬季球技大会	2	2

② 施設内行事

年月日	行事内容	参加児童数	引率職員数
4月24日	招待行事 地引き網	1	1
4月29日	カラオケ (ラウンドワン)	2	1
5月7日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	1	1
5月29日	富士急ハイランド	2	1
8月1日	日本平動物園	1	1
8月18日	カラオケ (ラウンドワン)	2	1
8月23日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	2	1
10月16日	市民福祉まつり	5	3
11月23日	東京ディズニーランド	4	2
11月27日	奇石博物館	2	1
12月4日	招待行事 まかいの牧場 クリスマスパティー	2	1
12月5日	カラオケ (ラウンドワン)	2	1
12月24日	料理教室 ケーキ作り (青葉台まちづくりセンター)	2	1
1月2日	初詣 (三日市浅間神社)	4	1
1月4日	新年挨拶会 外食	4	3
1月15日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	2	1
1月29日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	2	1
3月4日	球技大会祝勝会 (焼肉キング)	2	1
3月5日	映画鑑賞 (富士宮イオン)	2	1
3月19日	卒業旅立ちを祝う会 (ひまわり園)	5	2
3月31日	カラオケ (ラウンドワン) ※個別対応職員引率	1	1

資料5 地域活動の状況について

日付	内 容
4月10日	茶ノ木平町3組 会合に参加
5月8日	茶ノ木平町 自主防災会の会合に参加
6月12日	町内クリーン作戦 公会堂周辺を草刈り
7月2日	青葉祭りに参加
7月29日	組合員のお通夜 お手伝い
9月24日	組合主催 バーベキューに児童、職員が参加
10月2日	青葉台地区運動会に児童、職員が参加
12月4日	地域防災訓練に参加 非難訓練 消火訓練を実施
12月30日	富士山駅伝 警備 応援
3月12日	茶ノ木平町3組 会合に参加 ※児童養護施設の現状や展望について説明

資料6 アフターケア実施報告

日付	年齢	性別	退所年月日	内 容
4月11日	22	女	H24.3.3	副園長、指導員で自宅訪問 家賃滞納への対応 アパート解約手続き
4月14日	22	女	H24.3.3	電話連絡 生活状況の確認
5月11日	22	女	H24.3.31	電話連絡 生活状況の確認
5月27日	22	女	H24.3.31	電話連絡 生活状況の確認
8月1日	22	女	H24.3.31	奨学金滞納について 督促状送付
8月16日	20	女	H27.3.31	職場のトラブル介入
8月17日	20	女	H27.3.31	職場のトラブル介入 会社訪問
8月21日	20	女	H27.3.31	電話連絡 今後についての相談
9月4日	20	女	H27.3.31	電話連絡 生活状況の確認
9月14日	22	女	H24.3.31	自宅訪問 不在 手紙投函
10月6日	20	女	H27.3.31	電話連絡 生活状況の確認
10月26日	22	女	H24.3.31	自宅訪問 不在 手紙投函
11月10日	20	女	H27.3.31	電話連絡 生活状況の確認
1月25日	20	女	H27.3.31	電話連絡 生活状況の確認
2月26日	20	女	H27.3.31	電話連絡 生活状況の確認

資料7 家庭支援、児童相談所、学校との連携、心理的対応等について

日付	対象児童	内 容
4月8日	小4女 K	静岡市児童相談所 児童福祉司, 児童心理司との面接
4月26日	小4女 2人	青葉台小学校 家庭訪問
5月26日	小4女 K	静岡市児童相談所 児童心理司にとの面接
6月27日	高1高2女	富士児童相談所との連絡会 自立支援計画作成
7月15日	高2女 F	御殿場西高校 個別面談
7月20日	高1女	富士見高校 個別面談
7月22日	小4女 K	青葉台小学校 個別面談
7月25日	高2女 S	富士市立高校 個別面談
8月8日	高1女	富士児童相談所 心理判定
8月9日	小4女 K	静岡市児童相談所 児童心理司との面接
9月12日	小4女 S	東部児童相談所 入所説明
9月16日	小4女 S	東部児童相談所 施設見学
9月28日	小4女 S	東部児童相談所 青葉台小学校 ケース会議
9月30日	小4女 S	東部児童相談所 入所対応
10月12日	小4女 S	東部児童相談所 児童福祉司との面接
10月27日	小4女 K	静岡市児童相談所 児童福祉司との面接
11月11日	小4女 S	東部児童相談所 児童福祉司と通院
11月18日	小4女 S	東部児童相談所 児童心理司と面接
12月8日	小4女 S	東部児童相談所 児童福祉司と通院
12月8日	高1女	富士見高校 個別面談
12月22日	高2女 F	富士児童相談所 児童福祉司と面接
1月5日	小4女 S	東部児童相談所 児童福祉司と面接
1月25日	小4女 S	東部児童相談所 児童福祉司と通院
1月30日	小4女 S	東部児童相談所 児童心理司と面接
2月27日	小4女 S	東部児童相談所 児童心理司と面接
3月2日	小4女 K	静岡市児童相談所 児童福祉司と面接
3月23日	高2女 F	東部児童相談所 実母と面会
3月24日	小4女 S	東部児童相談所 児童福祉司と通院
3月28日	小4女 K	静岡市児童相談所 児童福祉司 児童心理司と面接
3月29日	小4女 S	東部児童相談所 児童心理司と面接

資料8 児童の健康管理

①受診状況（治療・検査）

医療機関 \ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
青葉クリニック	1						3		1	1	1	2	9
米本皮膚科医院											1	1	
コスモ歯科		1	6	3			1	1	1	4			17
加藤眼科医院			1	1									2
前田整形	1												1
鈴木内科	1					1		1		1			4
中島産婦人科				1									1
フジ虎ノ門病院								1	1	2		1	5
土屋医院								1					1
磯部クリニック									1				1
里和耳鼻科										1			1
善得クリニック												2	2
合計	3	1	7	5	0	1	4	4	4	0	2	6	46

②健康診断

10月5日 全児童 実施。(土屋医院)

③予防接種

インフルエンザ予防接種	1回目 5名	2回目 2名
-------------	--------	--------

日本脳炎第2期	2名
---------	----

資料9 防災訓練報告

項目 年月日	訓練内容						参加人数	
	避難訓練	夜間	火災	地震	消火訓練	自主点検	児童	職員
4月23日	○			○	○	○	5	1
5月21日	○		○		○	○	5	1
6月19日	○			○	○	○	5	1
7月9日	○		○		○	○	5	1
8月9日	○	○		○	○	○	5	1
9月1日	総合防災訓練				○	○	5	2
10月8日	○		○		○	○	5	1
11月20日	○			○	○	○	5	1
12月4日	地域防災訓練				○	○	5	2
1月8日	○		○		○	○	5	1
2月5日	○			○	○	○	5	1
3月23日	○			○	○	○	5	1

※11月16日 消火器点検を実施

資料10 外部研修報告

年月日	主催者	研修内容	参加人数
5月31日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	5月定例会 性教育について	1
6月13日	静岡県給食協議会	衛生、栄養管理講習会	1
6月14日	静岡県児童養護施設協議会	児童福祉施設職員 新任研修	1
9月30日	静岡県児童養護施設協議会 指導員保育士部会	9月定例会 事例検討	1
10月30日	ふじ虹の会	フオスターセッション2016 ※ひろみ職員が意見発表	1
10月6日	富士圏域社会福祉施設長会	富士圏域初任者研修会	1
10月13日	静岡県児童養護施設協議会	静岡県児童権利擁護推進研修会 第1講座 母子生活支援施設における権利擁護の現状と課題	1
11月8日	静岡県給食協議会富士支部	魚調理の調理実習	2
11月15日	静岡県児童養護施設協議会 栄養士・調理員部会	調理実習	1
1月12日	静岡県児童養護施設協議会	静岡県児童権利擁護推進研修会 第3講座 措置変更を考える	2
2月16日	静岡県児童養護施設協議会	実習養成校との意見交換会	1
3月9日	静岡県児童養護施設協議会	静岡県児童権利擁護推進研修会 第4講座 措置児童等虐待防止に向けて ～県内の実態と課題～	1

資料11 実習生の受け入れ状況

常葉大学富士キャンパス 1名	期間 8月18日～28日	10日
----------------	--------------	-----

資料12 事故・ヒヤリハット報告

事故報告1件

日付	児童	内容
4月18日	高校1年 女子	自転車で登校中、道路上のポールに追突し、右ひざを擦りむく。

資料13 苦情・要望報告

※平成28年度はありませんでした。

恩賜記念みどり園 （定員 30 名：暫定定員 26 名）

事業概要報告

平成 28 年度は暫定定員 26 名で事業を実施しました。年間の充足率は、定員換算で 65%、（暫定定員では 75%）受け入れた乳幼児の内訳は措置入所 7 名（内 3 名は一時保護からの切替）、一時保護 16 名、富士市のショートステイ 5 名、計 28 名でした。児童福祉法の改正で、乳幼児の養育は家庭的な環境の基で行われることが原則とされた影響か、措置入所する児童



は減少していますが、入所依頼当日の受け入れを希望する緊急一時保護が増えています。特に 21 時以降に打診があり、当日の深夜に保護するケースが増えています。

深夜の受け入れは病院の診察時間外なので、健康診断が受けられず、感染症の潜伏期間であること等を想定しての対応を行います。受け入れのリスクは計り知れず、緊急一時保護があると夜勤者は仮眠や休憩がとれません。

平成 28 年度は病虚弱児の入所が多く、食物アレルギーのある子ども達への対応や、夜間の入院等の緊急対応が増えました。喘息等の既往がある乳児を受け入れたところ、気管支喘息や肺炎等で 6 ヶ月間に 9 回、延べ 114 日間の入院、深夜の緊急搬送や、三次救急病院への転院などの対応が必要でした。このケースで当園での入院児数が前年の 46 名から 146 名に、入院率は前年の 0.54%から 2.06%、約 3.6 倍に急増しました。

また、発達がゆっくりで、3 歳を過ぎても児童養護施設への措置変更が難しい幼児が年度当初 3 名在籍しておりました。1 名は 5 歳を過ぎており、障害児施設への措置変更を待っていたのですが、「幼稚園生活を体験させたい」という担当養育者の想いに職員が団結してサポートをすることになり、幼稚園の先生方のご協力を得て、平成 28 年 4 月から正式に幼稚園の年長クラスに入園することができました。入園当初は職員が付き添い、午前中みの通園でしたが、6 月には一人で幼稚園での全ての日課を過ごせるようになりました。児童養護施設への措置変更の日程が決まり、約半年の時間を掛け、延べ 25 回の安心を繋ぐための交流を行って措置変更を行いました。措置変更先の児童養護施設から、園の生活や、新しい幼稚園にも早く馴染むことができたという報告もあり、乳児院で培われた安心感や自己肯定感等を損なうことなく次の居場所に繋ぐことが、私たちがお預かりした子どもにできる最大の使命であることや、職員が諦めずに努力を継続することで、子ども達の可能性が開けていくことも改めて学ばせてもらいました。

退所児童は7名、児童養護施設への措置変更率は57.1%、きょうだいケースを2組措置変更することができました。家庭復帰率は28.6%、里親委託率は14.3%、残念ながら措置児童の家庭復帰率は年々減少傾向にあります。

職員研修では、職員間の意思疎通をより強固なものにするために、前年は副主任以上の指導担当職員を対象にビジネスアサーションの研修会を、全職員を対象として全6回のコースで開催しました。

当園の最大の課題である看護師の充足の問題ですが、平成28年度は常勤看護師1名と非常勤の看護師4名で業務を行っておりましたが、常勤看護師3名ではなかったため、小規模グループケア等の加算が受けられず、財政的にも苦しい状況でしたので、常勤看護師を増やせるように募集を継続しています。



アサーション研修会

重要事項報告

(1) 感染症について

①RSウイルス感染症について

8月中旬に5ヶ月女児～10ヶ月男児の5名がRSウイルスに感染しました。いずれも早期の段階で入院をさせる対応を行いました。しかし、咽頭軟化症と喘息の既往を持つ9ヶ月の男児も感染初期に中央病院に大事をとって入院させましたが、重症化してしまい人工呼吸器を装着しても呼吸管理が難しく、県立こども病院に救急搬送されました。ICU等で約2週間の治療を受け9月無事に退院することができました。お盆期間中の対応でしたので3病院に分散入院となり、付き添い家政婦の手配ができず、職員のみならず家族に付き添いを依頼して対応いたしました。

②その他の感染症について

12月下旬に感染性胃腸炎、1月中旬に季節性インフルエンザに職員が1名ずつ罹患しましたが、出勤を停止して、休暇を取らせましたので、園内に広がることはありませんでした。

(2) ファンコイル型エアコンのチラー（冷却装置）の交換等について

平成 28 年 7 月上旬に突然ファンコイル型エアコンのチラー(冷却装置)が故障し、修理金額が取り替え金額を上回ったので、下記の日程で公示、入札を執り行い、落札業者である共栄空調株式会社様の施工により平成 28 年 12 月 28 日無事取り替え工事が完了しました。

また、猛暑の 7 月よりエアコンが使えない園舎 2 階食堂及び職員休憩室・実習生室、1 階ナースプール・厨房・リネン室の空調管理のためにスポットクーラー 5 台と冷風機 1 台を借りて猛暑への対応を行いました

- ・ 公示期間 : 平成 28 年 9 月 1 日(木)～9 月 7 日(水)
- ・ 現場説明会: 随時対応 場所: みどり園応接室・設置場所
- ・ 入札日時 : 平成 28 年 9 月 14 日 10:20～会場: ひまわり園会議室
立会人: 戸巻芙美夫理事長・鈴木英之監事・勝又長見監事
- ・ 落札金額 : 2,300,000.- (共栄空調株式会社)
- ・ 設置完了 : 平成 28 年 12 月 28 日



入札 : H28.9.14

(3) 防災用発電機の設置および受変電設備への引き込み工事について

平成 28 年度の設備改善計画で予定していた防災用発電機の設置および受変電設備への引き込み工事ですが、下記の日程で入札を執り行い、落札業者であるヤマグチ電機株式会社様の施行により平成 28 年 2 月 24 日に無事に取り替え工事が完了致しました。

- ・ 公示期間 : 平成 29 年 2 月 1 日～2 月 7 日
- ・ 現場説明会: 平成 29 年 2 月 17 日 14:00～ 場所: みどり園会議室・設置場所
- ・ 入 札 : 平成 29 年 2 月 23 日 10:00～ 場所: ひまわり園会議室
立会人: 戸巻芙美夫理事長・鈴木英之監事・勝又長見監事
- ・ 落札金額 : 8,596,000.- (ヤマグチ電機株式会社)
- ・ 設置完了 : 平成 29 年 3 月 30 日



現場説明 : H29.2.17



入札 : H29.2.23



設置完了 : H29.3.30

(4) 社会福祉施設第三者評価の受審について

平成 28 年度は社会福祉施設第三者評価の受審年であるため、毎月第三者評価・自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、第三者評価を受審いたしました。また、自己評価を基に、改善に向けた中長期計画を作成しました。(第三者評価の結果は巻末に掲載します)

第三者評価受審日：平成 28 年 11 月 21 日（月）～11 月 22 日（火）

評 価 機 関：有限会社セリオコーポレーション



第三者評価(聴取) H28.11.21～11.22



第三者評価(現場説明) 11.21

(4) 事故記録等

- ①事故の記録 総事故数 22件 (対象児童 23名) 通院児童 2名
- ②児童間の事故・噛みつき報告 総報告数 17件
- ③インシデントレポート(ヒヤリハット) 総数 11件



扉を開く



扉を閉める



※事故報告からの改善策：1 階のすべての扉に挟み込み防止カバーを取り付ける

(5) 苦情・要望受付

- ・処遇、運営に関する苦情・要望等 0 件

施設整備等

(1) 固定資産計上取得物品等

①建物取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）
冷房用チラーユニット	1 式	ボイラー室
セキュリティードア	1 ヲ所	厨房西側(職員)
防災型非常用発電装置	1 式	園舎西側(児童・職員)

②器具および備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）
LANDISK・無停電装置	各 1	事務所（職員）
ファンコイル式冷暖房室内機	5 台	居室(児童)
血中酸素飽和濃度測定器	1 台	居室(児童)



冷房用チラーユニット



防災型非常用発電装置

基本目標1

乳幼児の愛着形成を重視し、よりよい関係作りへの取り組みを心がけ、健康に留意し、心身の発達支援を行うと共に、みどり園としての家庭的養護推進計画の実現をめざす。 また、より良い養育環境構築のための施策を実施する。

・家庭的養護推進計画に基づく小規模グループケアや養育形態の小規模化に取り組みました。

平成 28 年度も小規模グループケアの加算申請はできませんでしたが、発達上の課題等から児童養護施設では受け入れが難しい 2 歳～6 歳の幼児 4 名を対象とした小規模グループケアを実施しました。子どもたちのペースを尊重しながら、より沢山の生活経験をするを主題に掲げ、勤務者をできる限り固定しながら常時 2～3 名の職員を配置し、様々な社会体験を増やす事を目標にした結果、最年長の 6 歳児は正式に幼稚園に入園し、平成 28 年 4 月～10 月中旬まで年長クラスへ通園することが出来ました。

本体施設でも小集団での園外保育や分散養育の機会を増やし、子ども達が担当養育者と個別に過ごす時間の確保や、養育単位の小規模化を心掛けました。



小規模グループケアでの種まきと、法人に夏祭りに参加

・建て替えを計画している乳児院の視察研修を受けて、みどり園の建物や養育を見学してもらい、みどり園の養育内容や設備について意見を交換しました。

先駆的な施設への視察研修は計画できませんでしたが、建て替えを予定している東京都の聖友乳児院から視察の依頼を受け、3 班 51 名の職員がみどり園を見学し、意見交換をすることで、両園での養育形態や、設備面も含めた養育内容の検証を行うことができました。

聖友乳児院視察	第 1 班：平成 28 年 9 月 13 日(火) 9 名 13:00～15:30
	第 2 班：平成 28 年 10 月 18 日(火) 18 名 13:00～15:30
	第 3 班：平成 28 年 11 月 15 日(火) 24 名 13:00～15:30

- ・発達の遅れた乳幼児の支援の充実に取り組みました。

静岡県モデル事業がきっかけで始めたリトミックも4年目を迎え、平成28年度も隔週1回60分ずつ、幼児のグループを対象に年間延べ24回実施することができました。昨年度から園独自の事業となったプレイセラピーを発達課題を持つ4名の幼児を対象に、毎週金曜日と、隔週の火曜日の午前中に実施しました。1日2名のセッションで、多い子どもで44回、本年度から始めた子どもでも20回受けることができました。

また、小グループでの園外保育を奨励し、13回延べ42名の子ども達と担当養育者との1対1での外出を行いより家庭的な時間の確保に務めることができました。



リトミック



プレイセラピー

[資料3-1参照]

基本目標2

乳幼児の権利擁護について職員に徹底し、福祉施設第三者評価を受審することにより、既存の養育形態を見直し、一層充実した支援を心掛ける

- ・児童の権利擁護の推進に取り組み、みどり園の理念や乳児養育の方針を定めました。

全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を月例会やケース会議の前に唱和する事で、定期的に職員が確認する機会を設けました。全国乳児福祉協議会の「倫理綱領」や、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」の内容を反映させた、みどり園の養育理念や乳幼児養育方針を定め、行動指針の修正を行いました。

- ・乳児院における権利侵害や、養育不全状況についての見識を深める機会を持ち、権利侵害の防止や、新任職員への支援に努めました。

新規職員に新任研修会を通じて、子ども達への権利侵害に該当する事柄の説明や、職員としての心構え、就業規則などの説明に加え、法人創立から現在までの歴史を通じて、法人創立者渡邊代吉氏や、戸巻俊一前理事長の思想や、法人の理念や、先達が守り続けてきた養育に対する姿勢等について学ぶ機会を設けました。

また、新任職員には年間の指導担当者を個別に配置して相談支援を行いました。

全国乳児福祉協議会総務委員会や、関東ブロック乳児院協議会運営委員会に職員を派遣し、最新の業界情報等を入手し、職員会議等で権利擁護の遵守や権利侵害が起りやすい状況などを紹介しながら注意喚起・職員指導を行いました。

・社会福祉施設第三者評価内容評価基準等を基に自己評価を実施し、目標達成計画の見直しを行いました。

第三者評価・自己評価委員会を年間で10回開催し、「社会福祉施設第三者評価内容評価基準」および、「第三者評価共通評価基準」を使用した自己評価を常勤職員全員で実施しました。この結果を基に、平成27年度に修正した、改善に向けた取り組み・改善計画の検証を行い、乳幼児の養育環境の充実や、運営に関する職場環境の整備に努めました。

・社会福祉施設第三者評価を受審しました。

第三者評価・自己評価委員会で作成した平成28年度の自己評価を基に福祉施設第三者評価を受審しました。受審結果が届いたのが平成29年3月中旬でしたので、内容の精査および、改善点に対する目標達成計画の作成は平成29年度の第三者評価・自己評価委員会の課題とすることとします。

第三者評価受審日：平成28年11月21日（月）～11月22日（火）

評価機関：有限会社セリオコーポレーション

基本目標3

児童の健康に関する処遇の見直しを行い、感染症発症時の対応および、夜勤帯の緊急事態への対応についての強化を行う。

・感染症への対応のため、任意の予防接種を施設負担で実施し、感染症予防への対応強化に努めました。

平成28年度本年度も季節性インフルエンザの予防接種は接種可能な6ヶ月以上の入所児童全員(18名)に実施しました。職員も34名(常勤・非常勤全員)が接種しました。

また、平成23年度より接種を推進している、ヒブワクチン(延21名接種)や小児肺炎球菌ワクチン(延23名接種)に加え、任意接種であるロタウィルスワクチンを延べ11名の乳児に接種させることができました。

さらに、任意接種で接種が推奨されているB型肝炎ワクチンを入所児童11名、職員20名(希望者のみ)に接種しました。これにより、入所児童が平成28年度に受けた予防接種は延べ167件となりました。

入院した児童は延べ15名でした。RSウイルス感染症で5名が入院しています。入院率は年平均で2.06%、前年の0.57%の3.6倍ですが、咽頭軟化症で喘息の既往がある病虚弱児加算の対象児が、平成28年6月～平成29年1月までの期間で延べ9回、114日入院しています。気管支系の疾患の対応方法が分かってから入院がありませんので、今後は落ち着いていくものと思われます。 [資料2-(2)参照]

RS ウイルス感染症以外の感染症の園内侵入は防ぐことができました。これは感染症委員会のメンバーが年 7 回の委員会を開催し、定期的な対策の見直しや、徹底の方法を模索し、早期のマニュアルの書き換え等を心掛けてくれた事も要因の一つであり、「早期発見・早期治療」を日常的に心掛けている職員の努力や、協力の表れであると考えます。 [資料 7-(7)参照]

緊急時の職員の配置の見直しは、常勤看護師 3 名の確保ができなかったので加算事業が認められないため、増員配置をすることができませんでした。

- ・人工呼吸器「118 救急車を呼ぶ前に」の取り扱い講習会を実施しました。

- ・**看護師の欠員解消に努力しました。**

年間を通じて看護師の求人情報をハローワークに出すと共に、求人情報誌を定期的に活用したことで、平成 28 年度は常勤の看護師 1 名と非常勤の看護師 4 名を採用することができましたが、常勤看護師若しくは常勤的非常勤看護師（週 40 時間勤務できる非常勤看護師）3 名が最低基準のため、常勤職員の採用ができるように募集を継続しています。

- ・**児童の隔離時の職員配置の増員を行い、看護・養育の対応強化に努めました。**

非常勤保育士や、非常勤看護師の雇用を増やし、日中勤務する直接処遇職員の人数を増やすと共に、常勤職員の勤務を見直し人手が必要な早朝や、夕方の時間帯の勤務者確保を行い、隔離時には職員が 1 名配置できるように対応の強化を図りました。

夜間の緊急時の対応について「宿直者」の配置を計画しておりましたが、入所児童の減少と、日中の非常勤保育士の確保で、夜勤ができる常勤保育士の人数が増えておらず、勤務態勢が構築できず、実施することができませんでしたので、今後も継続して検討していきます。

- ・**緊急一時保護児童の受け入れについて、被虐待児の入所時健康診断の受診の徹底と、感染症潜伏期間の可能性考慮した対応に努めました。**

被虐待児等の緊急一時保護時の健康診断の受診の徹底を、各児童相談所に協力を求めることができましたが、RS ウイルスの園内感染がありましたので、更なる対応の強化を図りたいと思います。

- ・**夜勤手当を見直し、増額を実施しました。**

夜間の緊急一時保護や、熱発児の対応などで、仮眠時間などの確保が難しい時もあるため、夜勤手当の増額をはかり、夜勤 1 回 4,000 円から 5,000 円に増額しました。

資料1 平成28年度入所実績表・入退所理由別表

(1) 平成28年度入所実績表

暫定定員 26名

月別	性別	実人員			初日 充足率	一時保護	途中入退所				総計	定員30名 充足率	暫定26名 充足率	
		男子	女子	計	初日 在籍 延べ数		%	延人数	延人数	内訳		%	%	
										男子				女子
平成28年	4月	10	7	17	510	57%	38	0	0	0	548	61%	70%	
	5月	10	7	17	527	57%	9	28	28	0	564	61%	70%	
	6月	10	8	18	540	60%	25	9	9	0	574	64%	74%	
	7月	11	8	19	589	63%	0	0	0	0	589	63%	73%	
	8月	11	8	19	589	63%	12	0	0	0	601	65%	75%	
	9月	11	8	19	570	63%	15	0	0	0	585	65%	75%	
	10月	11	8	19	589	63%	107	-24	-12	-12	672	72%	83%	
	11月	11	7	18	540	60%	42	23	0	23	605	67%	78%	
	12月	11	8	19	589	63%	16	4	0	4	609	65%	76%	
平成29年	1月	11	8	19	589	63%	0	-18	-9	-9	571	61%	71%	
	2月	10	7	17	476	57%	3	26	0	26	505	60%	69%	
	3月	10	8	18	558	60%	85	14	9	5	657	71%	82%	
	計	127	92	219	6,666		352	62	25	37	7,080	65%	75%	

(注) 表中の充足率は暫定定員ではなく、定員30名および暫定26名計算したものである。

(注) 表中の実人員数は、初日在籍の乳児の数

(注) 表中の延人数は、月の途中で入退所した乳児の数、及び一時保護乳児数を含む

暫定定員計算

初日在籍

途中入退所

$$6,666 + 62 = 6,728 \text{ 人 (入所児童総数)}$$

$$\text{入所児童のみ} \quad 6,728 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 (90\%) = 20.47$$

$$\text{一時保護含む} \quad 7,080 \div 30.4 \text{ 日} \div 12 \text{ 月} \times 1.11 (90\%) = 21.54$$

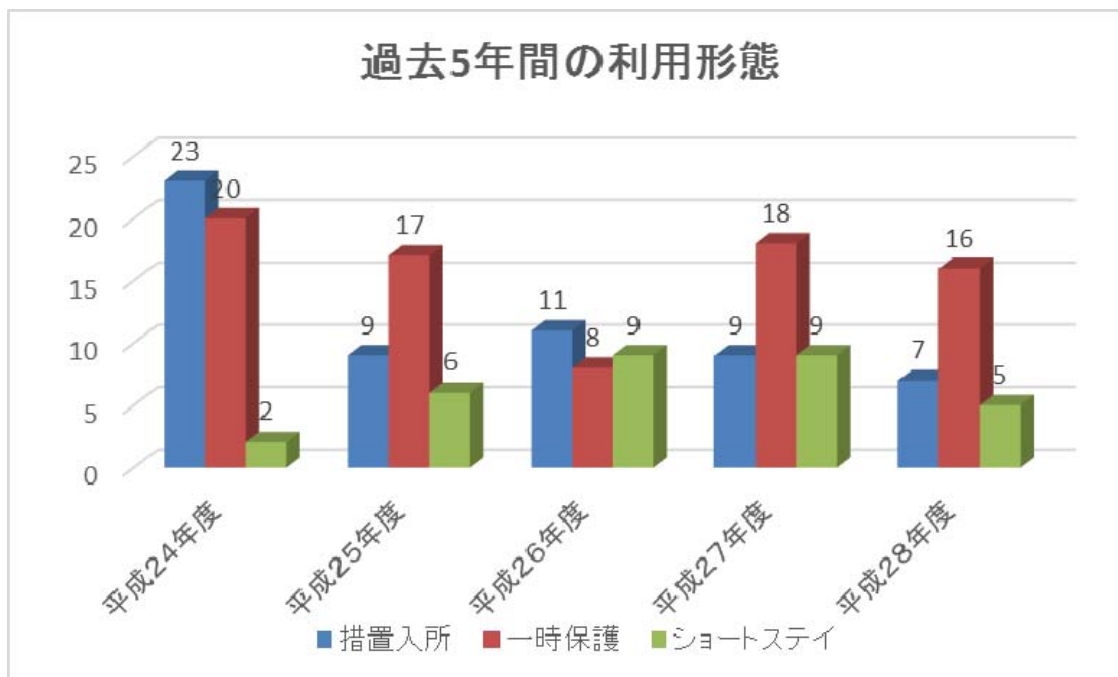
※ 計算式は厚生労働省雇用均等・児童家庭局からの通知によるものである。

(2) 平成28年度 入退所理由別表

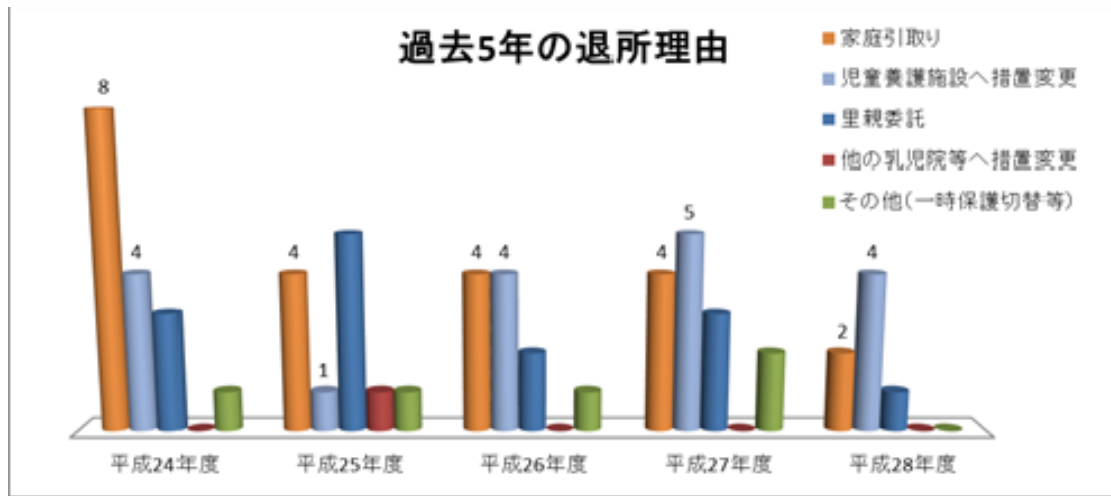
入 所 理 由	人数	退 所 理 由	人数
1. 養育困難 (1) 保護者の疾病・入院 (2) 未婚の母・婚外子 (3) 両親離婚 (4) 母の家出 (5) 保護者の養育能力欠如 (6) 保護者拘禁 (7) 経済的困窮	5	1. 家庭引取	2
	(3)	2. 里親委託	1
	()	3. 他施設に措置変更 内訳 (1) 児童養護施設 (4) (2) ファミリーホーム () (3) その他の施設 ()	4
	()		
	()		
	(1)	4. その他 強制送還	
	()		
()			
(1)			
2. 虐待	2		
3. 遺棄	0		
合 計	7	合 計	7
4. 一時保護 (措置入所への切替3名含)	16	一時保護 解除(退所) (家庭引取12名)	12

*注1. 表中(1)～(2)の人数は入所・退所理由の細目内訳です。*注2. 入所理由は新規入所の人数

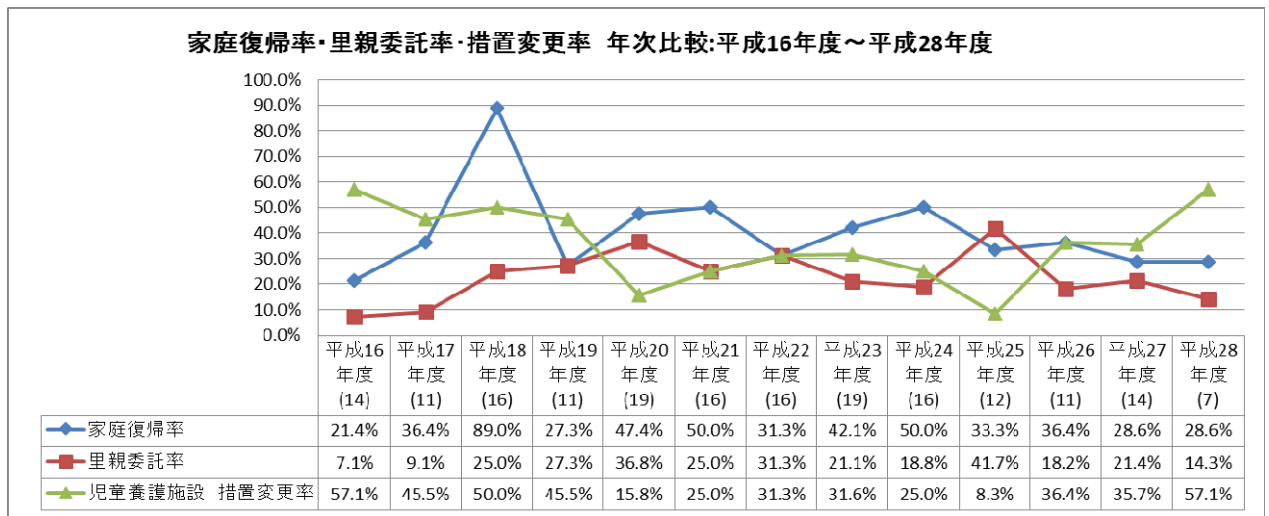
(2)ー① 利用形態の年次比較



(2)一② 退所理由年次比較



(2)一③ 家庭復帰率・里親委託率・児童養護施設への措置変更率の年次比較



(3) 平成28年度子育て短期支援事業(ショートステイ)利用状況

富士市		
年齢	利用人数	利用日数
2歳未満	5人	48日
2歳以上	0人	0日
合計	5人	48日
母親	0人	0日

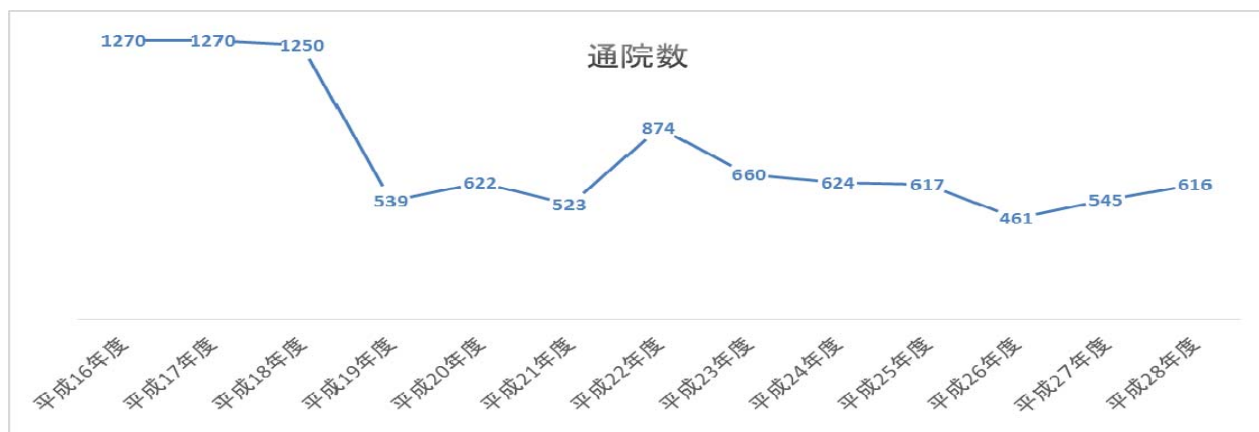
資料2 平成28年度疾病科別受診状況及び予防接種、健康診断、事故記録等

(1) 通院及び予防接種・健康診断の記録 総受診数 840件

(1)-① 平成28年度月別通院児童数 (年間616件)

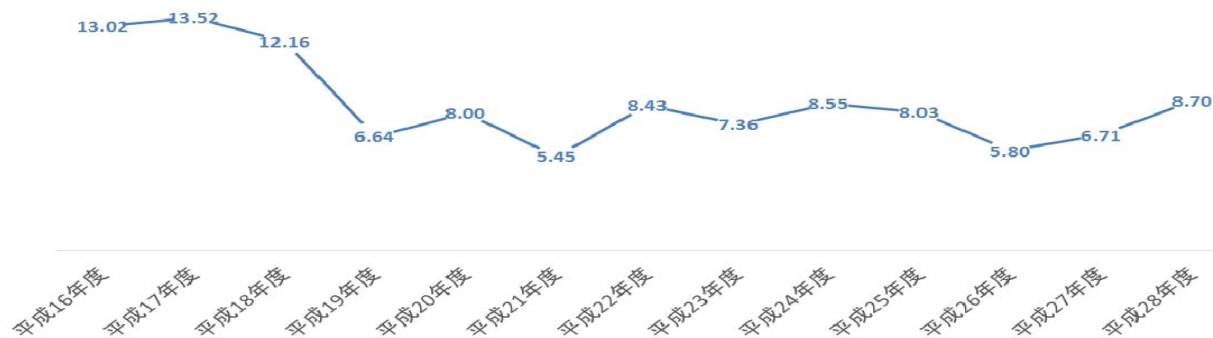
通院数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いいずみファミリークリニック	9	35	21	25	9	6	21	16	19	18	6	19	204
小川内科小児科医院			1					2	1				4
かみで耳鼻咽喉科	11	8	7	32	41	15	10	23	12	12	14	10	195
月岡医院													0
前田整形外科									2				2
小森眼科クリニック											3		3
海野皮膚科	2		1	6	5	4	2	9	5	1	1	1	37
片岡歯科医院		1	3	6	3	1	4	1		1		1	21
中山医院					3	2	2	1	1	3	1	2	15
川村病院									1				1
とみ皮膚科							1			3			4
沼津市立病院										1			1
聖隷富士病院					6						2		8
富士宮市立病院	1		2	4	6	2	5	1	2			1	24
富士市立中央病院													
(脳神経外科)													0
(整形外科)													0
(小児科)	1	3	1		11	5	4	6	3	6	6	6	52
(形成外科)					1								1
(耳鼻科)													0
(救急外来)		1		1	1		2	1		2	1		9
県立こども病院													
(脳神経外科)										1		2	3
(循環器科)										1			1
(形成外科)				1									1
(耳鼻科)				1									1
(歯科)				1									1
(言語評価外来)				1									1
(神経科)											1		1
(神経科)												1	1
(新生児科)						1				1			2
(発達小児科)			2			1							3
(アレルギー科)			1	2	1	2	1		1	2	1		11
(リハビリテーション科)												1	1
(救急外来)			1	2	1								4
富士市立救急医療センター								1					1
富士市立こども療育センター										1	1	1	3
通院数合計①	24	48	40	82	88	39	52	61	47	53	37	45	616

(1)-② 過去12年間の通院数比較 (年間平均値の比較)



通院率比較：平成16年度～平成28年度															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均		
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755	名	
通院数(1,270名)	67	101	87	62	134	161	173	141	82	98	96	68	1,270	名	
通院率:通院数/延べ人数	9.41	13.32	10.93	7.13	14.08	18.46	20.52	17.41	9.80	11.71	12.70	9.54	13.02	%	
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,393	名	
通院数(1,270名)	78	89	69	45	59	127	128	136	126	81	180	152	1,270	名	
通院率:通院数/延べ人数	13.66	14.45	10.95	6.97	8.51	15.64	14.32	15.91	14.77	8.72	19.85	15.40	13.52	%	
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,283	名	
通院数(1,250名)	99	157	93	191	93	96	98	140	124	40	56	63	1,250	名	
通院率:通院数/延べ人数	11.07	18.47	10.41	22.03	10.93	11.75	11.09	16.09	14.29	4.61	7.22	7.46	12.16	%	
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143	名	
通院数(541名)	46	56	82	80	55	32	44	19	49	17	32	29	541	名	
通院率:通院数/延べ人数	8.04	8.78	12.97	12.21	8.76	5.18	6.36	2.75	6.57	2.18	4.43	3.77	6.64	%	
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771	名	
通院数(622名)	31	31	75	59	15	20	94	70	89	60	35	43	622	名	
通院率:通院数/延べ人数	4.37	4.51	11.90	9.58	3.02	4.31	16.97	10.65	12.16	7.98	5.38	5.23	8.00	%	
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596	名	
通院数(523名)	83	34	38	38	45	29	44	24	27	27	24	110	523	名	
通院率:通院数/延べ人数	11.77	4.92	5.41	4.85	5.43	3.36	4.73	2.81	3.16	3.31	3.10	13.87	5.45	%	
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,373	名	
通院数(874名)	24	72	44	60	96	65	69	94	79	59	135	77	874	名	
通院率:通院数/延べ人数	3.29	8.97	5.35	6.42	10.58	7.21	7.74	10.82	8.64	6.41	16.63	8.88	8.43	%	
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971	名	
通院数(660名)	66	63	69	79	77	61	56	51	52	26	25	35	660	名	
通院率:通院数/延べ人数	8.45	7.83	9.32	9.59	9.55	8.17	7.85	7.39	7.16	3.54	3.60	4.92	7.36	%	
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298	名	
通院数(624名)	33	38	28	54	39	31	71	44	74	42	59	111	624	名	
通院率:通院数/延べ人数	7.38	7.98	6.22	10.23	6.81	5.43	11.13	6.44	9.89	6.00	8.27	14.40	8.55	%	
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688	名	
通院数(617名)	60	50	59	43	31	47	71	41	62	43	50	60	617	名	
通院率:通院数/延べ人数	9.98	8.96	10.87	6.76	4.96	7.05	9.67	5.94	8.84	6.35	8.32	9.16	8.03	%	
平成26年度(名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954	名	
通院数(461)	52	66	47	33	11	42	52	55	33	16	19	35	461	名	
通院率:通院数/延べ人数	8.37	9.55	7.40	5.15	1.86	6.14	7.51	8.02	4.67	2.35	3.00	5.07	5.80	%	
平成27年度(名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118	名	
通院数(545)	45	28	19	28	30	50	77	59	58	49	43	59	545	名	
通院率:通院数/延べ人数	7.50	4.54	3.16	4.47	4.64	7.63	10.91	8.43	7.80	6.59	6.05	7.69	6.71	%	
平成28年度(名)	548	564	574	589	601	585	672	605	609	571	505	657	7,080	名	
通院数(616)	24	48	40	82	88	39	52	61	47	53	37	45	616	名	
通院率:通院数/延べ人数	4.38	8.51	6.97	13.92	14.64	6.67	7.74	10.08	7.72	9.28	7.33	6.85	8.701	%	

平均通院率の比較 平成16年度～平成28年度

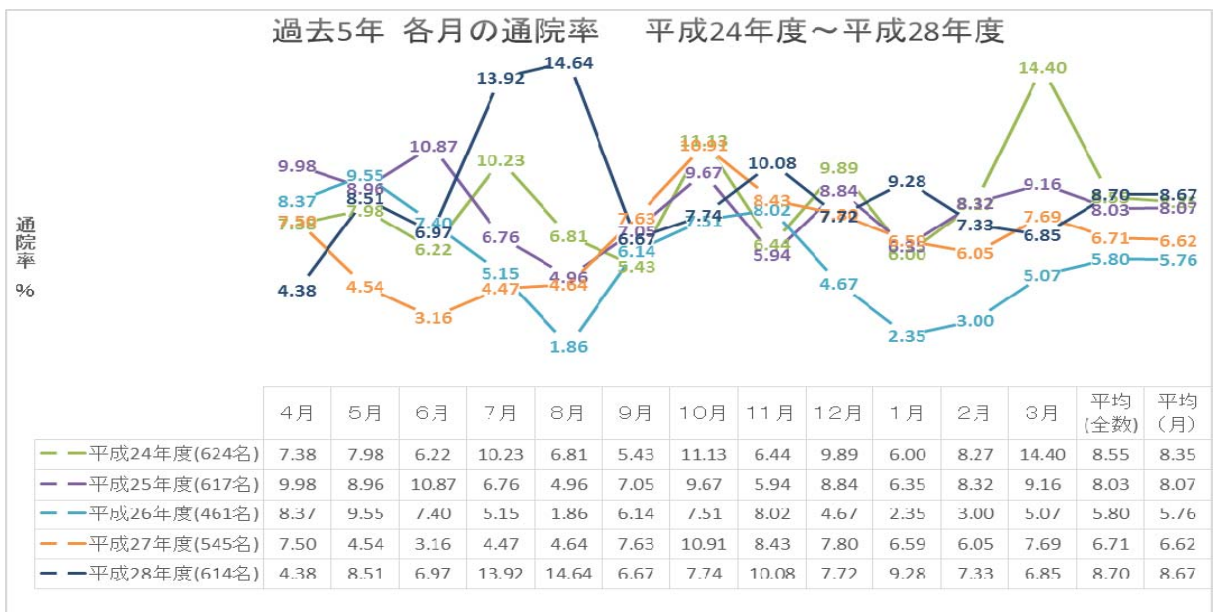


(1)ー② 平成28年度 月別健康診断受診数 (年間57件)

健康診断	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生後1週間健診													0
1-2ヶ月検診								1					1
3-4ヶ月健診					1					1		1	3
6-10ヶ月健診	2				1	1	1						5
1歳-1歳半検診	1	1						1		2			5
3歳児検診								1					1
定期健診・歯科検診											34		34
入所時健診													0
退所時健診(嘱託医)						3		1		2		2	8
健康診断合計②	3	1	0	0	2	4	1	4	0	5	34	3	57

(1)ー③ 平成28年度 月別予防接種実施児童数 (年間167件)

予防接種	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
K-2シロップ													0
MRワクチン	1		2							1	1		5
BCG		1	1				1						3
日本脳炎											2	1	3
四種混合1~3回	4	1	1	2	2	2	1			3	4	3	23
インフルエンザ							18	14					32
シナジス(RSウイルス)													0
ヒブワクチン	2		4	2	3	1	1	1		2	3	2	21
小児肺炎球菌ワクチン	2		4	2	3	1	1	1		3	4	2	23
ロタウイルス	1		1	1	1					2	3	2	11
水痘		1	5			1				2	2	1	12
B型肝炎	1	1					1		9	14	6	2	34
その他													0
予防接種合計③	11	4	18	7	9	5	23	16	9	27	25	13	167
総計 ①+②+③	38	53	58	89	99	48	76	81	56	85	96	61	840

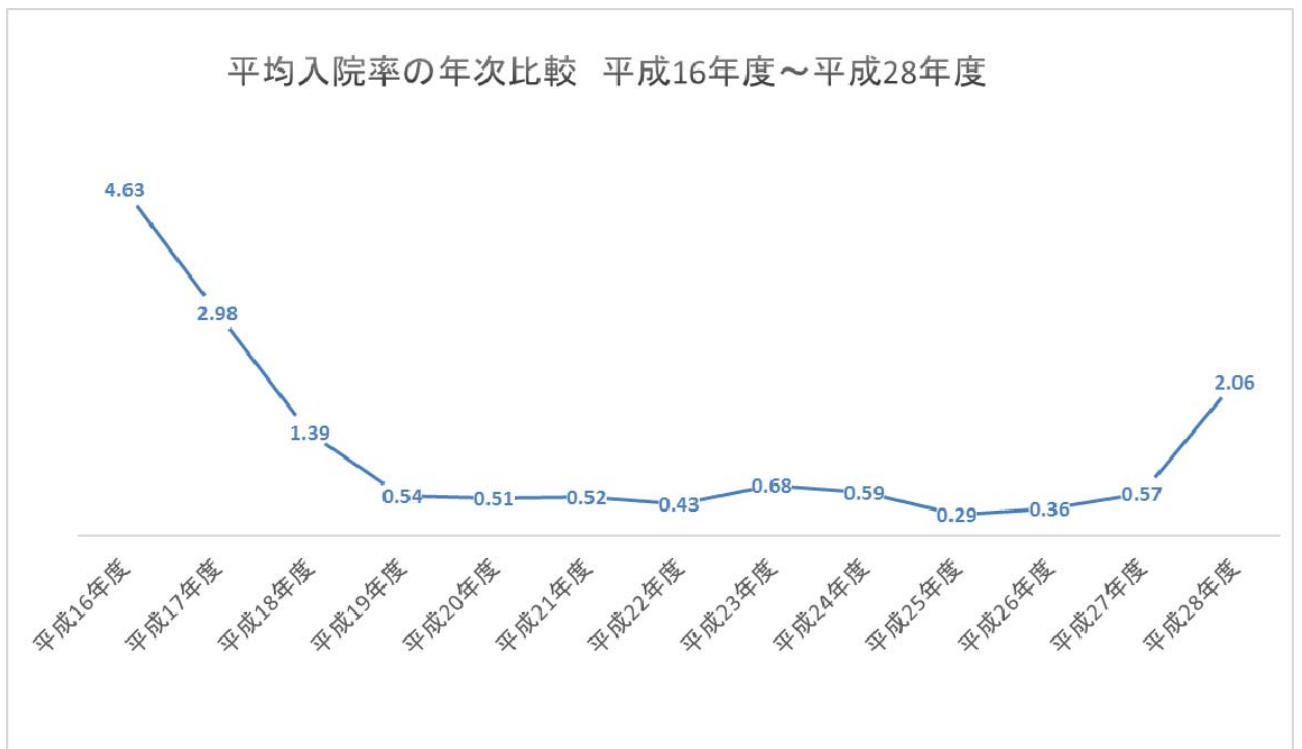


(2)平成28年度 入院児童について(対象児7名 延人数15名・入院日数延146日)

氏名	性別	入院期間	病院名	病名	入院日数
M.Y	女	平成28年5月17日～5月21日	富士市立中央病院	尿路感染症	5
K.H①	男	平成28年6月19日～6月24日	静岡県立こども病院	発熱・尿路感染の疑い	6
K.H②	男	平成28年7月8日～7月16日	静岡県立こども病院	喘息様気管支炎	9
K.H③	男	平成28年7月26日～8月5日	静岡県立こども病院	小児喘息性気管支炎	11
K.H④	男	平成28年8月16日～8月18日	富士市立中央病院	喘息・RSウイルス感染	3
K.M	女	平成28年8月16日～8月19日	聖隷富士病院	RSウイルス感染	4
K.H⑤	男	平成28年8月18日～9月2日	静岡県立こども病院	転院 喘息・RSウイルス感染	16
K.A	女	平成28年8月17日～8月19日	富士宮市立病院	RSウイルス感染	3
T.S	男	平成28年8月18日～8月23日	富士市立中央病院	RSウイルス感染	6
S.R	男	平成28年8月18日～8月23日	富士市立中央病院	RSウイルス感染	6
K.H⑥	男	平成28年10月11日～10月19日	富士市立中央病院	気管支喘息	9
K.H⑦	男	平成28年11月6日～11月24日	富士市立中央病院	気管支喘息	19
M.K	女	平成28年11月17日～11月24日	富士市立中央病院	新生児無呼吸発作	8
K.H⑧	男	平成28年11月28日～12月20日	富士市立中央病院	気管支喘息	23
K.H⑨	男	平成28年12月20日～ 平成29年1月6日	静岡県立こども病院	転院：気管支喘息 逆流性食道炎	18
入院者数		15名	延べ入院日数		146日

※K.H君 平成28年6月～平成29年1月の間に9回、延114日入院する。

(2)-① 過去12年間の入院率比較



入院率比較：平成16年度～平成28年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
平成16年度(9,755名)	712	758	796	869	952	872	843	810	837	837	756	713	9,755 名
入院者数(28名延べ452日)	2	11	66	16	43	80	52	114	45	17	6	0	452 名
入院率：入院数/延べ人数	0.28	1.45	8.29	1.84	4.52	9.17	6.17	14.07	5.38	2.03	0.79	0.00	4.63 %
平成17年度(9,393名)	571	616	630	646	693	812	894	855	853	929	907	987	9,393 名
入院者数(27名延べ280日)	57	53	21	0	0	33	23	15	53	10	15	0	280 名
入院率：入院数/延べ人数	9.98	8.60	3.33	0.00	0.00	4.06	2.57	1.75	6.21	1.08	1.65	0.00	2.98 %
平成18年度(10,238名)	894	850	893	867	851	817	884	870	868	868	776	845	10,238 名
入院者数(13名延べ143日)	0	8	26	0	0	0	16	43	34	15	1	0	143 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.94	2.91	0.00	0.00	0.00	1.81	4.94	3.92	1.73	0.13	0.00	1.39 %
平成19年度(8,143名)	572	638	632	655	628	618	692	690	746	780	723	769	8,143 名
入院者数(4名延べ44日)	0	0	17	11	7	0	0	0	0	0	9	0	44 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.00	2.69	1.68	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.24	0.00	0.54 %
平成20年度(7,771名)	709	688	630	616	496	464	554	657	732	752	651	822	7,771 名
入院者数(6名延べ40日)	0	12	0	0	0	0	5	0	23	0	0	0	40 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	1.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	0.00	3.14	0.00	0.00	0.00	0.51 %
平成21年度(9,596名)	705	691	703	783	829	864	930	854	855	815	774	793	9,596 名
入院者数(7名延べ50日)	4	1	0	0	6	0	0	6	20	0	2	11	50 名
入院率：入院数/延べ人数	0.57	0.14	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.70	2.34	0.00	0.26	1.39	0.52 %
平成22年度(10,371名)	730	803	823	934	907	902	892	869	914	920	812	867	10,371 名
入院者数(7名延べ45日)	0	4	0	0	12	0	16	8	0	0	5	0	45 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.50	0.00	0.00	1.32	0.00	1.79	0.92	0.00	0.00	0.62	0.00	0.43 %
平成23年度(8,971名)	781	805	740	824	806	747	713	690	726	734	694	711	8,971 名
入院者数(3名延べ61日)	0	0	0	5	0	0	1	4	0	20	29	2	61 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.61	0.00	0.00	0.14	0.58	0.00	2.72	4.18	0.28	0.68 %
平成24年度(7,298名)	447	476	450	528	573	571	638	683	748	700	713	771	7,298 名
入院者数(6名延べ43日)	0	0	0	0	0	0	3	0	6	5	0	29	43 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.47	0.00	0.80	0.71	0.00	3.76	0.59 %
平成25年度(7,688名)	601	558	543	636	625	667	734	690	701	677	601	655	7,688 名
入院者数(2名延べ22日)	0	0	0	0	0	7	0	15	0	0	0	0	22 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.05	0.00	2.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.29 %
平成26年度(7,954名)	621	691	635	641	592	684	692	686	707	682	633	690	7,954 名
入院者数(4名延べ29日)	0	0	4	0	0	7	0	0	18	0	0	0	29 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.63	0.00	0.00	1.02	0.00	0.00	2.55	0.00	0.00	0.00	0.36 %
平成27年度(8,118名)	600	617	602	626	646	655	706	700	744	744	711	767	8,118 名
入院者数(5名延べ46日)	0	0	0	9	6	14	0	0	0	17	0	0	46 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.00	0.00	1.44	0.93	2.14	0.00	0.00	0.00	2.28	0.00	0.00	0.57 %
平成28年度(7,080名)	548	564	574	589	601	585	672	605	609	571	505	657	7,080 名
入院者数(15名延べ146日)	0	5	6	15	41	2	9	30	32	6	0	0	146 名
入院率：入院数/延べ人数	0.00	0.89	1.05	2.55	6.82	0.34	1.34	4.96	5.25	1.05	0.00	0.00	2.06 %

(3) 定期健康診断

(3)-①入所児童定期健康診断

内科検診（年2回）：嘱託医：飯泉哲哉医師

実施日：1回目：平成28年8月24日・2回目：平成29年2月2日

歯科検診（年1回）：片岡歯科医院：片岡俊夫医師

実施日：平成28年2月15日

(3)-②職員定期健康診断（新富士病院）

1回目：平成28年9月2日・9月5日・9月16日

2回目：平成29年2月1日・2月6日・2月14日

(4) 感染症の記録

(4)-①RS ウイルス感染症

感染者数 : 5名 (乳児5名・年齢: 5ヶ月~10ヵ月)

感染確認 : 平成28年8月16日~平成28年8月18日

簡易検査で陽性反応が出た時点で乳児5名を入院させる。

喘息の既往がある9ヶ月児が重症化し、県立こども病院に転院する。

入院期間: 3日~19日

拡大感染防止対策施工期間

平成28年8月16日~平成28年9月20日)

(4)-②感染性胃腸炎

感染者数 : 1名 (職員1名・年齢: 21歳)

出勤停止期間: 平成28年12月23日~12月28日 (6日間)

※診断後~最低72時間出勤停止とする。

拡大感染防止対策施工期間 平成29年1月31日

(4)-③インフルエンザB型

感染者数 : 1名 (職員1名 年齢: 25歳)

出勤停止期間: 平成29年1月13日~1月20日 (8日間)

※最低、解熱後75時間出勤停止とする。

拡大感染防止対策施工期間 平成29年2月20日

(5) 事故記録等

(5)-①事故の記録 総事故数 22件 (対象児童23名) 通院児童 2名

(内訳)

- | | | | |
|-------------|-----|------|-------------------------|
| (1)はさみこみ | 1件 | 通院 | 1件 (厨房入り口のドアで左手第2指を挟む) |
| (2)衝突・転倒・転落 | 11件 | 通院 | 1件 (ベッドから転落、椅子と共に倒れる等) |
| (3)誤食 | 2件 | 通院 | 0件 (アレルギー除去食を間違える等) |
| (4)誤投薬 | 3件 | 医師相談 | 0件 (誤配薬2件・投薬時間の間隔間違い1件) |
| (5)不投薬 | 3件 | 医師相談 | 0件 (配薬忘れ) |
| (6)その他 | 2件 | 通院 | 0件 (誕生ケーキの蝋燭で火傷、風呂で転倒) |

(5)-②児童間の事故 噛みつき報告 総報告数 17件

(5)-③インシデントレポート（ヒヤリハット） 総数 11件

インシデントレポートの要約

No.	年月日	発生場所	発生時間	インシデントの内容	対応
1	平成28年4月16日	1階廊下 押し入れ前	18:30頃	1階廊下の押し入れ前に輪ゴムが落ちていて見つけた1歳女児が口に入れてしまう。暗がりでは何かを拾う仕事をした女児の姿を不審に思いつい口の中を確認すると輪ゴムが出てくる。	子どもの挙動に注意して不審な動きを逃さない。職員は普段使用しないものを子どもの生活スペースに持ち込まない。持ち込んだ場合は管理を徹底し、行方不明になったら見つかるまで探し通す。子どもが寝室に入るまでは廊下に電気をつけておく。
2	平成28年4月20日	おむつ 交換室	19:00頃	入浴介助でドライヤーを使って子どもの髪の毛を乾かしていたら、1歳7ヶ月の男児がドライヤーのコードを引っ張り、引いたコードがタンスの上に置いてあったヒーターを押し出してヒーターが落下する。	ヒーターとは別の場所の低い位置のコンセントをドライヤーに使用する。ドライヤーのコードを子どもの前に垂らさない。ヒーターをしっかりと固定するか、ヒーターを使用しないように徹底する。
3	平成28年4月24日	芝生園庭	15:30頃	午後の外遊び中園庭の滑りに子どもが数人乗っていたが、滑り台を見る職員が1名しかおらず、1歳8ヶ月の男児が滑り台上でバランスを崩して転倒しそうになった。幸い滑り台の下から支えられたので事無きを得た。	滑り台で遊ばせる時には滑り台の上と、下に職員を配置して遊ばせることや、月齢が低くバランスの悪い子どもは低い滑り台のみで遊ばせることを徹底する。
4	平成28年7月1日	プレイルーム 1階廊下	18:45頃	プレイルームで遊んでいた2歳6ヶ月男児が廊下にボールを出してしまい、ボールを取りに行くために窓下の通気口の枠に足を窓から廊下に出してしまう。廊下に出た男児に怪我等はなかったが、すぐに2歳男児がまねを始める。	廊下側の窓は施錠して閉めておく。プレイルームの戸には施錠をしないで自由に外に出られるようにしておく。
5	平成28年8月10日	沐浴室	19:20頃	5歳9ヶ月の女児の入浴介助をしていた新任職員が女児から目を離しおむつ交換室に出てきてしまう。自分に後に女児が着いて出てくると思ったらしいが、女児が再び湯の入った湯浴槽の中に入り遊んでいた。	新任保育士には年齢が高い子だから大丈夫という気持ちで介助をすると大事故につながることを指導する。入浴介助は1対1で、子どもから絶対に目を離さないという原則を徹底させる。
6	平成28年9月5日	1階廊下	13:50頃	2歳男児が午睡から目覚めて居室を抜け出し一人で廊下に出てプレイルームに向かっていった。乳児室③のドアは開いていた。	午睡中はドアをしっかりと閉めておく。玄関や裏玄関への戸や柵は確実に閉めておくように習慣づける。見回り時に起きそうな子がいたらそばで見守る。
7	平成28年12月16日	診察室	7:00頃	生後1ヶ月女児をくるんでいた綿毛布が女児の口に入っていた。また、酸素飽和度測定器のコードが右足首に絡んでいたため、毛布とコードを外した。右足等にけがや変色はなかった。	寒さ対策をするならば正しいくみ方で、毛布が顔に当たらないようにする。正しいくみ方や器具の装着方法を職員に徹底する。注意喚起を行う。
8	平成28年12月25日	厨房	10:00頃	小麦アレルギーのある1歳6ヶ月女児の離乳食を、勘違いして小麦粉を使用してしまった。調理中に気がつき、作り直すことができ、除去食は提供できた。	メニューの確認をしっかりと行う。職員間でのダブルチェックを徹底する。
9	平成29年1月6日	2階和室	14:00頃	小規模ユニットで1名の便を替えるため、和室で子ども達3名だけにしてしまった。色鉛筆でお絵かき中であつたので、壁に落書きをしてしまった。また、鉛筆で体を刺してしまう危険性があつた。	鉛筆使用時は子どもだけにしない事を徹底し、必要なら内線電話で応援を呼ぶなどの方法を徹底する。
10	平成29年2月5日	みどり園裏 駐車場付近	10:00頃	散歩の帰り裏玄関から室内に入っている時、職員が他事の対応で手を離れた際に1歳10ヶ月の女児が駐車場へ入る道路の方へ1人で行ってしまう。厨房で見っていた栄養士が教えてくれて連れ戻す。	散歩に行く時は子どもの手を離さない。裏玄関で点呼をして人数確認を行い確実に園舎に子どもを入れる。
11	平成29年3月27日	裏玄関 西側階段	10:20頃	散歩からの気援護裏玄関で上着や靴を脱いでいると、職員が気づかないうちに1歳10ヶ月の女児と男児が西側階段を登って2階のプレイルームに行ってしまう。転倒などしないで二人で降りてくる。	子どもから目を離さない、裏玄関では点呼などをして子どもの人数を把握するとともに、見守りの手が無い時などは防火扉を閉めて安全確保を図る。

資料3 平成28年度 園外保育実施実績

平成28年度は、ユニット毎の園外保育ではなく、「家庭的」ということを意識して、養育担当者と一緒に3~4名の小グループで、バスや電車などの公共の交通機関を使用しての外出を実施しました。お泊まり保育は本年度も実施しませんでした。園内の生活でも養育担当者と個別に接する機会や、小グループによる行動を奨励し、近隣への散歩等を通して社会性の発達を促進する努力を行いました。

(1) 園外保育の実施状況

年月日	行先	児童数	職員数	備考
平成28年9月1日	原田公園	3	3	小規模 GC: 公用車使用
平成28年9月9日	アピタ	4	2	小規模 GC: 迎えは公用車
平成28年9月28日	田子の浦海に見える公園 イオンタウン富士南	3	3	バス: 行きは公用車
平成28年9月28日	富士市立中央図書館 アピタ	3	3	ひまわりバス使用
平成28年10月3日	イオンタウン富士南	3	3	送迎バス: 迎えは公用車
平成28年10月10日	富士市立原田幼稚園	3	3	原田幼稚園運動会
平成28年10月16日	富士市中央公園	4	4	富士市福祉祭り
平成28年12月17日	静岡市民文化会館	3	3	しまじろうコンサート
平成29年1月18日	イシバシプラザ(沼津市)	4	4	バス・電車使用
平成29年2月21日	イオンタウン富士南	3	3	送迎バス: 迎えは公用車
平成29年3月4日	富士宮浅間神社 イオンタウン富士宮	3	3	公用車使用
平成29年3月9日	原田公園	3	2	小規模 GC: 公用車使用
平成29年3月16日	富士市立中央図書館	3	3	ひまわりバス使用
延べ人数		42	39	※公用車運転手は数に含めず



原田幼稚園運動会：H28.10.10



富士宮浅間神社：H29.3.4

(2) 誕生会・お楽しみ会

- ① 誕生日…子どもの誕生日毎に担当養育者と1対1でお祝いをしました。
- ② 楽しみ会（月1回）…お楽しみ会の時に、皆で誕生日のお祝いをしました。
- ③ 七五三…記念に、美影館さんのご好意で記念撮影をしていただいています。

お楽しみ会（ハロウィン）



誕生日



お楽しみ会（収穫祭）



七五三



資料4 平成28年度 お楽しみ会行事献立及び、年間給食数(単位:人)

			年間延人員、各月給食数	
月	月 日	行事食献立	延在籍児数	延食数
4	4月12日	たまご型おにぎり、から揚げ、うさぎ型ウイナー、人参とサツマイモのごま和え、鶉の卵、野菜ジュース、ゼリー	547	1,637
5	5月5日	三色丼、ハンバーグ、兜のサモサ、人参グラッセ、野菜スープ、オムレット	534	1,595
6	6月14日	かえる型ごはん、まぐろの竜田揚げ、ウイナーとたまごのカタツムリ、春雨スープ、フルーツポンチ	591	1,701
7	7月7日	七夕いなり、照り焼きチキン、そうめん、カキ氷	589	1,713
8	8月9日	おさかなごはん、トマトときゅうりの中華和え、たこさんかにさんウイナー、ぶっかけそうめん、鶏のみそ焼き、麦茶	600	1,671
9		園外保育	584	1,697
10	10月11日	グラタン、ミニおにぎり、ツナサラダ、コンソメスープ、芋コロパフェ	670	1,961
11	11月8日	バーベキュー	601	1,683
12	12月20日	米粉でプレゼント型オムライス、マッシュポテトのツリー、人参の星型グラッセ、トナカイの肉団子、いちごサンタ、春雨スープ、スコップケーキ	608	1,673
1	1月10日	具沢山お雑煮、炊き込みご飯のおにぎり、鶏肉の信田巻き、野菜ジュース、みかん	571	1,656
2	2月3日	鬼のごはん、節分豆のかぼちゃサラダ、鶏の味噌焼き、ポテトの絞りオープン焼き、野菜たっぷり春雨スープ、いちごのパバロア	504	1,427
3		3班に分かれて園外保育	655	1,813
			7,054	20,277

お食い初め献立



BBQ の丸鶏 H28.11.8



資料5 平成28年度 防災対策、避難訓練等の実施状況

(1)地震想定避難訓練（夜間想定訓練 1回） ※消火訓練は毎月実施した。

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成28年5月11日(水)	9:00~	児童14名・職員16名	
2	平成28年7月13日(水)	9:00~	児童18名・職員2名+7名(オザ-ハ-)	夜間想定
3	平成29年1月11日(火)	9:00~	児童16名・職員14名	
4	平成29年3月15日(水)	15:35~	児童19名・職員8名	

(2)火災想定避難訓練（夜間想定訓練 1回） ※非常通報装置を使用し消防署への通報訓練も行う

	実施日	開始時間	参加人員	備考
1	平成28年4月13日(水)	9:45~	児童15名・職員12名	通報訓練
2	平成28年6月8日(水)	9:07~	児童17名・職員2名+8名(オザ-ハ-)	夜間+通報
3	平成28年8月10日(水)	9:00~	児童16名・職員8名	通報訓練
4	平成28年10月12日(水)	9:35~	児童9名・職員9名	通報訓練
5	平成28年12月14日(水)	9:30~	児童13名・職員8名	通報訓練
6	平成29年2月8日(水)	9:00~	児童12名・職員13名	通報訓練

(3)総合防災訓練（訓練回数2回）

	実施日	実施時間	内容・参加人員等	備考
1	平成28年9月1日(木)	8:00~ 16:00	児童17名・職員21名 避難訓練・消火訓練・災害対応訓練 防災備蓄品の点検と入替（午後）	※富士地区 総合防災訓練
2	平成28年11月1日(火)	8:00~ 11:40	児童21名・職員23名 避難訓練・消火訓練・非常食試食等	※雨天のため 計画変更する

(4)職員間通報訓練 ※緊急連絡網等を使用した通報訓練（実施回数1回・法人12回）

	実施日	実施時間	参加人員・訓練内容等	備考
1	平成28年11月1日(火)	8:08~	みどり園職員を対象とした通報訓練	安否コール
2	平成28年 4/1・5/2・6/1・7/1 8/1・9/1・10/1・11/1 ・11/30 平成29年 1/5・2/1・3/1	夜間は 1回 11/30 実施	災害安否コールシステムを使用した通報 ・安否確認訓練（全職員）	※法人 全職員対象

(5)防災用備品の点検・整備等 (実施回数1回)

	実施日	実施時間	内容	備考
1	平成28年9月1日(木)	13:00~	防災倉庫内備品の点検・確認・入替	

総合防災訓練時の設営訓練と炊き出し訓練：平成28年9月1日



総合防災訓練時の傷病者の搬送訓練と消火訓練：平成28年11月1日



資料6 平成28年度 保守点検実施表

検項目	業者名	点検年月日	備考
電気工作物	関東電気保安協会	H28.4.5	年6回
		H28.6.2	
		H28.8.26	
		H28.11.24	
		H28.12.6	
		H29.2.3	
消防設備	サンコー防災 (消防用設備点検)	H28.6.22	年2回
		H28.11.25	
	富士消防用品商会 (消火器点検)	H28.5.17	年2回
		H28.11.16	
給水給湯設備 空調設備機械等	協栄空調株式会社	H28.5.20	年2回
		H28.10.28	
園舎 殺菌消毒	(株)大富士ダスターミック	H28.6.21	年2回
		H28.11.24	
防鼠点検 厨房・食堂	(株)大富士ダスターミック	H28.4.28	毎月
		H25.12	
		H28.6.30	
		H28.7.22	
		H28.8.19	
		H28.9.16	
		H28.10.28	
		H28.11.9	
		H28.12.27	
		H29.1.27	
		H29.2.24	
		H29.3.24	
園舎ドブダニ殺虫施工	(株)大富士ダスターミック	H28.5.12	年2回
		H28.11.9	

点検項目	業者名	点検年月日	備考
電解水生成システム	(株)アオノ テックコーポレーション	4/1.5/18.6/13.7/8	毎月
		8/18.9/16.10/25.11/22	
		12/8.1/25.2/27.3/21	
布団乾燥機	Mana mana	H28.10.28	年2回
		H29.3.24	
貯水槽清掃	ニッケン消毒(株)	H29.3.16	年1回
水質検査	静岡県生活化学検査センター	H28.12.13	年1回
昇降機リフト	クマリフト	H29.2.16	年1回
建築設備等定期検査	王子不動産(株)	H28.11.9	年1回
タッチ式自動ドア	ナブコシステム(株)	必要に応じて	
事務機器	(株)Net		
	(株)ティーケーシステム		

資料7 平成28年 研修会、会議等参加実績

外部研修会参加人数 58名(開催 37回) : 法人内研修会等参加人数 157名(開催 13回)

(1) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会等の県外研修会 参加人数 18名(12回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成28年 6月9日~10日	第51回関東ブロック乳児院研究協議会	高崎市：ホテルトホリタツ高崎	3名
7月15日~17日	第60回全国乳児院研修会	鳥取県：米子全日空ホテル	1名
10月1日~2日	第66回全国乳児院協議会	宮崎県：ニューエルティエー宮崎	1名
11月9日~11日	キリスト教社会福祉同盟ワークショップ	御殿場市：東山荘	1名
11月10日~11日	第35回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	長野県：MIAの長野	3名
11月13日	14th こどもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	東京都：ニッヨーホール	1名
平成29年 3月10日	退所児童等支援事業全国セミナー	東京：全社協灘尾ホール	1名
平成28年 6月16日	関東ブロック乳児院協議会 初任者研修体制勉強会①	横浜市：社会福祉会館	2名
8月18日	関東乳児協 初任者研修体制勉強会②	横浜市：社会福祉会館	1名
10月11日	関東乳児協 初任者研修体制勉強会③	横浜市：社会福祉会館	1名
12月21日	関東乳児協 初任者研修体制報告会④	横浜市：社会福祉会館	2名
平成29年 3月16日	関東乳児協 初任者研修体制勉強会⑤	横浜市：社会福祉会館	1名

(2) 静岡県乳児院協議会・東京都社会福祉協議会乳児部会等の業界研修会
業界研修会等 参加人数 17名 (8回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成28年 4月19日	静岡県乳児院協議会 家庭支援・個別対応職員研修会	静岡県乳児院	1名
5月6日	東京都社会福祉協議会乳児部会新任研修会	新宿研究社英語センター	1名
5月18日	静岡県乳児院協議会 看護研修会	静岡恵明学園	2名
10月19日	静岡県乳児院協議会 栄養調理研修会	静岡県乳児院	2名
12月2日	静岡県乳児院協議会 養育研修会	恩賜記念みどり園	5名
11月10日	東京都社会福祉協議会乳児部会栄養研究会	東京：飯田橋セトアルファ	1名
11月12日	児童虐待防止静岡のつどい	静岡県総合福祉会館	4名
平成29年 1月18日	静岡県乳児院協議会 事務研修会	浜松乳児院	1名

(3) 静岡県社会福祉協議会等の県内研修会
研修会 参加人数 23名 (17回)

年月日	研修会テーマ等	場所	参加人数
平成28年 6月13日	社会福祉法人簿記入門講座	静岡県総合福祉会館	1名
6月13日	給食協会富士支部 衛生栄養管理講習会	ラ・ホール富士	1名
6月14日	平成28年度県指保の会新任職員研修会	静岡県総合福祉会館	2名
7月19日	県社協主催 経理事務応用講座	グランシップ	1名
8月22日	県経営協主催社会福祉法人制度改正セミナー	グランシップ	1名
9月17日～ 9月19日	応急手当普及員養成講座	富士市立中央病院 大会議室	1名
9月29日	静岡県児童養護施設協議会事務職員部会研修会	静岡県総合福祉会館	1名
10月6日	富士圏域社会福祉施設長会初任者研修	ペアステージ・ノイ	2名
10月17日	県社協主催 社会福祉法人予算管理講座	グランシップ	1名
10月31日	社会福祉施設における感染症予防講座	静岡県富士総合庁舎	1名
11月16日	小児アレルギー教室「食物アレルギー」	静岡県立こども病院	2名
11月20日	子どもの頭部外傷、事故か虐待か？その見分け方	静岡県医師会館	3名
12月7日	富士圏域社会福祉施設長会 講演会	ホテルグランド富士	2名
平成29年 1月12日	平成28年度児童権利擁護推進研修会 「措置変更を考える」	静岡県総合福祉会館	1名
2月2日	静岡県給食協会 事例研究発表会	グランシップ	1名
2月15日	県社協主催 社会福祉法人決算実務講座	グランシップ	1名
3月9日	平成28年度児童権利擁護推進研修会 「被措置児童等虐待防止に向けて」	静岡県総合福祉会館	1名

(4) 法人内研修会・園独自研修会等

① 法人研修会等 14名 (4回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成28年 4月7日	法人 新規採用職員研修会	みぎわ園地域交流室	5名
10月20日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3名
11月18日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3名
平成29年 1月24日	法人 普通救急救命研修会	みぎわ園地域交流室	3名

② みどり園独自研修会等 143名 (9回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成28年 4月1日	新任職員研修会「乳児院について」	会議室	4名
6月29日	みどり園 118 救急救命講習会	会議室	14名
9月1日	新任職員研修会「防災/避難体制」	園庭	5名
9月16日	ビジネスアサーション研修会①	会議室	21名
10月14日	ビジネスアサーション研修会②	会議室	21名
10月28日	ビジネスアサーション研修会③	会議室	20名
11月17日	ビジネスアサーション研修会④	会議室	19名
12月8日	ビジネスアサーション研修会⑤	会議室	19名
12月12日	ビジネスアサーション研修会⑥	会議室	20名

(5) 全国乳児福祉協議会・関東ブロック乳児院協議会運営委員会等

県外開催の業界会議 9名 (9回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成28年 4月21日	関東ブロック乳児院協議会(関ブロ乳児協) 平成28年度第1回運営委員会	横浜市社会福祉センター	1名
4月22日	関ブロ乳児協 平成28年度 総会	横浜市社会福祉センター	1名
6月10日	関ブロ乳児協 第2回運営委員会	ホテルメトロポリタン高崎	1名
6月17日	全国乳児福祉協議会 総務委員会	全社協・新霞が関ビル	1名
9月12日	全国乳児福祉協議会 総務委員会	全社協・新霞が関ビル	1名
10月27日	全国乳児福祉協議会 臨時総務委員会	宮崎県：ニューエルティイ宮崎	1名
11月11日	関ブロ乳児協 第3回運営委員会	長野県：ALPA 長野	1名
平成29年 2月9日～10日	関ブロ乳児協 第3回運営委員会	横浜市社会福祉センター	1名
2月25日	全国乳児福祉協議会 総務委員会	全社協・新霞が関ビル	1名

(6) 静岡県乳児院協議会等の県内開催会議
 県内開催の会議等 14名(12回)

年月日	研修会名	場所	参加人数
平成28年 4月11日	静岡県乳児院協議会 平成28年度第1回理事会	静岡県総合福祉会館等	1名
5月10日	東部児童福祉施設長連絡会	みぎわ園	1名
6月28日	静岡県乳児院協議会 定例理事会	静岡乳児院	1名
7月12日	富士圏域社会福祉施設長会	富士市：消防庁舎	1名
8月4日	静岡県乳児院協議会 定例理事会	浜松乳児院	1名
11月2日	富士市民間社会福祉施設連絡会	富士市：市役所	
11月12日	静岡県乳児院協議会 臨時理事会	静岡県総合福祉会館	2名
平成29年 1月5日	静岡県乳児院協議会 定例理事会	静岡県総合福祉会館	1名
2月15日	静岡県乳児院協議会 代表者会議	静岡恵明学園	1名
3月7日	静岡県乳児院協議会 臨時理事会	静岡県総合福祉会館	2名
3月7日	東部児童福祉施設長連絡協議会	沼津リバーサイドホテル	1名
3月8日	富士圏域社会福祉施設長会	富士市：フィランセ	1名

(7) 法人・施設内会議・委員会
 法人・施設内会議・委員会 開催回数 74回

会議名	開催日						回数	備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
法人企画会議	4月20日	5月18日	6月15日	7月20日	8月17日	9月14日	12	※法人会議 副園長出席
	10月19日	11月14日	12月21日	1月18日	2月14日	3月15日		
代表者会議	4月14日	5月19日	6月20日	7月21日	8月23日	9月23日	12	※主任以上出席
	10月21日	11月17日	12月22日	1月19日	2月16日	3月14日		
月例会	4月25日	5月30日	6月27日	7月25日	8月29日	9月26日	11	※12月は感染症 対策のため中止
	10月24日	11月28日	12月中止	1月30日	2月28日	3月27日		
ケース会議	4月4日	5月9日	6月6日	7月4日	8月1日	9月5日	12	※直接処遇職員 厨房職員出席
	10月3日	11月7日	12月5日	1月10日	2月5日	3月6日		
感染症対策委員会	4月13日	5月26日	6月8日	8月10日	10月12日	12月14日	7	※委員を選任
	2月7日							
防災委員会	4月6日	5月18日	7月13日	10月2日	11月24日	1月20日	7	※委員を選任
	3月8日							
第三者評価 自己評価委員会	4月18日	5月16日	6月13日	7月19日	8月24日	9月20日	10	全体会7回 委員会3回
	10月17日	11月14日	2月13日	3月13日				
安全衛生委員会	9月24日	11月10日	1月26日				3	※法人会議

資料 8 平成28年度 実習生受け入れ状況

(1) 単位取得実習 (7校 12名 延べ 135日)

学 校 名	人 員	指定日数	実 習 期 間	延日数
聖隷クリストファー大学	1名	10日	6月1日～6月11日	10日
鎌倉女子大学	1名	11日	8月4日～8月15日	11日
常葉大学富士キャンパス	2名	10日	8月21日～8月31日	20日
静岡福祉大学	2名	12日	9月1日～9月13日	24日
浜松学院大学	2名	12日	9月15日～9月27日	24日
常葉短期大学	2名	11日	10月3日～10月14日	22日
淑徳大学	2名	12日	10月17日～10月29日	24日
合 計	12名			135日

(2) その他の実習及び育児指導

1. 家庭引き取り対応指導 年間延べ 152件 (外出・外泊対応等)
2. 里親委託養育指導等 年間延べ 83件
3. 里親研修 0件
4. 教員体験実習 0件
5. 自主実習 (2日×2名) 4件

資料 9 ボランティア受け入れ実績

(1) ボランティア受け入れ実績 総数 52名 (3団体+個人4名)

1. 子ども虐待防止センター・しずおか 1回 2名
2. 吉原第二中学校ボランティア 18回 39名
3. 大学生ボランティア 4回 7名
4. その他のボランティア 4回 4名
(高校生・夏祭り応援等)

資料 10 平成28年度 家庭支援事業について

(1) 入所・一時保護児の家庭復帰に対する支援

保護者や委託予定の里親に対して、適切な親子関係を構築できるよう面会、電話等で支援を行いました。また、措置機関である児童相談所（処遇の決定やこどもを受け入れる環境を整えるために親族や地域の調整を図る）、福祉事務所、保健センター等の関係機関と緊密に連携し、家庭復帰や、里親委託をすすめました。

個別に対応した件数 539 件

（内訳）

保護者・里親の面会等個別対応	： 190 件
医療・療育機関と調整	： 91 件
他施設への移行準備、施設訪問等	： 51 件
児童相談所・関係機関との調整	： 207 件

(2) 退所後の支援

退所後、家族や地域の中で孤立することなく健全な生活ができるよう関係機関と連絡や調整を図りました。

個別に対応した件数 8 件

（内訳）

保護者・里親の家庭訪問・電話相談・病院付添等	： 4 件
児童相談所等への連絡調整	： 4 件

(3) 子育て短期支援事業（ショートステイ）について

富士市と沼津市との委託契約により、保護者の一時的な疾病やその他の理由によって養育できない児童を一時的に預かる事業を実施しました。依頼があった時に、受け入れや引き取りについて連絡調整や直接接遇を行いました。

連絡調整及び相談件数 34 件

※ショートステイ受け入れ件数 富士市： 5名（乳幼児5名）
延日数：48日（母親1名2日を含む）

(4) 里親への対応 19 件

（内訳）

委託前引継ぎ・家庭訪問・相談	： 18 件
病院への引き継ぎ等	： 1 件

(5) 電話による育児相談 15件

赤ちゃん110番等、一般家庭からの電話による育児相談に対応しました。

(内訳) 育児に関する相談 : 6件 (授乳・夜泣き等)
疾病に関する相談 : 7件 (子どもの疾病を疑う相談等)
その他の相談 : 2件 (一般からの入所相談等)

資料11 平成28年度 施設整備、改修・修繕工事等報告

(1) 施設整備取替・補修等工事(1万円以上)

(2) 実施内容	金額
オムツ交換室自動ドア修理	29,160
プレイルームガラス破損取替	81,000
園舎北側法人駐車場照明修理	28,080
園庭災害非常電源	199,800
// 追加工事	29,160
応接室エアコン取替	162,000
応接室電源工事	24,840
応接室LED照明交換工事	29,700
園舎北側通路すべり止め塗装工事	118,800
居室網戸取替工事	248,400
草刈り機・発電機修理	21,930
ファンコイルチラー改修工事	85,860
リネン室漏水改修工事	41,040
乳児室コンセント改修工事	23,760
子どもトイレ改修工事	10,260
0歳児室等居室敷居改修工事	82,080
園庭スプリンクラー改修工事	272,160

冷暖房ボイラー改修工事	172,800
電解水ポンプ改修工事	108,000
電解水ポンプ部品交換工事	104,760
電解水エア抜き工事	110,160
園庭水道バルブ改修工事	82,080
園内誘導灯ランプ交換工事	22,680
居室ドア改修工事(処分料別)	662,688
浴室・オムツ交換室鏡取付工事	36,720
2階トイレ入口床張替え工事	77,760

(2) 物品購入 (10万円未満)

購入物品	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
デジタルカメラ	2台	行事用・入退所記録用(児童)	26,762
加湿器	4台	居室(児童)	27,920
炊飯器(一升炊き)	1台	厨房(職員)	11,210
消火器	3本	園内(職員)	17,172
草刈り機	1台	園内外(職員)	21,384

(3) 固定資産報告 (10万円以上)

(3)-①建物取得支出

内容	数量	設置及び使用場所(使用者等)	金額
冷房用チラーユニット	1式	ボイラー室	2,484,000
セキュリティードア	1カ所	厨房西側(職員)	324,000
防災型非常用発電装置	1式	園舎西側(児童・職員)	9,763,200

(3)-②器具および備品取得支出

内 容	数量	設置及び使用場所（使用者等）	金額
LANDISK・無停電装置	各1	事務所（職員）	234,360
ファンコイル	5台	居室(児童)	810,000
血中酸素飽和濃度測定器	1台	居室(児童)	125,604

資料12 平成28年度 施設運営改善等

(1) 苦情・要望受付

・処遇、運営に関する苦情・要望等 0 件

(2) 人事考課実施

人事考課を実施し、結果について職員への個別面接を実施し、平成29年度の職員の給与へ反映させました。

(3) 自己評価

平成28年度も毎月1回の開催を目標に、自己評価委員会を開催し、みどり園の現状を評価項目と照らし合わせた自己評価を実施し、平成27年度に作成した中長期計画との比較・修正を行い、改善に向けて新たな中長期計画を作成しました。

自己評価委員会： 年10回実施

(4) 福祉施設第三者評価

平成28年度は法定である社会福祉施設第三者評価の受審年度であるため、園内で実施した自己評価結果を基に、第三者評価を受審いたしました。

第三者評価受審日：平成28年11月21日（月）～11月22日（火）

評 価 機 関 ： 有限会社セリオコーポレーション

第三者評価結果の公表事項(乳児院)

①第三者評価機関名

セリオコーポレーション有限公司

②評価調査者研修修了番号

Sk16016、SK151001

③施設の情報

名称：恩賜記念 みどり園	種別：乳児院	
代表者氏名：内藤 順 敬	定員（利用人数）：30人（暫定 26人）	
所在地：静岡県富士市今泉 2220 番地		
TEL：0545-53-5665	ホームページ：http://www.fuyoukai.org	
【施設の概要】		
開設年月日 昭和 27 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 芙蓉会		
職員数	常勤職員： 25 名 非常勤職員 11 名	
専門職員	看護師 5 名 個別対応職員 1 名	
	家庭支援専門相談員 1 名 栄養士 2 名	
	保育士 19 名 嘱託医 1 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室（3） ほふく室（1）	沐浴室 おむつ交換室
	小規模養育室（1） 遊戯室（2）	食堂 調理室
	母子生活室（1）	診察室 観察室
		調乳室 ナースプール

④理念・基本方針

- 1) キリスト教隣人愛に基づく子ども至上主義…いかなる時も子ども最優先の対応を心がける。
- 2) 隣人愛に基づく職員と子ども、職員相互の支え合いで信頼関係の構築をめざす。
- 3) 子どもたちの権利を守り、子どもにとって良いこと、必要なことは何でもやってみる。
- 4) 基本的生活習慣や自立の躰は、生活の中から生まれることを基本として養育する。
- 5) 園外保育や様々な経験や通じて社会性が助長されるような養育環境を提供する。

⑤施設の特徴的な取組

24 時間 365 日の体制で、家庭での生活が困難な子どもたちの受け入れを行っている。

「子どもたちの心を守り育てる」をテーマに、措置変更時の心理的な負担軽減のための受け入れ先との移行準備や、発達に課題があり、措置変更先が見つからない子ども達への養育支援に力を入れており、乳児院から幼稚園に通わせている。また、家庭的な生活を目指し、職員と一緒に食事をしたり、夕食後の入浴などの取り組みを行っている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 28 年 6 月 27 日 ~ 平成 29 年 3 月 30 日
受審回数(前回の受審時期)	1 回 (平成 25 年度)

⑦総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>◇福祉サービスの質の向上を図るための取組みの充実</p> <p>第三者評価基準を基に職員全員で自己評価を行い、自己評価委員会を定期的に開催して、自己評価の結果を分析・検討しており、その中から課題を抽出して計画・目標を策定（P）、計画を実施（D）、実施後の評価（C）、計画・目標の見直し（A）を行うPDCAサイクルに基づいた取組みを組織的・計画的に行っている。</p> <p>◇感染症の予防と対応策の充実</p> <p>感染症の予防策として数年前より電解水生成システムを導入し、食器や衣類等の消毒を通年で実施しています。定期的に感染症委員会を開催して、感染症の予防と発生時の対応についての職員研修を行っており、マニュアルに基づいて徹底した取組みが行われている。</p> <p>◇養育・支援の実施方法の標準化</p> <p>標準的な実施方法を「養育マニュアル」として文書化しており、研修やOJT指導を通して職員への周知徹底を図っています。新任職員等が標準的な実施方法にもとづいて養育・支援を行っていることを検証するため、チェックリスト等を用いて確認しながら標準化を図っている。</p> <p>◇夜間の安全確保の体制の充実</p> <p>夜間の安全確保のため、チェック表を活用して15分おきに子どもに触れて安否確認をしており、1歳未満の子どもはネオガードを使用し24時間体制で安否確認をしている。</p> <p>◇新しい手法による職員研修</p> <p>子どもの愛着関連行動評価の中の「気になる行動」に対応した有効な関わりを学ぶため、小児精神科医による「ビデオカンファレンス」という形での研修を行っている。</p> <p>◇改善を求められる点</p> <p>◆家庭的養護の推進</p> <p>家庭的養護の推進と支援の個別化を図るため、小規模グループケア・担当養育制・養育単位の小規模化・玩具の個別化等に取り組んでいるが、家庭的な養育環境や養育の形態を検討して家庭的養護の推進を図り、小規模グループケアの実施に向けて、全国の乳児院のリーディングモデルとなることが望まれる。</p>

◆マニュアルの見直し

マニュアルの見直しについて、実態と異なるマニュアルについては変更して書き換えをする等、総合的にマニュアルの見直しを図ることが望まれる。

◆権利擁護に係わる取組み

会議や研修を通して権利擁護に係わる注意喚起をしているが、「被措置児童等虐待対応」に関連する、被措置児童等虐待の届出・通告制度の内容を職員が充分理解して、日常的に体罰等を意識した取組みの充実を図ることが望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

このたびの第三者評価の結果を真摯に受け止め、認可以来65年余の当園の歴史に基づく、養育技術の再検証を行い、後世に伝承すべきものを精査しながら、乳幼児の安心・安全を守る最後の砦としての乳児院の役割を果たすべく、今後の支援環境の整備等に努めていきたいと思っております。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

特別養護老人ホームみざわ園

事業概要報告

H28 年度は全体事業として、比較的安定した事業内容であったと思います。特養部門について入所基準の介護度Ⅲ以上の入所を原則とする指針に基づいた結果、当初懸念されたように新規入居の方々の身体的重度化が顕著であり、その心配が入居者の疾病への要看護を強く必要とする特養の入居生活の部門でありました。



本栖湖芝桜まつり見学ショートスティの皆様

この結果、在籍期間が比較的短くなる傾向が見受けられます。(H27 年以前 2.4 年、H27 年以後 0.11 年)在宅系サービスにおいては、各事業提供責任者の努力により安定した稼働実績がありました。ただ年明け 1～2 月にかけて感染症流感の影響でショートスティの利用を一時休止した事態もあり、時季を見据えた利用者への対応(予防処置等含め)が必要で反省する処でありました。また包括支援センターとしては、年度当初より富士市が独自に始めた「介護予防・日常生活支援総合事業」(介護予防提供プラン)に振り回されながらも試行錯誤の中、実績を上げてきました。よろず相談所的な存在の中でも業務内容を整理しつつ取り組んできたと思います。

全体の事業経営面からは、年間を通して介護人材の不足があり人件費の伸展がなく、現場への負担が大きかった点であります。このような中でも「人を育てる」を基本とした人材育成に努力がみられ、新人教育、資格取得研修、関連施設見学研修等必要とする資質の向上と充実が図られました。

年度後半には、介護環境整備の導入と職域資格制の改定、介護勤務負担の軽減を柱とした勤務体制変更を実施しました。資格職の業務(資格)手当の改変と整備、長時間夜勤労働からの脱却を図るべく夜間勤務の 16 時間拘束から 8 時間夜勤制へと勤務編成を変更し、準夜深夜勤の夜間 2 交代制と日勤 3 交代制に改編し現在試行中であります。一般経費の関係では、光熱水費特に都市ガス料金、電気料等 3 ヶ年計画での LED 化、天然ガスの価格調整等が当初予想した大物経費の削減へと繋がり、当該年度経費削減目標をクリアしたと判断しています。収入支出のバランスから収入益も図られ、次期中期計画への原資として施設整備積立金の組上げを実行しました。

ただ介護人材の確保が急務であり、引続き人材補充の対策を講じてこの対処を進めていく努力を図るとした報告であります。

実施報告 I

1.「業務の達成感」「心の安定」の養成のため、定着性のある職場づくりの充実を図る。

人材育成については、新人教育「プリセプターシップ」の導入3年目、この手技の理解を深めながら進められ、又業務上必要な資格の取得に向けた研修、資格取得を計画的に行い、認知症実践者認定、ユニットリーダー資格等の研修出張等職員の資質向上と職場づくりを図りました。

2.法人内老人介護施設部門の人件費の改定を進める。

H29年度の改定に向け作業を進め、資格給（介護福祉士、看護師等、ケアマネ、社会福祉士、管理栄養士）等の業務資格手当、処遇改善手当、夜勤手当（準夜・深夜勤）の見直しと改善を策定する中、人事院勧告に併行して措置施設と介護保険施設事業とを分けた給与改定を行いました。

3.みぎわの里の事業展開と安定した経営状況の確保。

開所2年目を経過し、予定の登録人員も徐々に伸ばし10月に登録者の確保がされました。ただ、みぎわの里本来の業務である訪問介護等の動きに欠ける点もあり、登録者の事情での通い（デイサービス）と泊りとの調整に検討の余地を残しています。

4.特色あるデイサービスと介護予防支援への介護事業の検討等を進める。

通所介護の提供サービスについて試行錯誤をしながら進めた1年でした。未だ、その方向については検討を継続しての進行形であります。予防支援については、包括支援センターを中心に富士市の独自事業をもって、地域ケアシステムを念頭にH29年度へ新たな検討が進められています。

5.看取り介護の内容充実と家族との一体感をより進める。

今年度は、退居者15名中11名の方々を看取る形で進められました。ご家族より「無理のない余命での生活を望みたい」として要望も強く、職員との連携を図り共に見守り、看取ることが出来ています。多くのご家族からは、心のこもった感謝の言葉や、メッセージを頂いています。今後も「死すること」への尊厳と敬意をもって、慣れる事なく看取りケアの充実に努めている報告とします。

実施報告Ⅱ

1.電灯設備のLED化を進める。

3ヶ年計画での電灯設備LED化を進める初年度計画を1階2ユニットと他部屋の直感型電灯設備の改修設置を実施しました。結果、従来の電灯料、電力量の軽減化図られ、夏場と冬場の荷重がかかる時期の過剰電流を感知する警報回数が減る傾向でした。引続き電灯設備のLED化を進める予定としています。



居室内のLED照明設置

2.大型特殊浴槽の設備更新を進める。

開設以来13年経過した大型機械浴装置及び浴槽の効率的と省力化を図るため、加えて天井に設備された給湯タンクの撤去と併せての工事（1F南、北ユニット・ショートステイ）で実施しました。個浴を効率的に介護の負担軽減を図る上での実施となり、国の働き方改革の一貫で補助金対象となり、この結果コンパクト化を図り環境整備にもなっています。



大型機械特養装置



ヌクティ×2台



シャトル×2台

3.消音型非常用発電機の設備更新を図る。

次年度へ保留として実施計画を進める。

4.給食施設、厨房設備の整備と見直しを図る。

給食事務室の手狭さを解消するため、事務所の増設を図り同環境の整備を図りました。厨房の整備については、食事提供の一時休止等の段取りもあり H29 年度への持越しとしました。



給食事務室の増設

5.身障者用送迎車両の配備を進める。

H15 年配備の送迎普通車両の老朽化解消と効率よい送迎実施のため、H28.12 月（ニッサンキャラバン）の配備を実施しました。また旧車両についても総合点検保守を行い送迎及び多種レクリエーションに利便性と機動性の高い利用でこれに供しています。



送迎車両ニッサンキャラバンを配備



南・北非常階段の全塗装修繕



医務室ナーステーブルを配備

介護部門

実施報告

1. 新人中堅職員が、役割を通して自ら成長していけるように外部研修機関等主催の研修への参加、施設内研修、伝達講習と更なる充実を図る。

年間研修計画に沿って進められ、施設基準内で決められた研修受講をはじめ、新人職員向けの初任者研修、中堅職員向けの介護スキルのステップアップにつながる研修、資格取得に向けた長期間での研修等、人員不足の中でも資質の向上に向けた研修は実行されています。

2. プリセプターシップ（新人教育）の定義と取組みをより充実し、指導担当者の教育計画に基づいての養成の強化と充実に努める。

新人職員に対して、プリセプターの認定資格を持った指導者によって 1 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月、1 年としたスケールで指導者と共に動きを見ながらの指導と、都度の面談を通して個人の業務姿勢、介護支援におけるスキルなどを教授し、一職員として所属内の定着と介護の質を高めています。

3. 看取り介護の技術支援のため、様々な身体的、精神的な変化への対応、本人及び家族への心の援助、多職種との役割分担と方法、環境づくりなどの研修を進め共有できる教育体制を整備する。

今年度は、15 名の退居者中 11 名（7 割）の看取り介護を希望される方ありました。死する事への尊厳を理解して、そこに至るまでの施設内で出来る限りのケアを家族と共に、多職種が協働してその難しさを認識しながらの実践でした。息を引き取るその時まで入浴を家族と共に、日光浴を職員と共に、生きていた証しを確認しての介護であります。多くご家族からは、「私達では出来ない限りの介護を頂き、感謝の言葉もありません」等々のご挨拶の中に携わった職員の心に安心を頂いています。

4. 新規入所、長期入院による空床期間の短縮化を看護課と連携を図り一層の稼働率アップを目指す。

年平均しての入所稼働率 99.6%として稼働を果たし、多くの待機者へ介護提供ができるよう空床期間の短縮を図るため、相談員、看護介護との共同で入居の手続きを実行しています。ただ国の入所基準に沿った介護度Ⅲ以上の入居判断は身体的重度化が顕著になってくる傾向にもあります。

看護部門

実施報告

- 1.意思及び多職種との連携を図り、ご家族への報告、情報の共有をして信頼関係を築く。

入居者の状態変化を医師へ正確に情報提供し、ご家族へも随時報告することで信頼関係を築く事ができました。又、多職種間で情報を共有することでより良いケアへ繋げていくよう努めました。

- 2.看取り看護において命の尊厳とご家族との連携を図り、その人らしい終焉を見守る。

ご家族とのコミュニケーションを大切にし、多職種との連携を図りながら、穏やかに、その人らしい終焉を迎えられるよう努めました。

- 3.感染防止の周知徹底と伝達講習会を実施する。

感染対策伝達講習会は、定期実施が定着しています。1月にショートステイでのインフルエンザ流行により、利用停止の事態となりました。感染疑いのある利用者に対する早期の対策と、職員の健康チェック、塩素滅菌消毒等により防疫体制の強化に努めました。

- 4.QOL 委員会を通して連携を図りより良いケアにつなぐ。

委員会を通じて、褥瘡のある方の情報を共有し、対策の検討をして早期治癒に向けてケアしていく事が出来ました。今後も基本的な日常ケアの充実を図る事で、褥瘡予防にも努めます。

1 南ユニット（いせ・みかわ）

実施報告

- 1.入居者様、ご家族と楽しめるレクリエーションを考え実施する。

レクリエーションのプラン、実行へはまだ体制が整わず、職員個々の計画はあるが起案するまでには至らずの経過でした。来年度は当番制として様々なレクリエーションが行えるように、これを勧めます。

- 2.入居者様のニーズを引出し、笑顔で過ごせる環境を作る。

ニーズを引き出す事が出来た時は、対応する事が出来ましたが、まだそこまでに至っていない入居者様も多い所で、もう少し工夫を要して行きたいと思っています。

様々な関わりの場面で笑顔を多く見ることが出来ましたが、まだ、充実

していない時間も残ってしまっています。来年度はもっと多くの笑顔を引き出す努力をします。

3.多職種と連携し、「ほう・れん・そう」の徹底できる関係を築く。

多職種で関わるという意識をもって「ほう・れん・そう」を心がける事ができました。

4.入居者様の日々の様子を観察し、ヒヤリハット等の検討、改善の話し合いを行う。

重要な部分の話し合いはユニット会議等で検討する事が出来ました。今後は更に細かい部分まで掘り下げて行けるよう意識を高めたいです。



広見公園へ散策



干し柿づくり風景



お正月書初め会

1F北ユニット（するが・さがみ）

実施報告

1.入居者様へは笑顔で、明るい話題を込めた言葉での声掛けと、個々への声掛けを心掛ける。

入居者様への声掛けは、必ず職員が隣に座り、話しかけながら業務をこなし共に過ごす努力しました。また居室で過ごされる方に対しては、ナースコール等で呼ばれた時だけでなく、なるべく多く会話を心掛けました。

2.少しの時間を利用して体を動かす機会をつくる。

昼食前のラジオ体操は、習慣になってきました。自分で動かすことが出来ない方、拒否的な方にも積極的に声掛けして、わずかな運動へのサポートしながら進めています。

3.今よりも心地よい生活の提供ができるよう日々の生活への充実感を提供する。

認知症の程度により席を考慮する事により、会う度に挨拶をしたり、相手を心配する発言があったりと生活での社会性が感じられました。また程度の問題でのケアの取組を見定め、夫々の行動、周りの環境などを見定めながらテーブル席の配置などを検討中です。

4.入居者の好きな物、楽しめることを見つけます。

居室で過ごすことが多い入居者様には、一人作業的なちぎり絵や洗濯物たたみを依頼すると、長い時間集中してできることが分かりました。また「手伝うことがあったらいつでもやるよ」と前向きな発言も聞かれました。今後については動物や子供に触れる機会も検討していきます。



富士福祉展作品づくり



福祉展完成作品

2Fユニット（くすのき・もくせい）

事業報告

1.明るく、個性豊かに心とらぐ日々の生活を目指し、季節感が感じられる楽しみ作りと家庭的な雰囲気づくりに職員一丸となって務める。

入居者様とのつながりを大切にして笑顔のあふれる環境づくりに努めることができ、季節の感じられるレクリエーション、外出などができました。これまでの生活と変わらない家庭的な雰囲気作りをしていく努力を進めています。

2.入居者の自己決定、自己実現を尊重し思いやりの心、ぬくもりの感じられる介護支援への実践を進める。

入居者様の自己決定・自己実現にむけて職員一人ひとりが、今後も引き続き支援できるようにして行くように進めています。

- 3.専門職としての自覚を持ち介護スキルや質の向上に努め、団結力と思いやりを大切にする。

入居者様に対してご家族、職員間での連携に沿って、私たちの介護スキルと介護の質を確認しながら繋がり、ハウレンソウ（報告・連絡・相談）を確実にすることによりと信頼の持てるケアを心掛けました。

3Fユニット（あしたか・あまぎ）

実施報告

- 1.報告・連絡・相談を徹底する。

幾度か職員間の連携ミスがありました。今後は確実にできるように職員同士の声の掛け合い、連絡ノートへの活用としっかりした記入を心がけました。

- 2.ご家族との関係性を密にし、入居者様に合った支援が出来るようにご家族からの要望を取り入れながら協働して介護を行っていく。

ご家族との関係は、日頃話をたくさんするよう意識を持ち、良い関係性が築けているようになってきています。入居者様の生活においてもその方のリズム、性格を理解し要望に沿ったケア対応ができたと思います。ただ意思疎通が図りにくい方へのケアをもう一度見直しながら、その方の思いを汲み取っていくよう努力します。

- 3.職員のチームワーク向上を図る。

職員間のチームワークも向上しつつあり、理解し助け合い、意見交換ができるよう職場環境の改善にも取り組んできました。全体として次年度も入居者様にとって安心できる居場所となれるよう、その方らしさを尊重し関わりを持ち続けていきたいと思えます。



おやつ作り（クレープ）



ハロウィン仮装大会



秋季大運動会

ショートスティみぎわ園 事業報告

1.看護と連携をとりながら個々の体調管理に努め、安心、安全に過ごして頂く。

情報の共有や改善点などお互いの職種間での意見交換など出来ました。今後も意見交換含め情報の共有を密にして安心安全に利用して頂けるよう努めます。

2.誤薬〇を目指す。

配薬ミスを含めて誤薬が9件と昨年度より件数が増えてしまいました。主に食前の服薬忘れが多く、配膳車に食前薬忘れ防止の札を貼ったり、職員間での声掛けなどの防止策を継続し誤薬防止に努めました。

3.ご家族、居宅ケアマネジャー、他施設と情報の共有・交換を行い個別ケアの向上を目指す。

利用時の様子、他での様子など他施設でのケア方法などの情報共有を積極的に行えました。今後ショート独自のケアプランを作成し個別対応の充実に努めます。

4.レクリエーション、季節行事を積極的に取入れその充実を図る。

日常レクの継続や四季に沿った行事を行うことが出来ました。また100歳の方のお祝いや独自の敬老会、忘年会など心温まる催しも出来ました。これらも継続して内容を更に充実させ喜んで頂けるよう努めます。

5.利用者、家族に対し、気持ち良い挨拶をする。

職員一同笑顔でのご挨拶、対応ができました。これを継続していきます。

6.稼働率90%を目指す。

多職種連携にて平均稼働率92.4%(18.5人/日)と目標達成できました。数字に拘らず利用者、ご家族目線でのケアに努め利用者、ご家族、ケアマネに選ばれるショートスティにします。

7.ケアに携わる全ての職員間での情報共有を徹底し、統一した個別ケアを目指す。

理解しているものとの認識で情報が前後してしまう事が何度かありました。課題を探り共有方法の見直しを図ります。



ご利用者 100 歳の誕生祝い



納涼会スイカ割り

デイサービスみぎわ園

事業報告

- 1.地域密着型認知症対応型デイサービスを知っていただくような広報活動の実施。

具体性がある広報活動は未達成でしたが、地域密着型運営委員会のメンバーとして参加し第三者委員の方々との懇談、ご家族との対話の中で認知症デイサービスの有り様を少しでも理解されたと思います

- 2.サービス提供のみならず、ご利用者ご家族との良好な関係づくり。

ご家族の方々は土曜日を利用して、ご利用者の様子を見学に来られていました。このような機会を作りながら、提供サービスの理解を深めさせていただきました。また利用日に入居中の奥様の特養フロアへ面会など会うことの楽しみもあり、特養スタッフとの協働ケアの実現でした。

- 3.ご利用者ニーズに沿って季節行事や野外活動、定期的な外食企画等活動に反映していく。

介護内容の希望アンケートを取り、これらのニーズに沿って様々な活動を実施しました。特に定期的実施する外食の企画は、普段では見られない一面を見ることが出来ました。

- 4.利用人員の営業日平均 9.6 人、稼働 80%を目指す。

目標の平均稼働率 80%は達成できませんでしたが、登録者の僅かなキャンセルでも影響の出る事業稼働で、稼働 77.4% (9.3 人/営業日) を維持できスタッフ努力の賜物であると思われれます。



外食レクでは普段にも増して食欲旺盛でした

ふようデイサービス 事業報告

H28年度は、新しい時代に向け職員一人ひとりの発案を大切に行事、業務に反映し取り組んできました。通常サービス提供時間のほかに入浴を目的とした方々に対応するため、短縮時間での営業も追加し他居宅事業所のケースが増えました。

1.営業 1日あたり平均利用人数 24人、稼働率 80%を目標とする。

予定実績には達成できず、年平均稼働率 68.2% 平均利用人数 20.4人で年間利用率が推移しました。地域でのデイサービス事業の過当競争の中、更なる検討を必要としています。

2.入浴サービスの充実を図り、集客を目指す。

入浴を希望するご利用者へ提供時間の短縮などを併せた利用も取入れ、身体状況に応じた利用を提供できました。これらの変則サービス等を取り入れた事で、個別でのサービス提供ができ希望される方々にも対応できました。

3.利用者の満足度調査を行い利用ニーズに応える。

アンケート等に沿ったニーズに対応して、野外レクリエーション、機能訓練を取り入れることが出来ました。充実した季節行事を企画発案、月に一度大きなレクリエーションを行うことが出来ました。ボランティアの方々の協力もあり、イベントの開催も目玉のひとつとして行うことが出来ました。



納涼祭 流しそうめん



敬老会



富士市福祉展見学



クリスマス会



初詣

【 ボランティア 】



書道



茶きり夢恋人



ピエロ劇

看護小規模多機能施設 みぎわの里 実施報告

- 1.職員やご利用者とのコミュニケーションを深めるため、笑顔で挨拶。
行事やレクリエーションを通して、ご利用者とのコミュニケーションを深め、職員ご利用者共々笑顔で過ごすことができました。
- 2.多職種と情報共有し、報告・連絡・相談を徹底。
カンファレンスや申送りノート、介護看護情報ファイルにて情報共有して多職種連携に努めました。
- 3.地域行事へ参加し、気軽に立ち寄れる「寄り合い処」になれるよう心ある支援を行う。
地域防災訓練、地域サロンでの「みそ作り」等にご利用者と参加して交流が図れました。いきいきサロンでは感染防止対策の講習を行うなど地域

との関わりを持って動くことが出来ました。

4.協力医との連携を図り、医療ニーズの高い方への在宅生活を支援する。

主治医と連携をとって訪問看護に伺い、ご家族と共に在宅生活を支援することに努めました。

5.感染防止対策（標準予防策）を周知徹底する。

数名の職員とご利用者がインフルエンザに罹患をしたが、標準予防策を徹底し、蔓延することなく終息することができました。

6.登録人数 22 名、稼働率 80%を目指す。

3 月末で登録人数 23 名平均 78.3%、各利用稼働率が通い 75.9%(11 名)、泊り 52.7%（4.7 名）当初目標とする稼働には至りませんでした。



春の小運動会



納涼祭 流しそうめん



敬老会 舞踊ボランティア

ふよう居宅介護支援事業所

総括として、主任ケアマネ等退職などで職員層の変動があり、経験年数の浅いケアマネが増え、困難なケースが多くは対応出来ないような体制でした。また、ご利用者様の年齢層も 90 代の方が多くなり、病的背景が強く在宅サービスの継続が難しく、療養型病院、有料老人ホームへと移行され、新規ケースの継続が少なくプラン件数の増まではいたりませんでした。但、各ケアマネ共に従来のご利用者とのより信頼関係濃い対応が築けたように思います。

実施報告

1.平均担当件数 32 件を目指さず。

平均担当件数 29 件/1 人当り（予防を含む）でした。目標件数を達成で

きませんでした。予防支援件数は吉原西部地域包括支援センターからの委託件数増、介護より支援へ移行される方が多く件数は増えています。

2.法人内事業所間との連携調整を行い稼働率の向上を目指さす。

デイサービスやショートステイとの情報交換や意見交換はその都度行ったが、全体での調整を行う場が少なかったです。次年度に向けて各利用者への統一したケアが行えるよう会議等の検討を考えています。

3.事業所内での担当変更等スムーズに移行する。

今年度も数件の担当変更を行いました。ご利用者ご家族への負担も少なくスムーズな移行ができました。

4.介護保険法改定に伴うご利用者ご家族への解り易い説明を行います。

今年度は富士市の「総合事業」が開始されました。全職員が同事業の趣旨や制度を理解し、ご利用者やご家族に対して分かりやすく説明をして、介護予防事業の移行は問題なく行えました。

5.研修等における自己研鑽について

定期的な事業所内研修や吉原西部包括支援センター主催による勉強会や事例検討会へ参加しました。継続して介護支援専門員更新研修や自己研鑽に繋がる県主催研修への参加を計画し、ケアマネ各々のスキルアップを図ります。

吉原西部包括支援センター

平成 28 年度は、富士市での総合事業のスタートに併行して、従来該当対象者のチェックリストの作成と実施、希望での総合事業への移行手続きとプラン作成を行う事務作業に追われました。エリア内居宅介護支援事業所、介護提供事業所、医療機関、地域の民生児童委員協議会、地域福祉推進委員会等との連携とネットワークの強化を図るべく以下の事業を進めて来ました。

1.総合相談事業について

身近な相談機関としてワンストップサービスを徹底して、移動相談窓口としては吉原商店街『一の市』に出向き、店先を借りて地域課題の発掘も行いました。相談件数としては、延 628 件の相談に対応しました。

2.介護予防ケアマネジメント事業について

直営の要支援の方への予防プラン作成、委託プランの方に対しても担当者会議には必ずしての活動を行いました。総合事業内に含まれる介護予防、生活支援サービスについては、電話での勧誘からアセスメントそして評価までの過程を確実に行いました。※資料 1・2 参照

3.権利擁護事業について

虐待ケース等に対して早期対応を徹底して、解決に向け取り組みました。権利擁護相談(成年後見、消費者被害含)8件、虐待相談9件の相談に対応しました。

4.包括的継続的ケアマネジメント事業について

地域の居宅支援事業所ケアマネジャーの方々の支援(アドバイスを含む)活動を101件対応致しました。

5.認知症サポーター養成講座について

年間12回開催、延379名のサポーター養成を行いました。エリア内ではキャラバンメイトの方々と座談会を行いながら、ネットワークの推進に努めました。

6.個別の問題に対して

地域ケア会議を6件、エリア内の居宅支援事業所、施設ケアマネの方々を対象に総合事業について理解、業務上の質の向上を目的として研修会を開催致しました。



エリア内 CM 研修



介護予防教室



キャラバンメイト座談会

添付資料 1 : 介護予防給付実績件数状況

直営件数	1,161 件
直営内： 総合事業件数	(587 件)
委託件数	2,531 件
委託内： 総合事業件数	(173 件)
総合計件数	3,692 件

添付資料 2 : 介護予防・生活支援サービス事業実施状況

事業	教室名	回数	参加者総数
介護予防 生活支援 サービス事業	脳の健康教室 (1 教室 10 回)	1 回	95 名
	介護予防教室 (1 教室 3 回)	5 回	179 名
	脳いきいき教室 (1 教室 3 回)	3 回	78 名

介護保険事業所関係資料

資料1 平成28年度面会者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
面会者	551	644	597	613	721	688	522	479	496	544	383	492	6,730

資料2 各事業所利用者平均年齢及び平均介護度（平成29年3月末）

		特養	ショートステイ	みぎわデイ	ふようデイ	みぎわの里	ふよう居宅
年齢	男	86.3	84.7	84.0	84.2	77.2	82.8
	女	84.7	87.9	79.7	87.7	87.2	84.5
	平均	86.8歳	87.3歳	81.2歳	86.7歳	82.4歳	84.0歳
介護度	男	4.05	2.71	3.40	2.13	2.73	1.81
	女	3.79	2.78	4.11	1.98	3.25	1.62
	平均	3.85	2.76	3.86	2.02	3.00	1.68

資料3 特養平均入居期間（H29年3月31日現在）

男性：41.9ヶ月（3.5年）	女性：45.7ヶ月（3.8年）	平均：44.8ヶ月（3.7年）
-----------------	-----------------	-----------------

資料4 特養入退居者件数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居	1	1	1	0	1	3	1	3	1	1	0	1	14
退居	1	1	1	1	1	3	1	2	1	1	0	2	15

資料5 年度別特養入退居者及び入院者数

(単位：名)

	H24年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
入居	27	21	23	18	16	14
退居	28	20	23	18	16	15
入院	14	19	21	18	15	6

資料6 外来受診一覧表

受診医療機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青葉クリニック	5	19	9	10	17	8	15	4	8	20	30	9	154
富士中央病院 内科	1	1	2		1	2	2	1	1	1	1	1	14
整形外科	1		1										2
泌尿器科	2		1	1		2	2		3		1		12
救急外来		1						1				1	3
婦人科				1									1
循環器科		1						1					2
眼科		1					1	1					3
外科	1	1	1			1	1		1				6
形成外科			1	1	2	1	1						6
皮膚科	1	2	2	1	1		2	1	1	1	1	1	14
聖隷富士病院 内科													0
眼科		1	1	5									7
外科	3	6	6	3	2	1						1	22
整形外科													0
循環器科													0
皮膚科													0
泌尿器科												1	1
鈴木整形外科			1		2								3
上田クリニック							2	1	1	1			5
かみで耳鼻科													0
救急医療センター		1				1							2
鷹岡病院											1		1
渡辺病院整形外科													0
池辺クリニック	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
横割皮膚科クリニック	3					1	1						5
いきいき富士病院								1					1
戸田整形外科		5	8										13
前田整形外科	2	3		6	6	1	2		1	2	1	5	29
富士脳研病院												1	1
受診合計	21	45	36	30	33	20	31	13	18	28	36	22	333

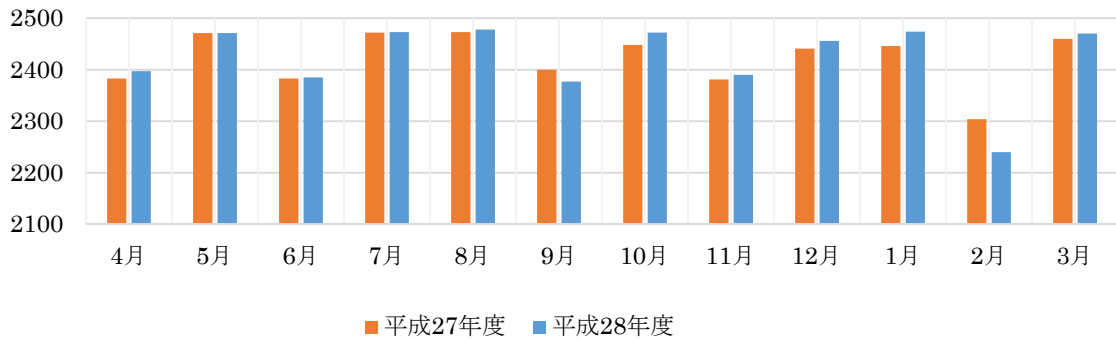
資料7 各事業所稼働率 対前年度比表

1. 特別養護老人ホーム みぎわ園

(入居延日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27年度	2383	2471	2383	2472	2473	2400	2448	2381	2441	2448	2304	2460	29064
H28年度	2397	2471	2385	2473	2478	2377	2472	2390	2456	2474	2240	2470	29083
28-27	14	0	2	1	5	-23	24	9	15	28	-64	10	21
稼働率	99.9%	99.6%	99.4%	99.7%	99.9%	99.0%	99.7%	99.6%	99.0%	99.8%	100%	99.6%	99.6%

特養稼働実績 (対前年度比)



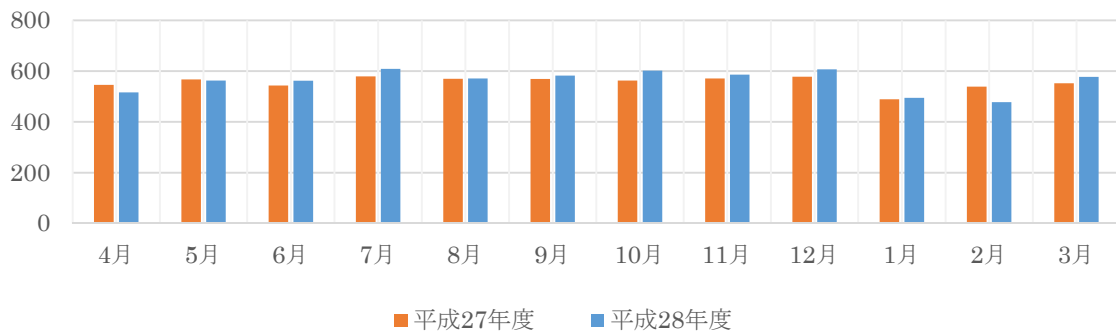
2. ショートステイみぎわ園

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27年度	546	567	543	579	570	569	563	571	578	489	539	552	6666
H28年度	516	563	562	609	571	582	602	586	607	495	478	577	6748
28-27	-30	-4	19	30	1	13	39	15	29	6	-61	25	82
稼働率	86.0%	90.8%	93.7%	98.2%	92.1%	97.0%	97.1%	97.7%	97.9%	79.8%	85.4%	93.1%	92.4%

* H29/1/27~1/29 感染症対策の為に受入中止

ショートステイ稼働実績 (対前年度比)

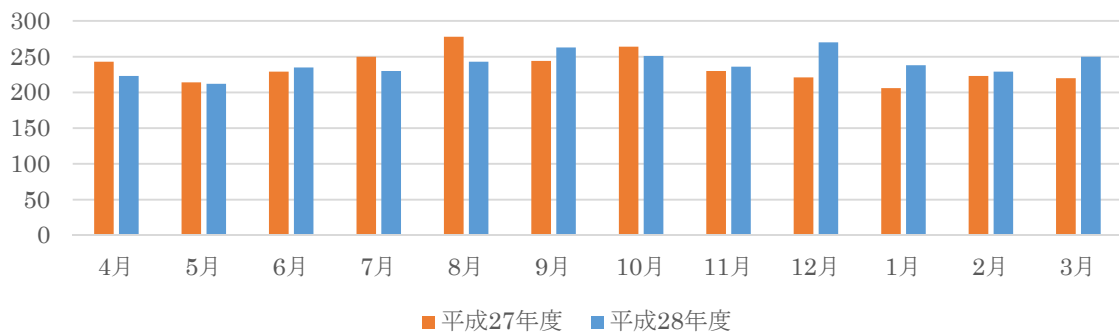


3. デイサービスセンターみぎわ園

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27年度	243	214	229	250	278	244	264	230	221	206	223	220	2822
H28年度	223	212	235	230	243	263	251	236	270	238	229	250	2880
28-27	-20	-2	6	-20	-35	19	-13	6	49	32	6	30	58
稼働率	71.5%	67.9%	75.3%	73.7%	75.0%	84.3%	80.4%	75.6%	86.5%	82.6%	79.5%	77.2%	77.4%

デイサービスみぎわ園稼働実績 (対前年度比)

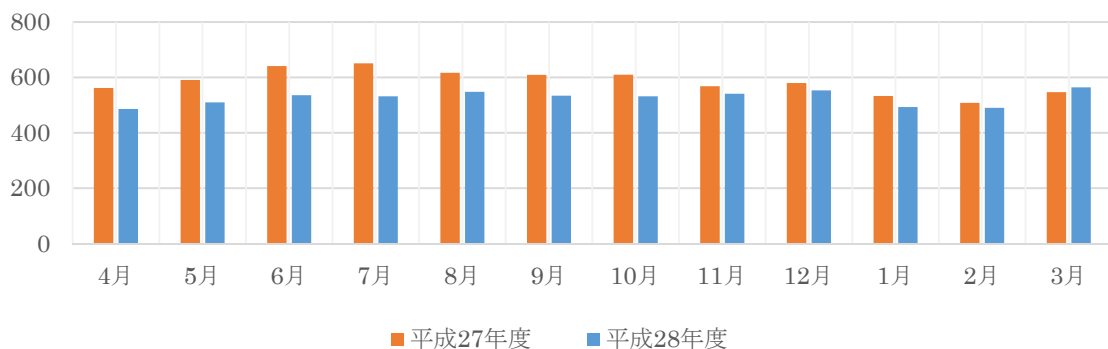


4. ふようデイサービスセンター

(利用延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27年度	562	591	641	651	617	609	610	568	580	533	508	547	7017
H28年度	486	510	536	532	548	534	532	541	553	493	490	564	6319
28-27	-76	-81	-105	-119	-69	-75	-78	-27	-27	-40	-18	17	-698
稼働率	62.3%	65.4%	68.7%	68.2%	67.7%	68.5%	68.2%	69.4%	73.7%	68.5%	68.1%	69.6%	68.2%

ふようデイサービス稼働実績 (対前年度比)

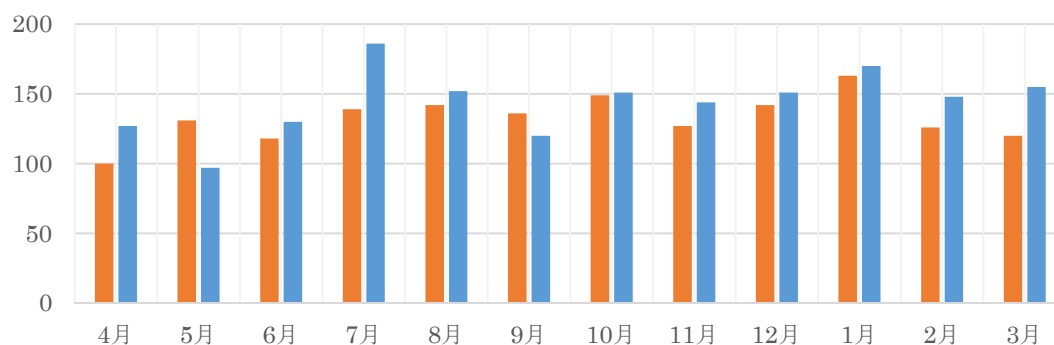


5. 看護小規模多機能 みぎわの里

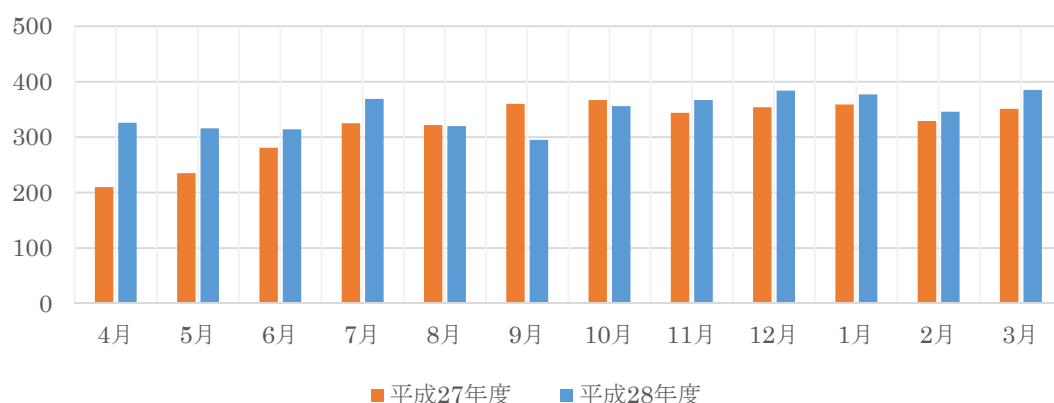
(登録人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27年度	13	14	15	19	18	20	20	18	18	20	17	19	211
H28年度	19	20	17	19	17	16	19	19	21	23	22	23	235

【泊り】みぎわの里利用回数実績 (対前年度比)



【通い】みぎわの里利用回数実績 (対前年度比)

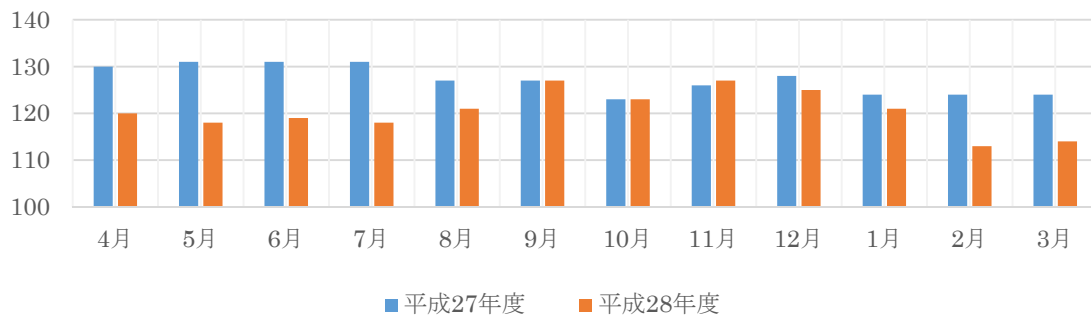


5. ふよう居宅介護支援事業所

(ﾌﾟﾗﾝ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H27年度	130	131	131	131	127	127	123	126	128	124	124	124	1526
H28年度	120	118	119	118	121	127	123	127	125	121	113	114	1446
28-27	-10	-13	-12	-13	-6	0	0	1	-3	-3	-11	-10	-80
担当件数	30.0	29.5	29.8	29.5	30.3	31.8	30.8	31.8	31.3	30.3	28.3	28.5	30.2

ふよう居宅プラン件数実績（対前年度比）



資料8 実習生等受け入れ実績

学校及び機関	人数	期間	延日数	
静岡県立富士宮東高等学校 (高齢者施設実習)	3	5/9～5/25	12	
	3	7/11～7/26	10	
	1	10/3～10/20	12	
富士市立くすの木学園 職場体験	1	7/11～7/13	3	
今泉福祉推進委員 福祉体験	17	8/19	1	
静岡県富士東高等学校 福祉体験	40	11/2	1	
富士市立吉原第一中学校 福祉体験	3	11/22	1	
静岡県社会福祉協議会 介護等体験	明星大学	1	8/1～8/5	5
	静岡大学	1	12/5～12/9	5
静岡県社会福祉人材センター 職場体験	1	9/24～9/26	3	
富士市立看護専門学校 (老年看護学実習)	5	11/1～11/17	11	
	(在宅看護論実習)	13	12/2	1
合計	89名		65日	

資料9 職員研修状況表

(特養・SS・看護)

年 月 日	研 修 名	主 宰	研 修 先	職 種	人 数
H28. 5. 18	介護従事者の接遇マナー講座	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	2
H28. 5. 20	指導者の接遇マナー講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	2
H28. 5. 27	富士市防火協会総会	富士市防火協会	富士市	防火管理者	1
H28. 5. 30～7. 5	介護支援専門員更新研修	県介護支援 専門員協会	静岡市	介護支援専門員	1
H28. 6. 13	衛生・栄養管理講習会	県給食協会	富士市	管理栄養士	1
H28. 6. 15	認知症に寄り添う介護セミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 6. 17	静岡県給食協会総会	県給食協会	静岡市	管理栄養士	1
H28. 6. 20・21	施設事務員経理基礎講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務課	1
H28. 6. 26	褥瘡予防・対策・治癒概論	(株)モルテン	静岡市	看護職員	2
H28. 6. 29	認知症のレクリエーション	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 7. 14～9. 21	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	富士市	介護職員	1
H28. 7. 19～21	施設事務員経理応用講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務課	1
H28. 7. 25	ヒヤリハット・アクションセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	看護・介護	2
H28. 7. 26	B P S Dを考えるセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	2
H28. 8. 8	認知症啓発講座（講師）	富士宮市地域包括	富士宮市	実習指導者	1
H28. 8. 6～11. 5	介護従事者新任職員研修	富士市介護保険 事業者連絡会	富士市	介護職員	3
H28. 9. 5	看護の質向上促進研修	県看護協会	静岡市	看護職員	2
H28. 9. 7～12. 22	認知症介護実践者研修	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H28. 9. 15	福祉科体験発表会	県立富士宮東高校	富士宮市	実習指導者	1
H28. 9. 26	介護施設の防犯管理	富士市介護保険 事業者連絡会	富士市	事務課	1

H28. 9. 27～10. 5	福祉職員生涯研 (初任者コース)	県社会福祉協議会	三島市	介護職員	3
H28. 10. 4	介護力向上研修発表会	県老協	静岡市	介護職員	2
H28. 10. 6	富士圏域施設長会 新任職員研修	富士圏域施設長会	富士市	介護職員	3
H28. 10. 11	救命救急普及員 更新研修	消防本部警防課	富士市	普及員	2
H28. 10. 14	第43回 国際福祉機器展		ビッグサイト	介護・看護	18
H28. 10. 16・12. 11	感染対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護課長	2
H28. 10. 17	予算管理講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務課長	1
H28. 10. 17～19	ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	名古屋市	介護主任	1
H28. 10. 31～11. 4	ユニットリーダー研修 (実地研修)	日本ユニットケア推進センター	静岡市	介護主任	1
H28. 10. 28	感染症予防講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 11. 1	福祉施設総合防災訓練視察	富士健康福祉センター	富士市	防災委員	3
H28. 11. 2	介護人材確保実践セミナー	県社会福祉協議会	静岡市	相談員	1
H28. 11. 9	フットケア講座	県社会福祉協議会	静岡市	看護職員	2
H28. 11. 16	県給食協会研修	県給食協会	静岡市	管理栄養士	1
H28. 11. 25	特養経営セミナー	福祉医療機構	東京都	施設長	1
H28. 11. 28	より良いケアを考えるセミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	3
H28. 12. 7	声の持つ力	富士圏域施設長会	富士市	介護職員	3
H28. 12. 2	誤嚥予防と感染症対策	富士市介護保険 事業者連絡会	富士市	看護・介護	6
H28. 12. 13	特養優先入所指針説明会	県福祉指導課	熱海市	事務課長	1
H29. 1. 25	相談員のための 支援力アップ講座	県社会福祉協議会	静岡市	生活相談員	1
H29. 2. 2	事例研究発表会	県給食協会	静岡市	管理栄養士	1

H29. 2. 12	個室ユニット型施設連絡会	県老協	静岡市	生活相談員	4
H29. 2. 14	水害・土砂災害等への 備え説明会	国交省中部 地方整備局	沼津市	防災委員	2
H29. 2. 15	決算事務講座	県社会福祉協議会	静岡市	事務課	2
H29. 2. 22	認知症介護基礎研修	県健康福祉部	静岡市	介護職員	1
H29. 2. 27	身体拘束廃止フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	2
H29. 3. 4	介護職のメンタルヘルス研修	静岡福祉大学	静岡市	介護主任	2

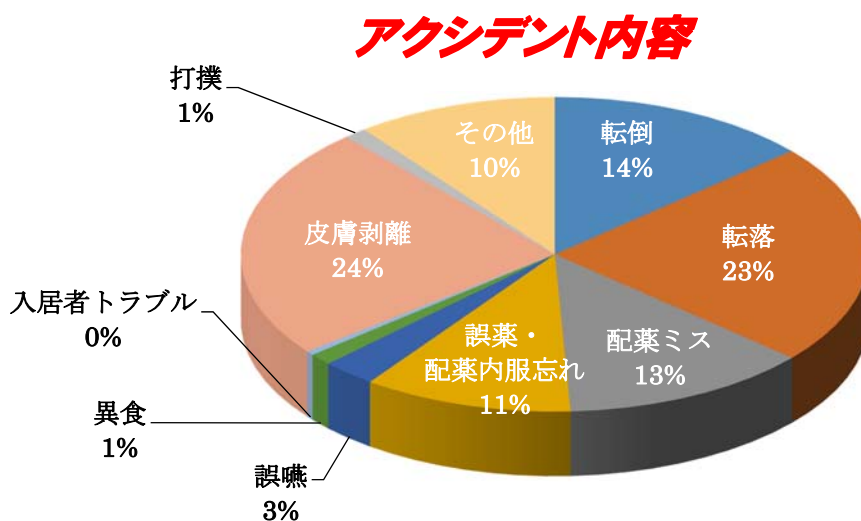
(ふようデー・みぎわデー・みぎわの里・ふよう居宅)

年 月 日	研 修 名	主 宰	研 修 先	職 種	人 数
H28. 5. 16～6. 16	喀痰吸引等第二号研修	聖隷福祉事業団	沼津市	介護職員	1
H28. 5. 17	コンプライアンス講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 6. 7	権利擁護・成年後見セミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 6. 14～9. 1	介護支援専門員更新研修	県介護支援 専門員協会	静岡市	介護支援専門員	1
H28. 6. 15	認知症に寄り添う介護セミナー	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 7. 14～9. 21	認知症介護実践者研修	県社会福祉協議会	富士市	介護職員	1
H28. 9. 5	楽しく笑顔になれるレク	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 9. 6	ターミナルケア入門講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 9. 14	排泄ケア講座	県社会福祉協議会	静岡市	介護職員	1
H28. 10. 16・12. 11	感染対策支援セミナー	静岡県病院協会	静岡市	看護職員	1
H28. 10. 24	実践理論を活用した教育法	県社会福祉協議会	静岡市	介護主任	1
H28. 12. 10	在宅医療と介護の連携	高齢者介護支援課	富士市	看護職員	1
H29. 2. 27	身体拘束廃止フォーラム	県介護福祉士会	静岡市	介護職員	1
H29. 2. 22	認知症介護基礎研修	県健康福祉部	静岡市	介護職員	1

資料 10 リスクマネジメント集計(インシデント・アクシデント報告)

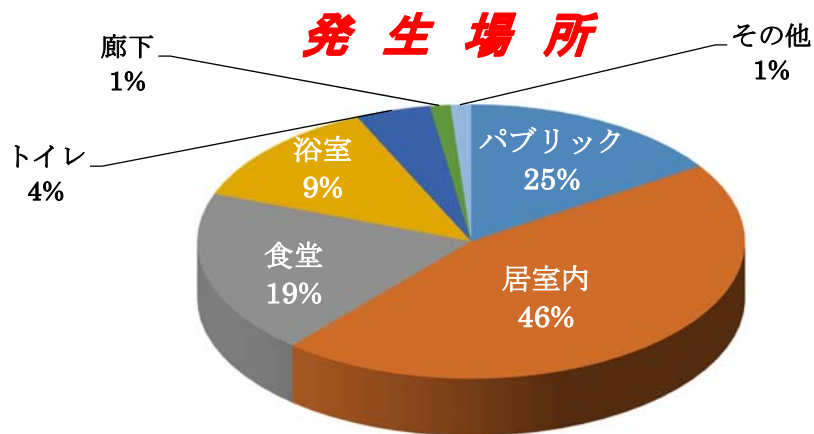
1. アクシデント内容

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
転倒	34	3	5	1	4	3	1	2	5	0	3	2	5
転落	57	7	3	2	3	5	1	4	2	4	9	8	9
配薬ミス	32	4	2	3	1	2	2	1	1	4	3	1	8
誤薬・配薬内服忘	27	1	6	2	1	5	1	0	1	0	7	0	3
誤嚥	7	0	1	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0
異食	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0
入居者間トラブル	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚剥離	60	7	9	6	12	4	7	6	2	2	0	1	4
打撲	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	26	4	7	1	3	2	0	2	1	3	2	0	1
合計	250	27	35	16	26	23	13	15	13	14	25	12	31



2. 発生場所

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
パブリック	39	4	4	3	2	3	2	3	3	3	5	0	7
居室内	113	11	16	5	16	15	3	9	4	6	8	6	14
食堂	48	2	9	5	3	4	3	1	4	1	7	4	5
浴室	31	7	4	3	3	1	3	2	1	4	0	1	2
トイレ	11	1	2	0	1	0	2	0	1	0	2	1	1
廊下	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0



資料 11 固定資産取得・消却状況表

【 取 得 】

特別養護老人ホーム みぎわ園

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価額	取 得 の 理 由
1306	給湯器 (給食)	H28. 7. 31	477, 900 円	老朽化のための入替
1306	PC (1F 北)	H28. 7. 30	104, 760 円	〃
1306	PC (給食室)	H28. 10. 30	154, 440 円	〃
1202	LED 照明設備 (1F 南・1F 北)	H28. 11. 11	1, 375, 920 円	省エネ対策の年度実施
1306	コイン式洗濯機 (4 台)	H28. 11. 11	635, 880 円	老朽化・業務用に変更
1306	コイン式乾燥機 (4 台)	H28. 11. 11	504, 668 円	〃
1306	ナースステーションテーブル	H28. 12. 31	183, 600 円	環境整備のため
1305	日産キャラバン	H29. 1. 17	3, 915, 381 円	老朽化のための入替
1306	スクティ (1F 北)	H29. 2. 28	2, 934, 900 円	老朽化と省エネ推進
1306	シャトル (1F 北)	H29. 2. 28	2, 373, 300 円	〃
1306	スクティ (1F 南)	H29. 2. 28	2, 934, 900 円	〃

1306	PC (1F 南)	H29. 2. 28	133, 920 円	老朽化のための入替
1302	給食事務所	H29. 3. 31	1, 230, 000 円	環境整備のため
1306	コイン式洗濯機 (SS)	H28. 11. 11	158, 972 円	老朽化・業務用に変更
1306	コイン式乾燥機 (SS)	H28. 11. 11	126, 168 円	〃
1306	シャトル (SS)	H29. 2. 28	2, 373, 300 円	老朽化と省エネ推進

【 廃 棄 】

特別養護老人ホーム みぎわ園

資産コード	資 産 名 称	取得年月日	前年末帳簿価	廃棄・売却等の理由
60-06002	トヨタ コースター (沼津 800 さ 7044)	H15. 3. 31	1 円	使用頻度低下・維持費削減
70-06020	機械式浴槽 (4 台)	H15. 3. 31	1 円	老朽化のため
70-06044	特殊浴槽	H21. 3. 31	1 円	〃

資料 12 施設整備取替及び修理修繕工事一覧 (10 万円以上)

内 容	場 所	施行業者	金 額
事務所 PC 用電気工事	みぎわ園	ヤマギチ電機(株)	127, 440 円
配膳車コンプレッサー修理	みぎわ園	湘南おサキ(株)	209, 088 円
外階段塗装工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	1, 462, 000 円
配膳車取手修理	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	275, 000 円
空調機ホーバーホール	みぎわ園	(株)アノ	1, 141, 040 円
厨房サンシェード取付工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	130, 000 円
浴槽入替に伴う工事	みぎわ園	(株)アノ・ヤマギチ電機(株)	626, 400 円
地階点検口拡張工事	みぎわ園	渡邊建設工業(株)	765, 000 円

資料 13 保守管理・業務委託一覧

保守保全内容	契約内容	頻度	形態	業者名
消防機器設備	定期点検・行政報告	2回/年	年次	サンコー防災(株) 深沢消防産業(株)
ガス漏れ	警報機設備点検	随時	設置時	静岡ガス(株)
電気設備	定期点検	1回/月	年次	鈴木 博 関東電気保安協会
建物設備・特殊建物等 定期検査	定期点検・行政報告	1回/2年	指名	井上建設(株)
エレベーター・荷物用リフト	定期点検・行政報告	1回/月・随時	年次	マーキュリーアセンソール(株)
清掃・消毒点検	施設内環境整備	3回/週・随時	年次	ダスキン富士宮
利用者リネ	洗濯等委託	3回/週	年次	(株)デイベンロイ
貯水槽清掃・水質検査	法定清掃・管理点検	1回/年	年次	ニッケン消毒(株)
給食業務	調理配膳配送	毎日	年次	(株)角山
PC・介護ソフト管理	PCソフト保守・バージョンアップ	随時	設置時	(株)ゆとり (株)コンピュータシステム研究所
自動ドア保守・管理	定期点検・整備	2回/年	年次	ナブコシステム
洗濯業務	利用者衣類等洗濯	4回/年	年次	富士シルバー人材センター